

流域治水協議会及び減災対策協議会の取組

令和5年5月26日

大分川・大野川水系流域治水協議会
大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会

■流域治水協議会の取組

- ①大分川・大野川水系流域治水プロジェクト
- ②大分川・大野川水系(2級水系版)流域治水プロジェクト

■減災対策協議会の取組

- ①大分川・大野川圏域(下流部)における大規模氾濫に関する減災のための取組
- ②大分川・大野川圏域(上流部)における大規模氾濫に関する減災のための取組

大分川・大野川水系流域治水プロジェクト

令和4年度に完了した取組
令和5年度からの新規取組

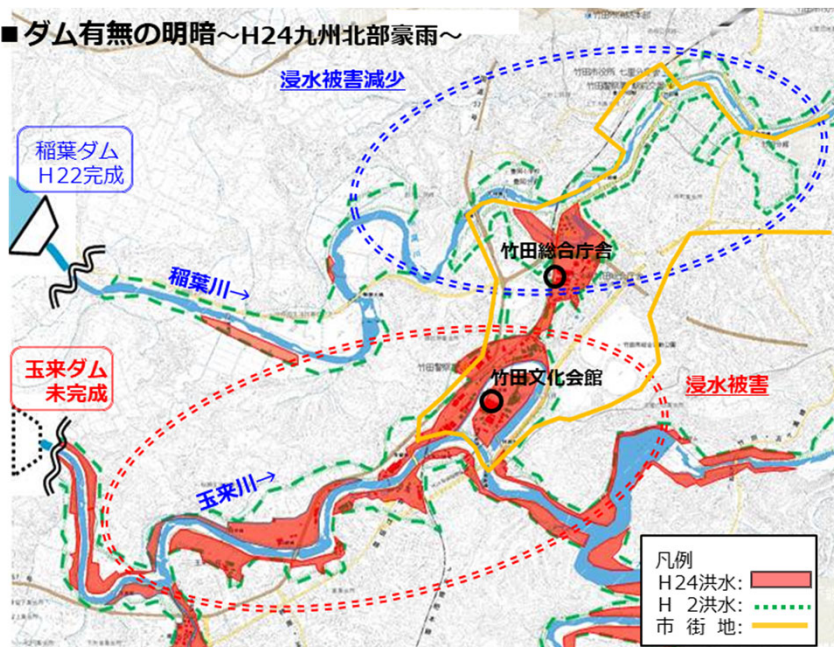
【大分県河川課】大野川水系流域治水プロジェクト(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

玉来ダム建設により、竹田市街地の浸水被害の軽減を図る。

玉来ダムの概要

- 目的：洪水調節
- ダム形式：重力式コンクリートダム（流水型ダム）
- 堤高：52m、堤頂長：145m、堤体積：約130,000m³
- 集水面積：87km²

■ダム有無の明暗～H24九州北部豪雨～



■進捗状況

令和4年度

ダム竣工



令和5年度

運用開始



竣工式(令和4年11月7日)

■現場状況

試験湛水 越流状況

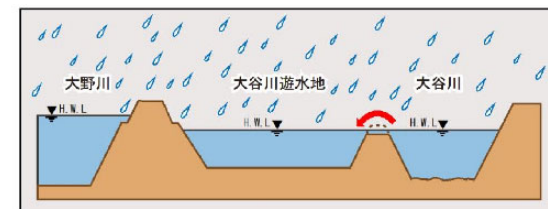
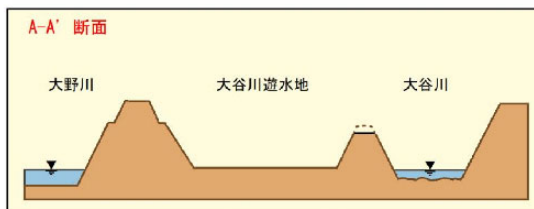
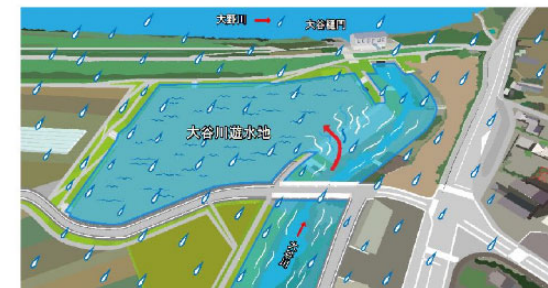
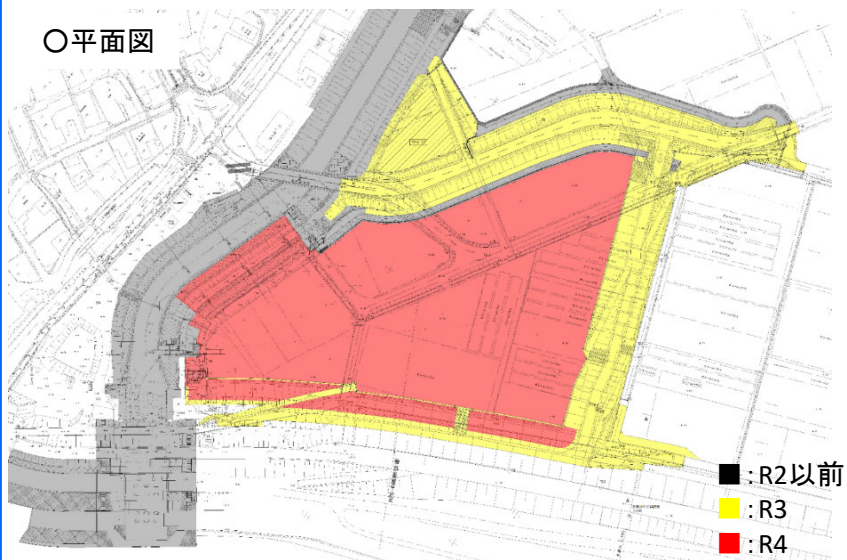


区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	玉来ダム建設	大分県	玉来ダム建設		

【大分土木】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

大谷遊水地新設により、大分市金谷地区の浸水被害の軽減を図る。

○平面図



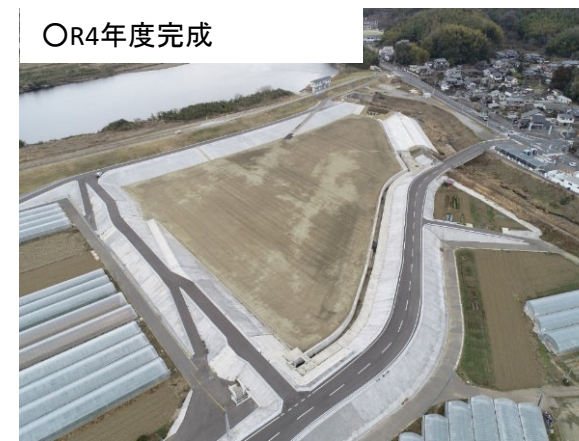
○着手前



○R3年度



○R4年度完成



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	築堤工、河道掘削、水路工、付替水道	大分県	遊水地3期工事(完成)		

【大分市】 大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

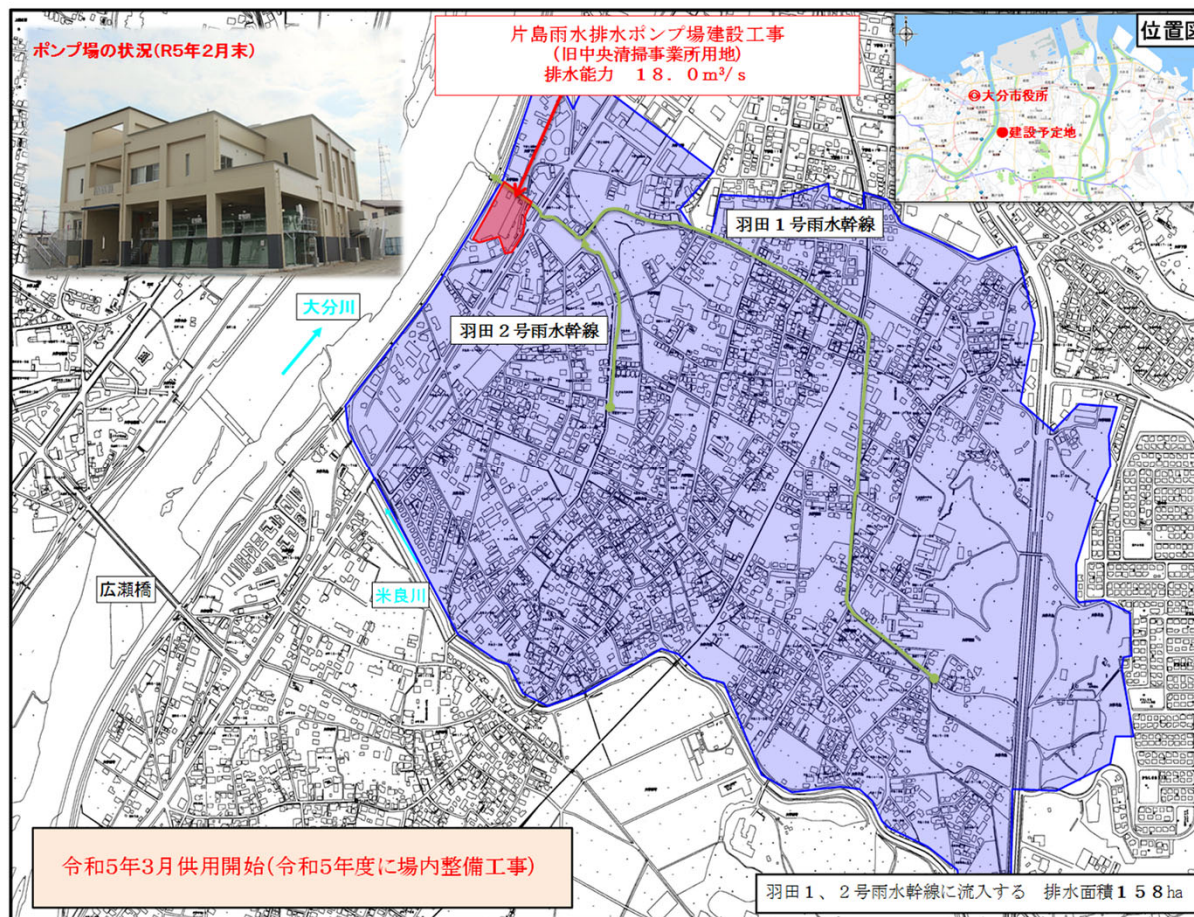
片島地区の浸水対策として、片島雨水排水ポンプ場の建設を行う。

令和4年度の実施

施設の工事が完了し、
令和5年3月に供用開始した。

令和5年度の実施

外構等の場内整備工事を行う。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下水道対策事業	大分市	下水道等の排水施設の整備		

【大分市】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

令和5年度の取組

森雨水排水ポンプ場 事業着手

位置図

市役所 森崎支所

建設予定地

約15.3ha

樋門新設

既設樋門廃止

ゲート式ポンプイメージ図

■引き上げ式除塵機
ポンプ稼働時の流れにより引き寄せられたゴミを掻き上げる。

■ポンプゲート
ポンプゲートを降下させ逆流を止め、宅地側に溜まった内水を排水

森地区雨水排水ポンプ場整備事業スケジュール案

R3 R4 R5 R6 R7 R8 R9 R10

概要設計

都市計画決定等
法手続き

用地補償

実施設計

樋門工事
(国費委託)

土木・建築工事

機械・電気設備

流入渠工事

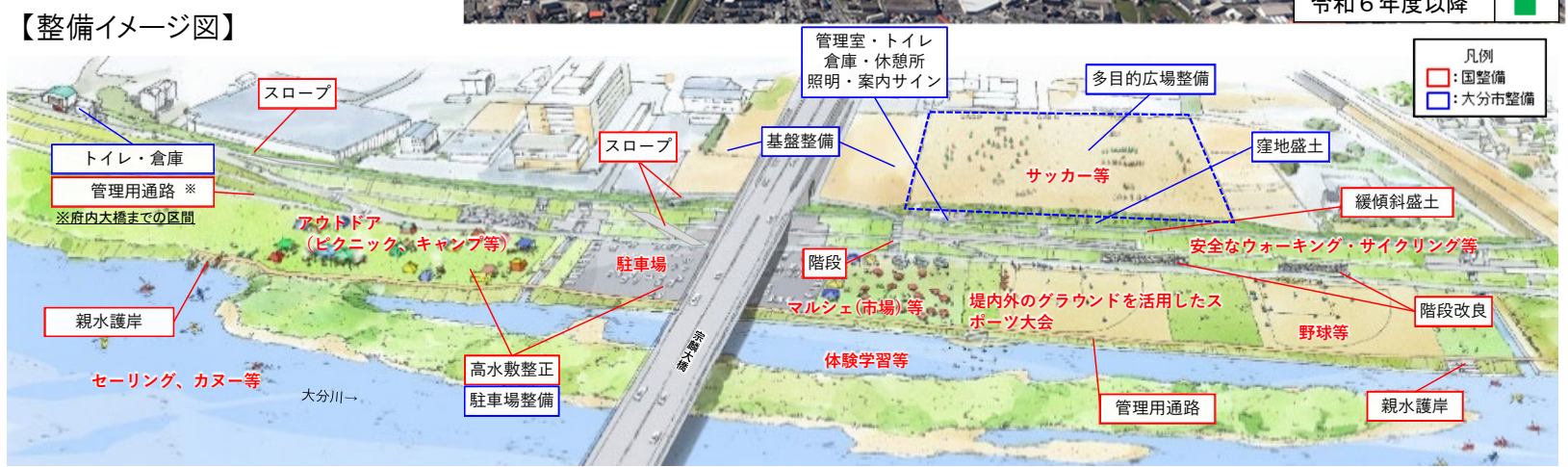
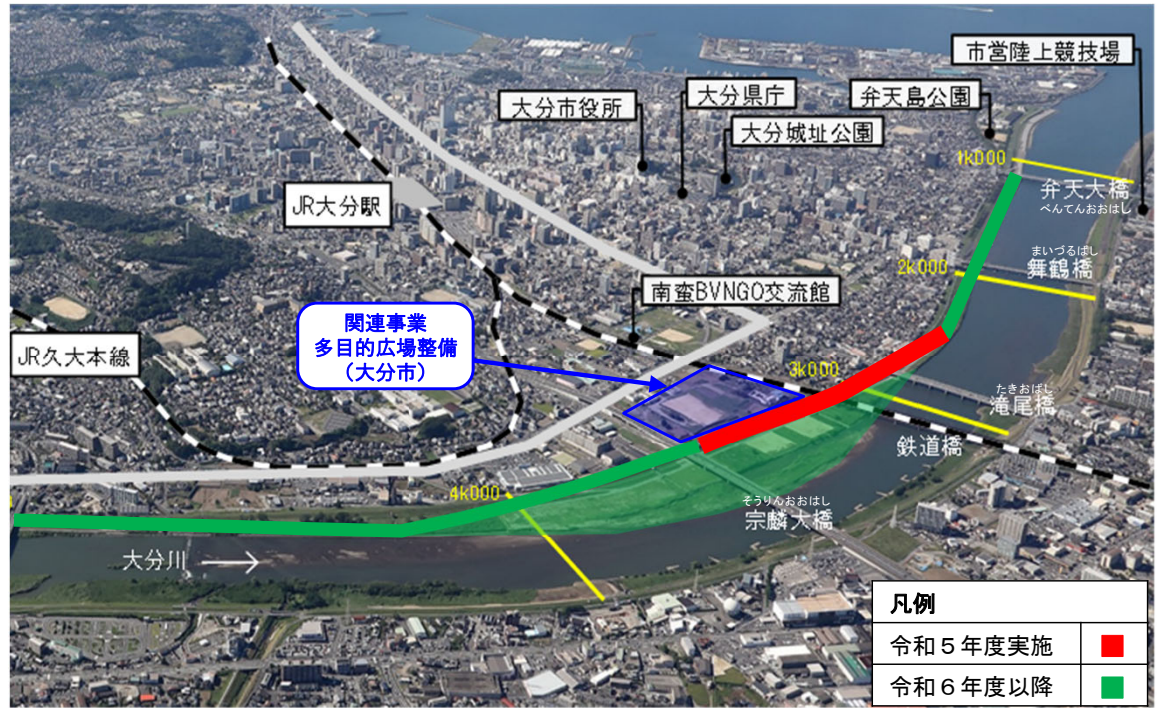
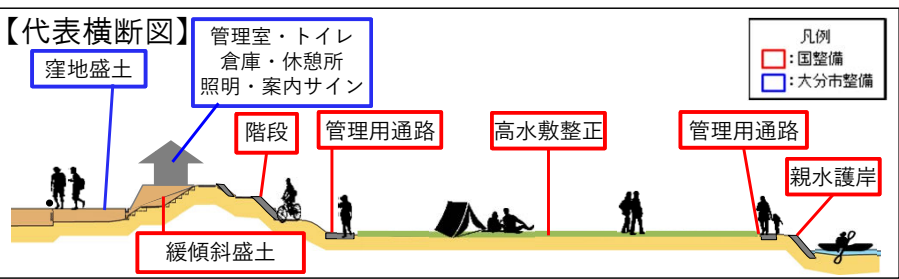
供用開始

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下水道対策事業	大分市	下水道等の排水施設の整備		

【国土交通省、大分市】大分川水系流域治水プロジェクト（グリーンインフラの取組）

○大分川下流域において、川裏の多目的広場の整備をはじめとしたまちづくりと河川空間を連携させることで、まちと河川が融合したスポーツ拠点等により賑わいある河川空間を創出し、地域の活性化を図る。

事業内容：(国)管理用通路、親水護岸、高水敷改正 等
 (市)管理室、トイレ、案内看板 等
 事業期間：令和5年度～令和14年度



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
グリーンインフラの取組	大分川下流域かわまちづくり	国土交通省、大分市	水辺整備、モニタリング		

大分川・大野川水系流域治水プロジェクト

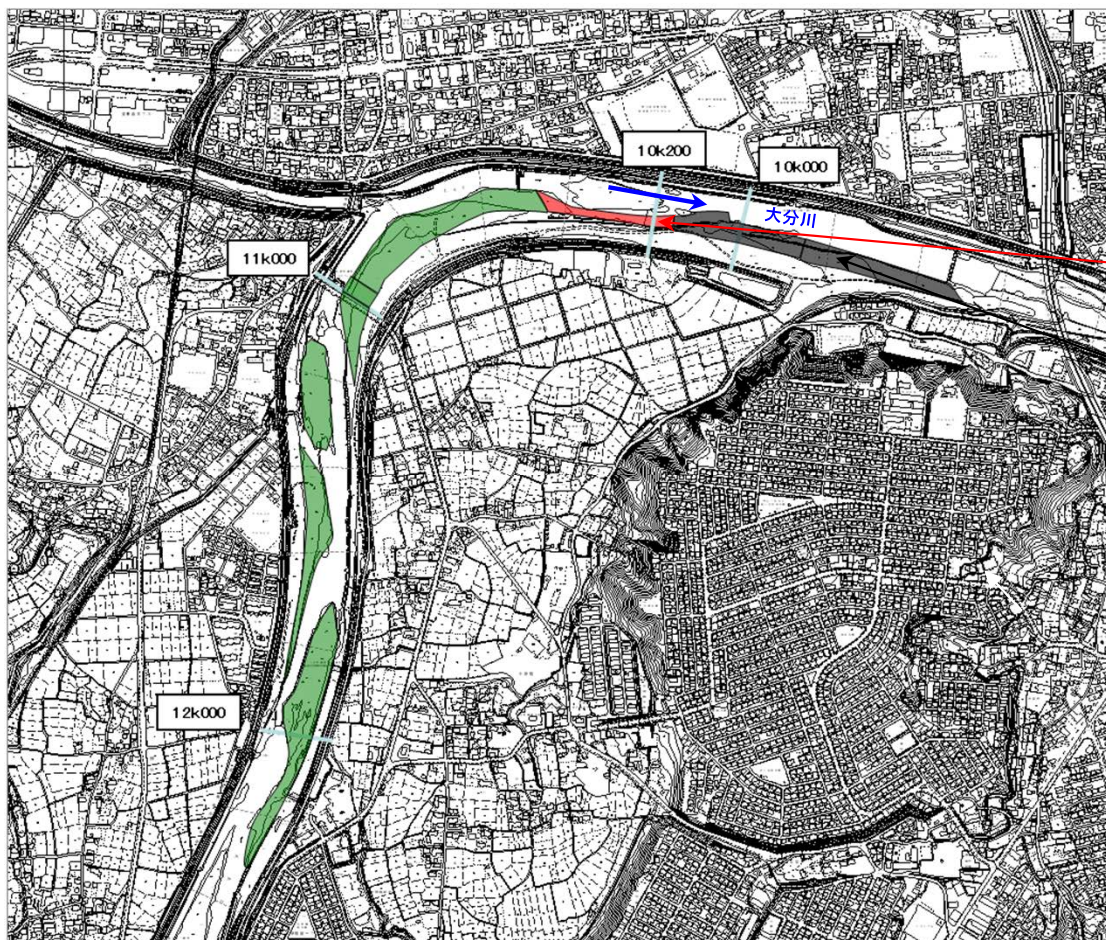
継続中の取組

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策内容

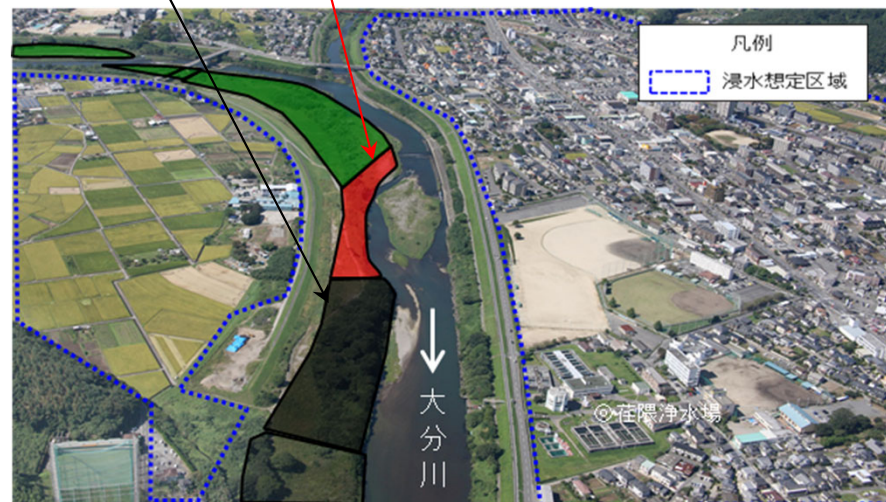
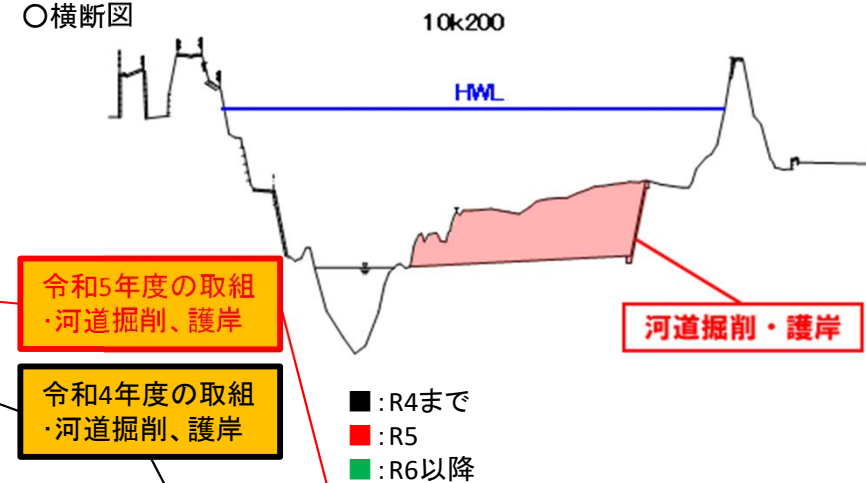
【国土交通省】大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

本川中流部において流下能力向上のための河道掘削を実施し、浸水被害の軽減を図る。

○平面図



○横断面図

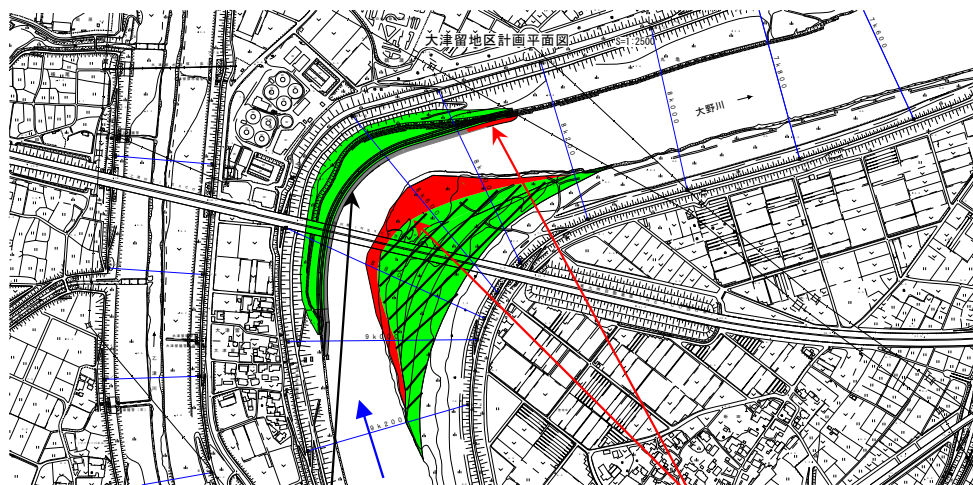


区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、護岸工	国土交通省	本川下中流部掘削	本川中流部・支川賀来川掘削	本川上中流部・支川七瀬川掘削

【国土交通省】大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

本川中流部における堤防安全性確保のため、河道掘削・河床低下対策を実施し、浸水被害の低減を図る。

○平面図

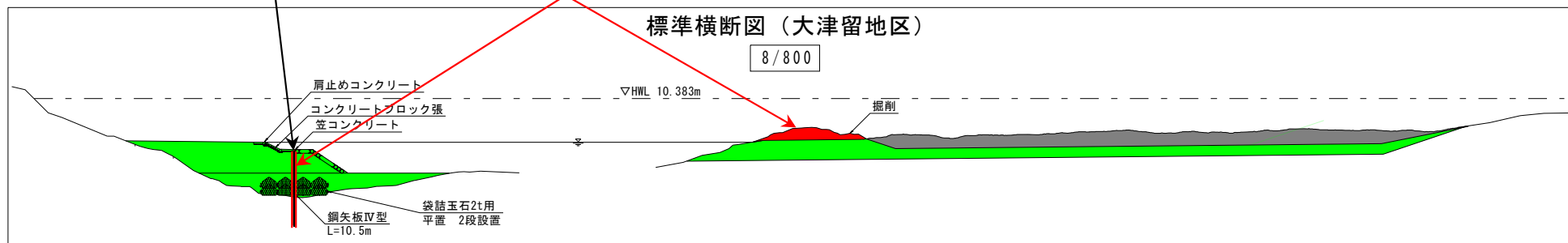


○横断面図

令和4年度の取組
・高水敷造成（鋼矢板打設）

令和5年度の取組
・河道掘削
・鋼矢板打設

■: R4
■: R5
■: R6以降



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備	国土交通省	本川中流部河道掘削・河床低下対策	本川中流部河道掘削・河床低下対策	本川中流部浸透・河床低下対策

【大分土木】 大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

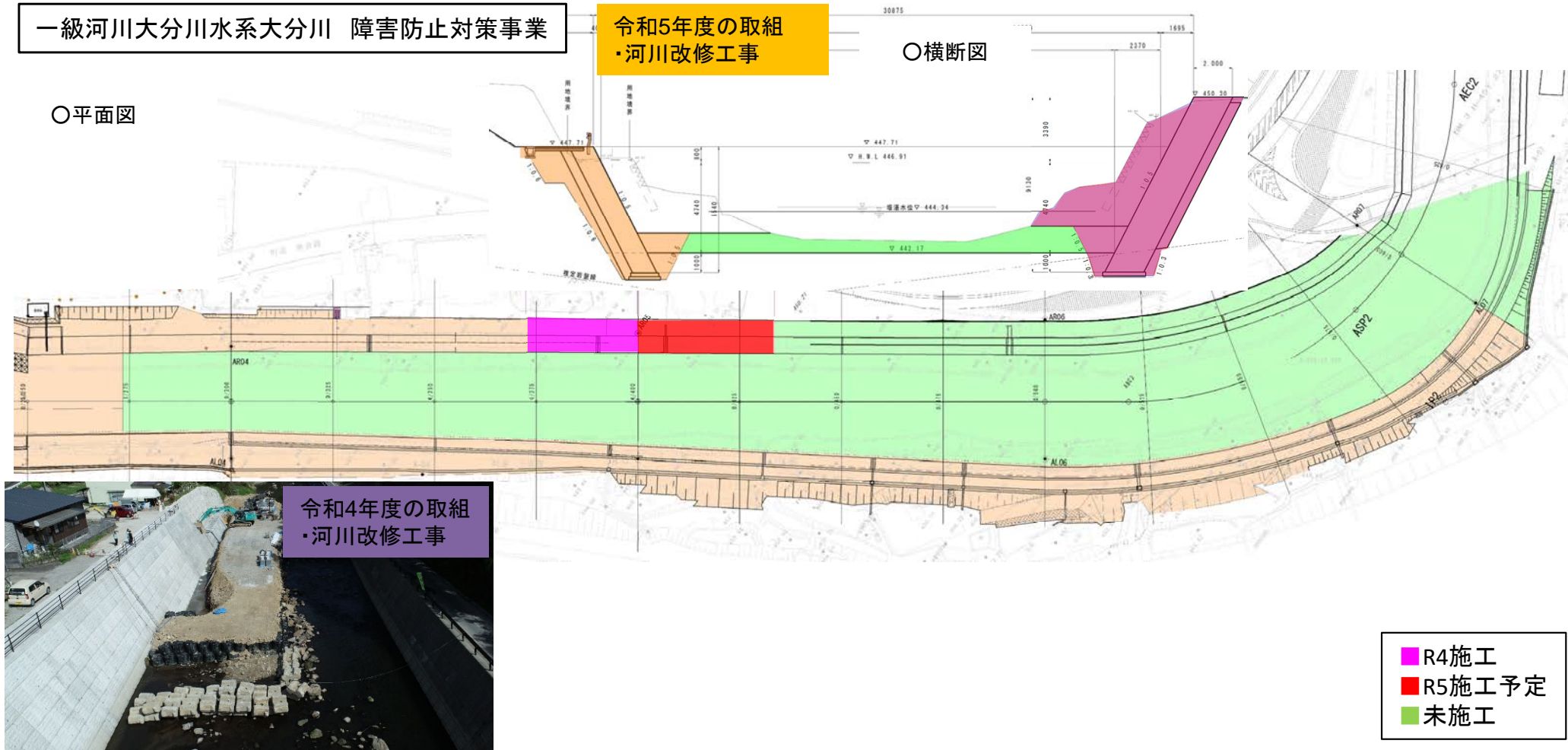
大分川において、河道断面拡幅、護岸整備による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

一級河川大分川水系大分川 障害防止対策事業

令和5年度の実施
・河川改修工事

○平面図

○横断面図



令和4年度の実施
・河川改修工事

- R4施工
- R5施工予定
- 未施工

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、護岸整備、橋梁架替	大分県	大分川護岸整備、橋梁架替		

【大分土木】 大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

横瀬川において、堤防整備による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

一級河川大分川水系横瀬川 総合流域防災事業

○平面図



令和4年度の取組
・河川改修工事



- R4施工
- R5施工予定
- 未施工

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、護岸整備、橋梁架替	大分県	横瀬川築堤護岸整備、橋梁架替		

【大分土木】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

宮谷川において、河道拡幅・橋梁掛替・堤防整備等による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

○平面図

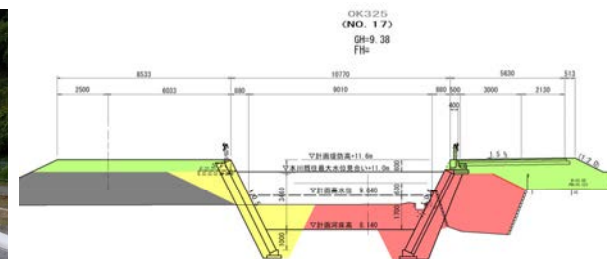


- 施工済
- R4施工
- R5施工予定
- 未施工

○R4取組状況



○R5取組箇所(現況)

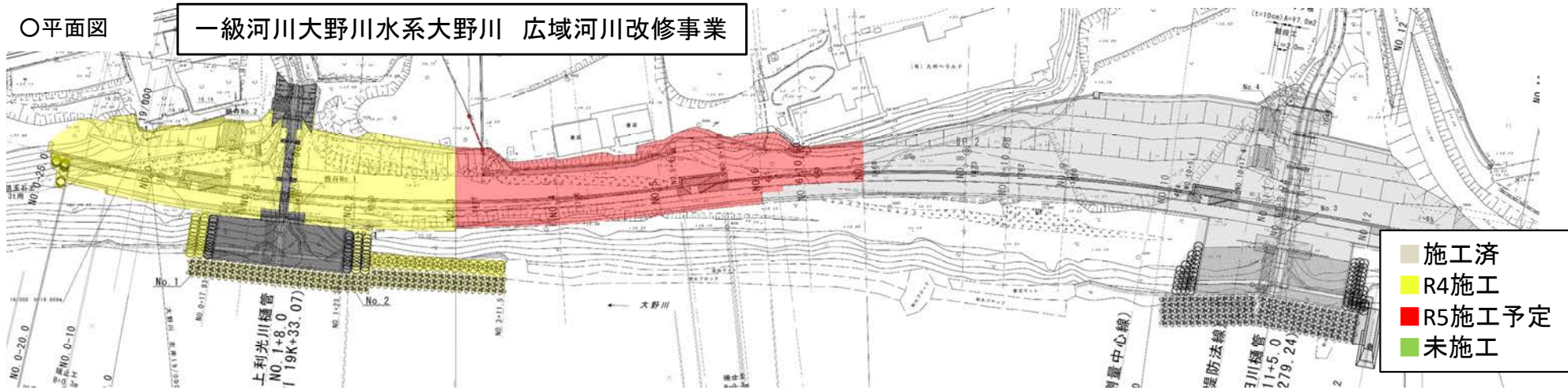


- R4取組内容
護岸工、橋梁下部工
- R5取組内容
護岸工、橋梁下部工、橋梁上部工

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削工、護岸工、橋梁工	大分県		宮谷川河道拡幅等	

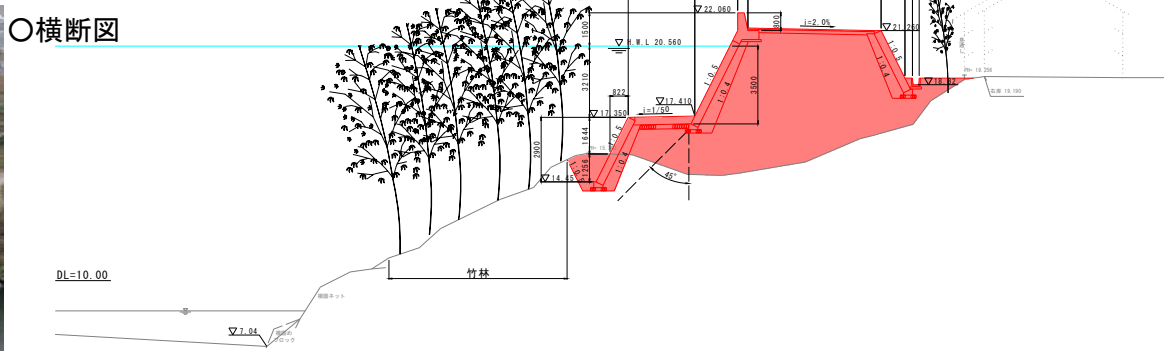
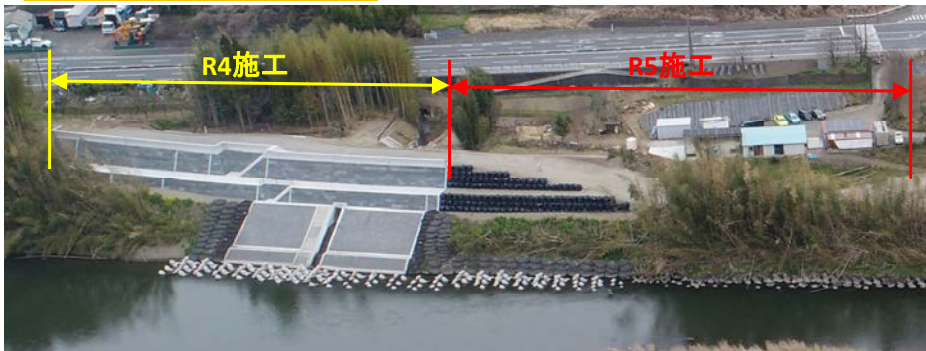
【大分土木】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

大野川において、堤防整備による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。



令和4年度の取組
・築堤

令和5年度の取組
・築堤

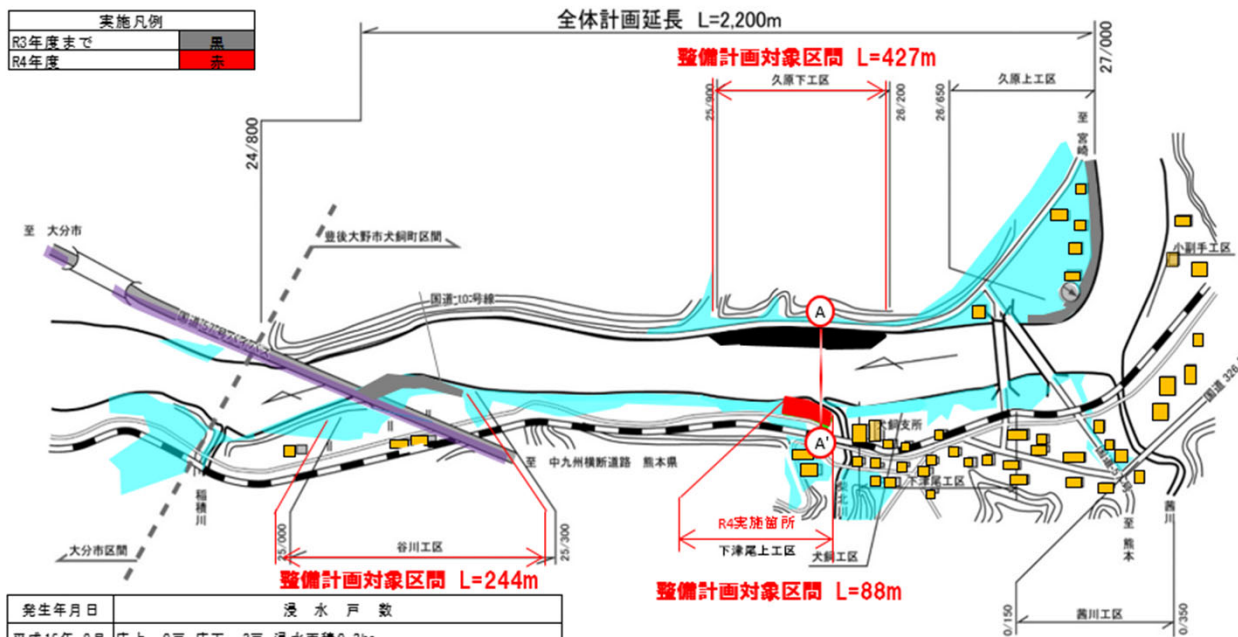


区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備・護岸整備	大分県		本川中流部堤防整備等	

【豊後大野土木】大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

大野川において、河道掘削、護岸整備、築堤等による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

一級河川大野川水系大野川(中流) 広域河川改修事業



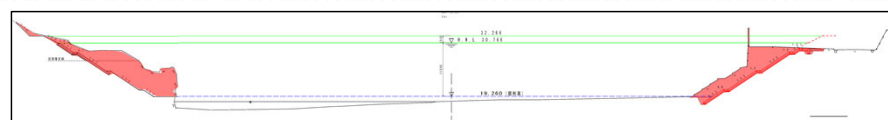
実施凡例	
R3年度まで	黒
R4年度	赤

発生年月日	浸水戸数
平成16年 9月	床上 0戸 床下 2戸 浸水面積 0.3ha
平成16年10月	床上 0戸 床下 2戸 浸水面積 1.2ha
平成17年 9月	床上 3戸 床下 13戸 国道57号 県道 市道 浸水面積 4.7ha
平成19年 8月	床上 1戸 床下 3戸 浸水面積 0.8ha

下津尾上工区



令和4年度の取組
・護岸整備



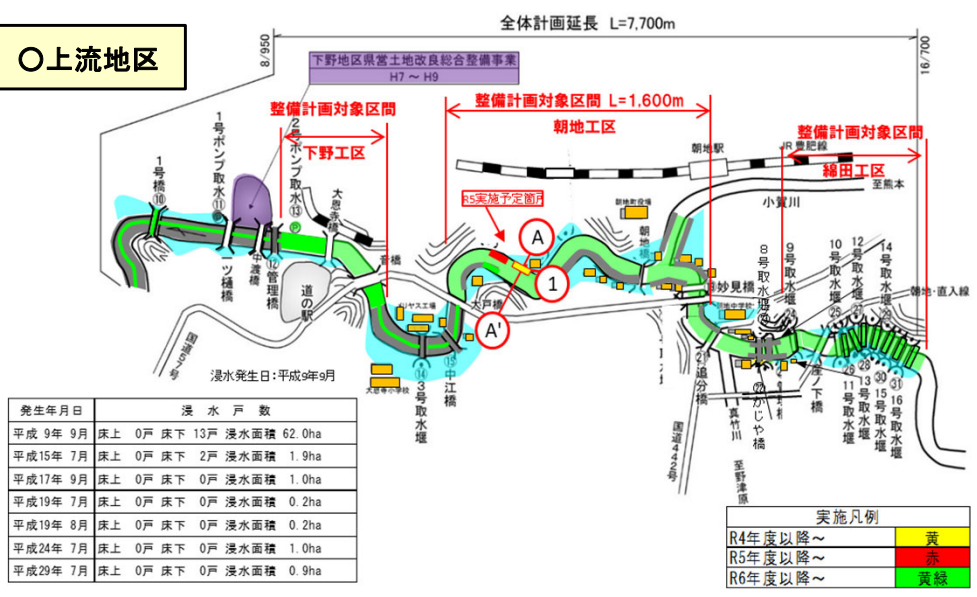
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・堤防整備・護岸整備	大分県	本川中流部堤防整備等		

【豊後大野土木】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

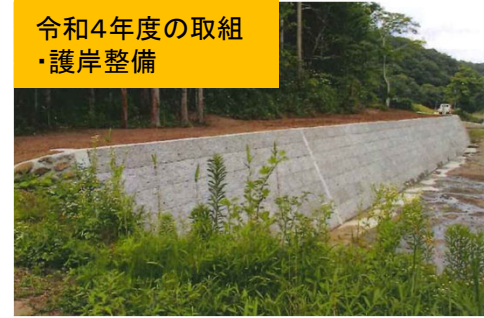
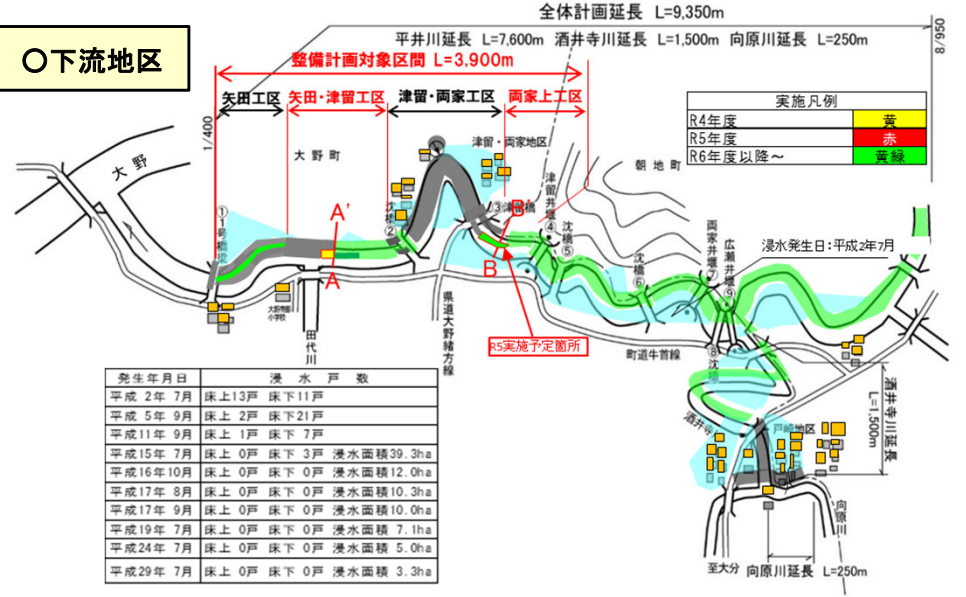
平井川において、河道掘削、堤防・護岸整備等による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

一級河川大野川水系平井川 広域河川改修事業

○上流地区



○下流地区



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・堤防整備	大分県	平井川堤防整備等		

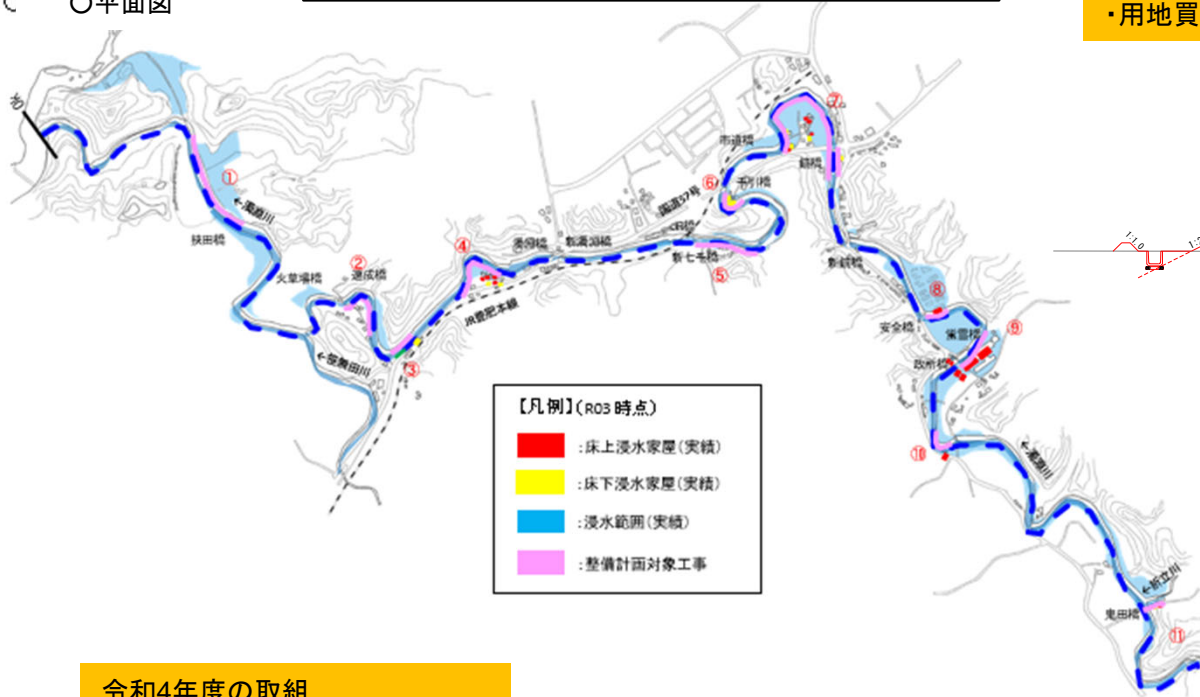
【竹田土木】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

濁渚川において、河道掘削・堤防整備・橋梁架替等による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

一級河川大野川水系濁渚川 総合流域防災事業

令和5年度の実施
・用地買収、護岸工事

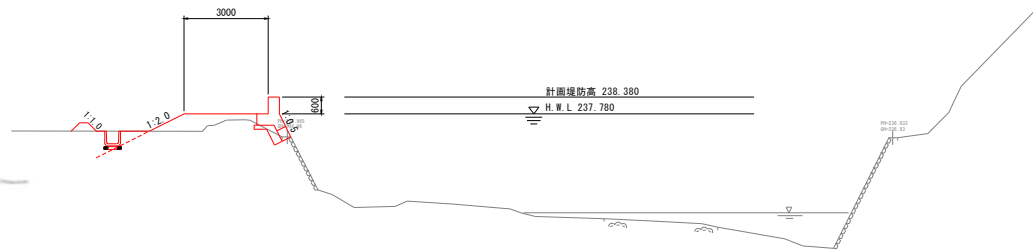
○平面図



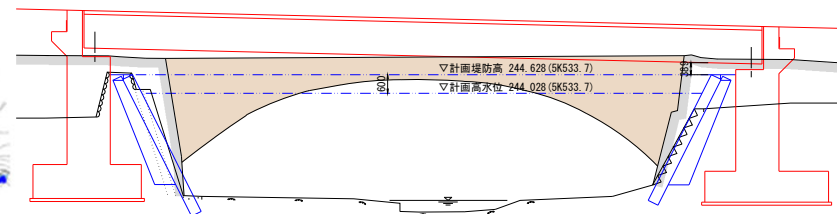
- 【凡例】(ROS 時点)
- : 床上浸水家屋(実績)
 - : 床下浸水家屋(実績)
 - : 浸水範囲(実績)
 - : 整備計画対象工事

令和4年度の実施
・護岸設計、橋梁設計、用地測量

○標準横断面図(パラペット)



○政所橋架け替え



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、橋梁架替	大分県	濁渚川堤防整備		

【砂防課】 大分川水系流域治水プロジェクト（土砂災害対策の推進）

■砂防関係施設の整備

流域内における土砂流出や流木を抑制する砂防施設の整備、避難の実効性・安全性を高めるための避難所・避難路を土砂災害から保全する急傾斜地対策を行う。



砂防堰堤の整備	地すべり施設の整備	急傾斜地崩壊対策施設の整備	
大分川	柏野地区	上小原地区	蛇口地区
花合野川		湛水地区	寒田北町地区
下柿木川		南田代地区	宮園地区
上重川		2号廻瀬地区	平横瀬地区
高津原川		芝尾地区	和尚地区
上組川		旦野原地区	南太平寺地区
梶屋川		上宗方地区	上野丘西地区
		内徳野地区	
		国分新町地区	

- <凡例>
- ▼ 砂防堰堤等の整備 6箇所
 - 〰 急傾斜地崩壊対策施設の整備 16箇所
 - 地すべり防止施設の整備 1箇所

令和5年度の取組
・砂防関係施設の整備



令和4年度の取組
砂防設備の整備



令和4年度の取組
急傾斜施設の整備




区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	大分県		砂防関係施設の整備	

【砂防課】 大野川水系流域治水プロジェクト（土砂災害対策の推進）

■砂防関係施設の整備

流域内における土砂流出や流木を抑制する砂防施設の整備、避難の実効性・安全性を高めるための避難所・避難路を土砂災害から保全する急傾斜地対策を行う。

<凡例>

-  砂防堰堤等の整備 13箇所
-  急傾斜地崩壊対策施設の整備所 42箇所
-  地すべり施設の整備 3箇所



令和4年度の取組
砂防施設の整備



令和4年度の取組
急傾斜地崩壊防止施設の整備

令和5年度の取組
・砂防関係施設の整備



砂防堰堤の整備	地すべり施設の整備	急傾斜地崩壊対策施設の整備	
		田原地区	宮尾地区
利光川	綿田地区	大園C地区	大園(D)地区
徳平川	山内地区	西角子原地区	谷ヶ迫地区
須久保川二支溪	瀬の口地区	伊予床地区	釜本地区
小福手谷川		中下地区	平田地区
栗栖川		栃原地区	大興寺地区
郷野平川一支溪		近地地区	田中地区
郷野平川二支溪		高畑2地区	越戸地区
北平川		寺田地区	上久保地区
福河内川		衣掛地区	山方3地区
志田原川		菅生地区	上赤嶺2区地区
下矢倉川		寺原地区	南桑畑地区
竹田川②		上下木地区	天神山地区
第2矢原川		次倉中央地区	大恩寺地区
		渡瀬地区	石田地区
		殿町地区	下市地区
		濁淵地区	第3袖谷地区
		田原地区	小仲尾地区
		尾園地区	
		次倉中央②地区	
		七里地区	
		向庁地区	
		下津留地区	
		吐合地区	

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	大分県	砂防関係施設の整備		

【農村基盤整備課】大分川水系流域治水プロジェクト

(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策) (被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

■農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進

【防災重点農業用ため池の耐震化・洪水調節機能の強化】

- ・R4は県内51箇所について、堤体の耐震化を行い、農業用ため池が有する洪水調節機能を強化を行った
- ・R5は県内53箇所の予定



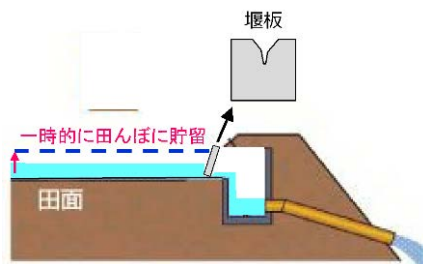
【水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発】

R4 取組状況

- ・R3に検証した結果を踏まえ、排水路流域単位で県内9地区(大分川流域 1地区(由布))のデータ収集を行い、洪水抑制効果の検証を行った

R5 取組内容

- ・県内10地区(大分川流域 1地区(由布))で引き続き、田んぼダム堰板を設置し、現地実証を継続予定
- ・R3～R5までの実証結果をとりまとめた効果検証結果資料を作成予定



■流水の貯留機能の拡大

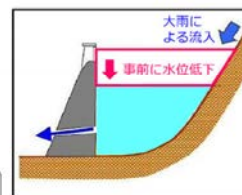
【農業用ダム・ため池の事前放流】

- ・農業用ダムの事前放流による治水活用
⇒ 県内25ダム(大分川・大野川流域5ダム(若杉ダム、石場ダム、師田原ダム、大谷ダム、大蘇ダム))
- ・ため池の事前放流による治水活用
⇒ 県内1,029箇所のため池管理者に対し、事前放流の取り組みを推進

農業用ダムの活用

- 大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げる等によって洪水調節機能を発揮。
- 降雨をダムに貯留し、下流域の氾濫被害リスクを低減。

【各地区の状況に応じて、放流水を地区内の調整池等に貯留】



ため池の活用

- 大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げる等によって洪水調節機能を発揮。



- 農業用水の貯留に影響のない範囲で、洪水吐にスリット(切り欠き)を設けて貯水位を低下させ、洪水調節容量を確保。



(被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

■水害リスク情報の提供・充実

【ため池ハザードマップ作成支援】

- ・大分県がR2までに作成した浸水想定区域図をもとに、各市町村において、ため池ハザードマップを作成
- ・県内で作成必要な1,013箇所全てをR4で作成完了。

【ため池への水位計・監視カメラの設置】

- ・ため池に水位計・監視カメラを設置し、豪雨時の適切な避難行動に備える
- ・R4は県内24箇所設置
- ・R5は県内約20箇所設置予定



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進	大分県	防災重点ため池の耐震化・洪水調節機能の強化、水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発		
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の貯留機能の拡大	大分県	農業用ダム・ため池の事前放流		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の提供・充実	大分県	水位計・監視カメラの設置		

【農村基盤整備課】大野川水系流域治水プロジェクト

(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策) (被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

■農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進

【防災重点農業用ため池の耐震化・洪水調節機能の強化】

- ・R4は県内51箇所について、堤体の耐震化を行い、農業用ため池が有する洪水調節機能を強化を行った
- ・R5は県内53箇所の予定



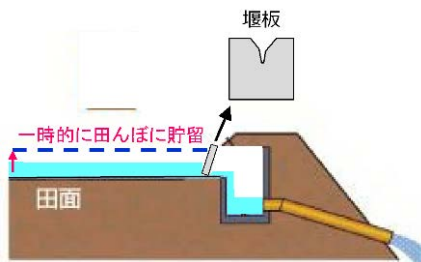
【水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発】

R4 取組状況

- ・R3に検証した結果を踏まえ、排水路流域単位で県内9地区(大野川流域 1地区(竹田))のデータ収集を行い、洪水抑制効果の検証を行った

R5 取組内容

- ・県内10地区(大野川流域 1地区(未定))で引き続き、田んぼダム堰板を設置し、現地実証を継続予定
- ・R3～R5までの実証結果をとりまとめた効果検証結果資料を作成予定



■流水の貯留機能の拡大

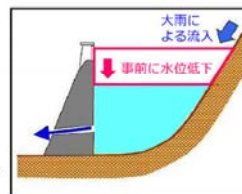
【農業用ダム・ため池の事前放流】

- ・農業用ダムの事前放流による治水活用
⇒ 県内25ダム(大分川・大野川流域5ダム(若杉ダム、石場ダム、師田原ダム、大谷ダム、大蘇ダム))
- ・ため池の事前放流による治水活用
⇒ 県内1,029箇所のため池管理者に対し、事前放流の取り組みを推進

農業用ダムの活用

- 大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げることで洪水調節機能を発揮。
- 降雨をダムに貯留し、下流域の氾濫被害リスクを低減。

【各地区の状況に応じて、放流水を地区内の調整池等に貯留】



ため池の活用

- 大雨が予想される際にあらかじめ水位を下げることで洪水調節機能を発揮。



- 農業用水の貯留に影響のない範囲で、洪水吐にスリット(切り欠き)を設けて貯水位を低下させ、洪水調節容量を確保。



(被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

■水害リスク情報の提供・充実

【ため池ハザードマップ作成支援】

- ・大分県がR2までに作成した浸水想定区域図をもとに、各市町村において、ため池ハザードマップを作成
- ・県内で作成必要な1,013箇所全てをR4で作成完了。

【ため池への水位計・監視カメラの設置】

- ・ため池に水位計・監視カメラを設置し、豪雨時の適切な避難行動に備える
- ・R4は県内24箇所設置
- ・R5は県内約20箇所設置予定



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	農地・農業水利施設を活用した流域の防災・減災の推進	大分県	防災重点ため池の耐震化・洪水調節機能の強化、水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発		
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の貯留機能の拡大	大分県	農業用ダム・ため池の事前放流		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の提供・充実	大分県	水位計・監視カメラの設置		

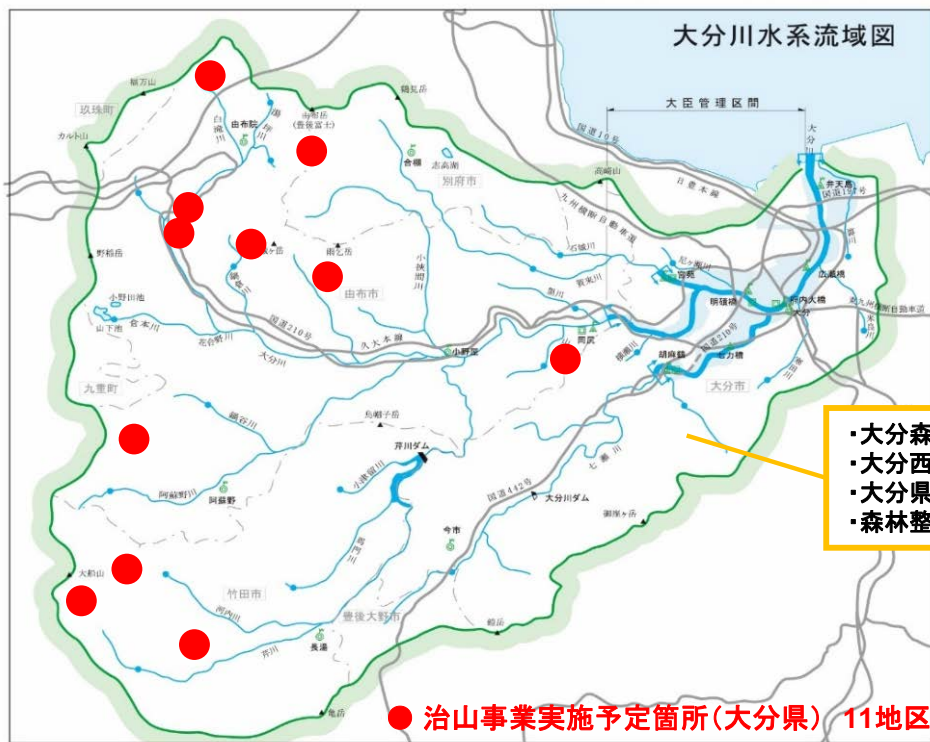
大分県森林保全課、大分県森林整備室
大分森林管理署、大分西部森林管理署
森林整備センター

大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

■ 森林整備、治山対策【氾濫河川上流域における森林整備、治山対策の実施】

森林は水源涵養機能や山地災害防止機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け、森林整備、治山対策を推進。

間伐等の森林整備の実施により雨水を地中に素早く浸透させ、ゆっくり流出させるという森林の洪水緩和機能を保全するとともに、治山事業の実施により流木・土砂の流出抑制効果を発揮させ、流域上流における防災・減災対策を図る。



森林整備による浸透能の向上効果



治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	大分県、大分森林管理署、大分西部森林管理署、森林整備センター		森林整備・治山対策	

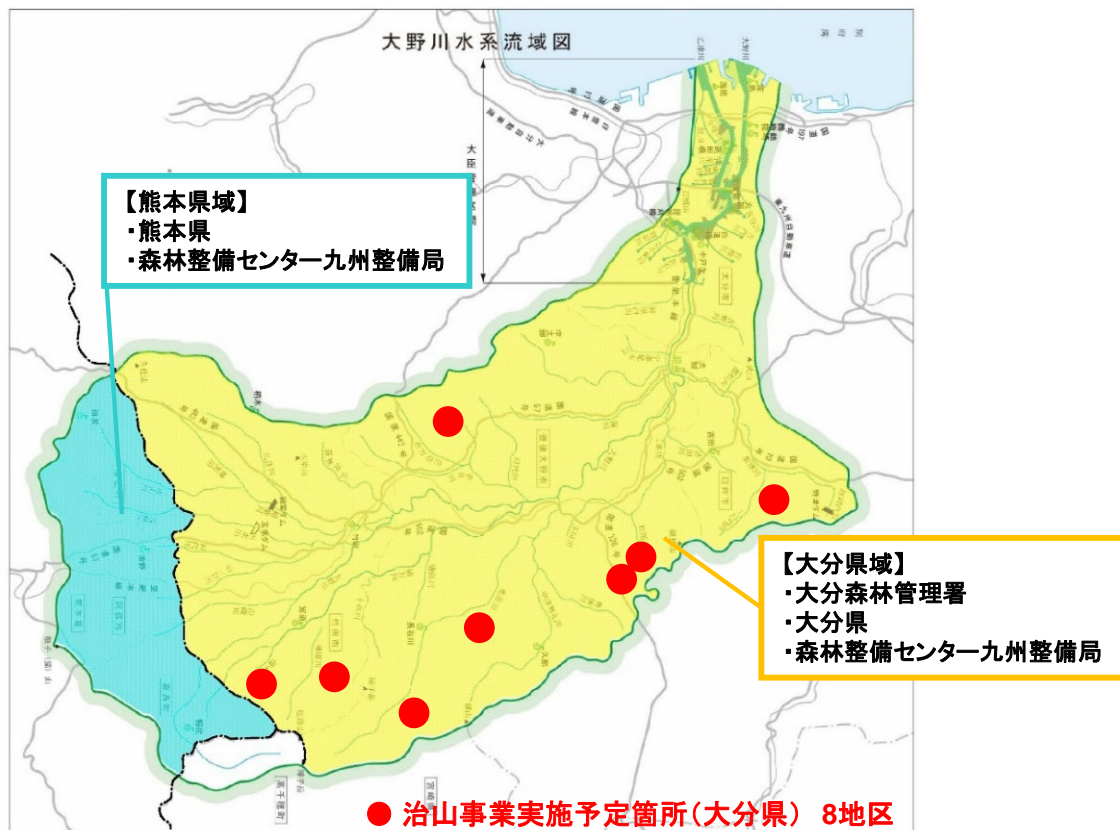
大分県森林保全課、大分県森林整備室
大分森林管理署
森林整備センター

大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

■ 森林整備、治山対策【氾濫河川上流域における森林整備、治山対策の実施】

森林は水源涵養機能や山地災害防止機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け、森林整備、治山対策を推進。

間伐等の森林整備の実施により雨水を地中に素早く浸透させ、ゆっくり流出させるという森林の洪水緩和機能を保全するとともに、治山事業の実施により流木・土砂の流出抑制効果を発揮させ、流域上流における防災・減災対策を図る。



森林整備による浸透能の向上効果



治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	大分県、大分森林管理署、森林整備センター	森林整備・治山対策		

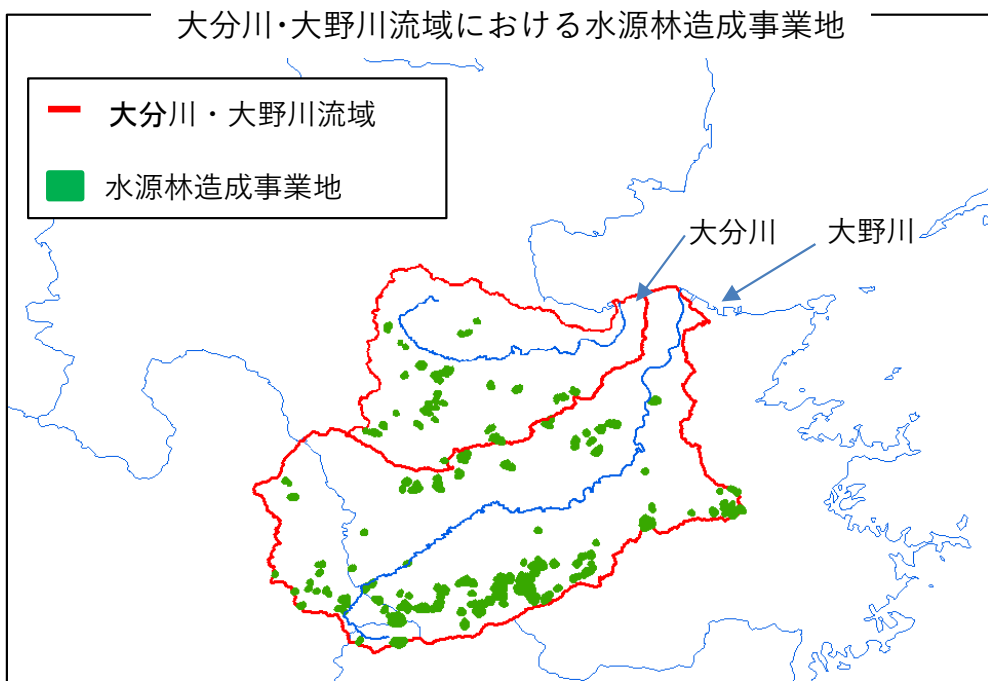
【森林整備センター】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト (氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

令和5年度の取組

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。

・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

大分川・大野川流域における水源林造成事業地は、約209箇所（森林面積約3.1千ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。



水源林の整備



針交混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前

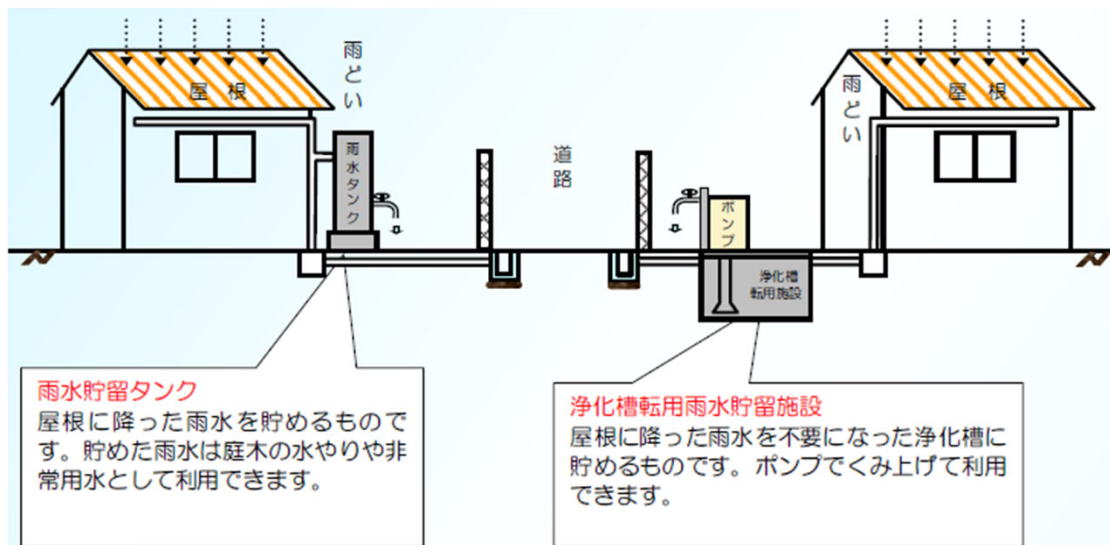


間伐実施後

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	森林整備センター	森林整備・治山対策		

【大分市】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

雨水貯留タンクを購入し設置する費用の半額(上限25,000円)を補助
(浄化槽からの転用の場合は上限50,000円)



雨水貯留施設(イメージ図)

令和4年度
・設置補助件数:29件

令和5年度
・設置補助上限数:50件

雨水貯留タンク設置例



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	雨水貯留施設設置補助	大分市		雨水貯留タンク設置補助	

【大分市】 大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

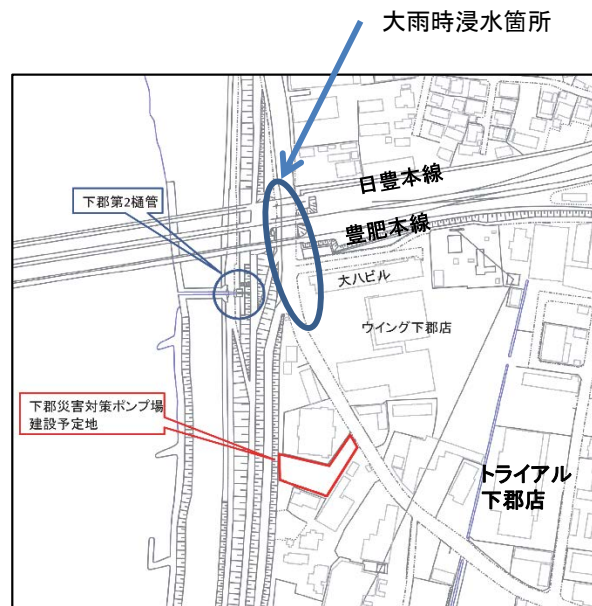
大雨時の浸水対策として、下郡地区及び花園地区の災害対策ポンプ場の建設を行う。
（令和4年度～令和5年度）

令和4年度の実施

建設工事の発注を行った。

令和5年度の実施

現地工事に着手する。



下郡地区（排水能力 1 m³/秒）



花園地区（排水能力 1 m³/秒）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下水道対策事業	大分市	下水道等の排水施設の整備		

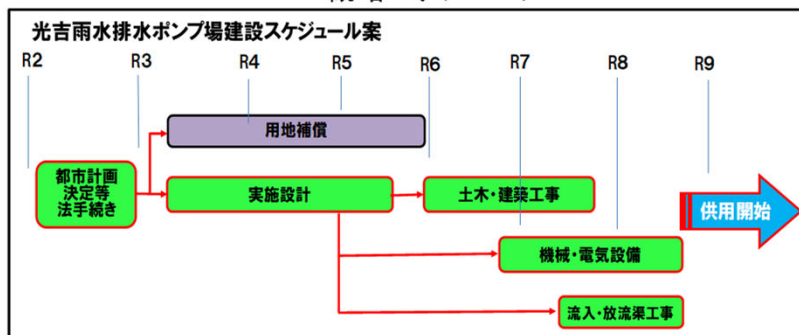
【大分市】 大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

光吉地区の浸水対策として、光吉雨水排水ポンプ場の建設を行う。

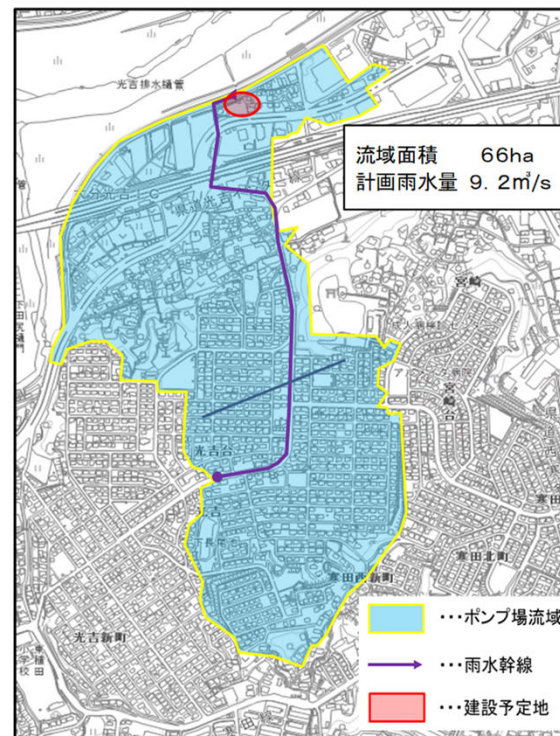
令和5年度の実施計画

事業用地の取得を完了するとともに実施設計を行い、令和8年度中の供用開始を目指す。

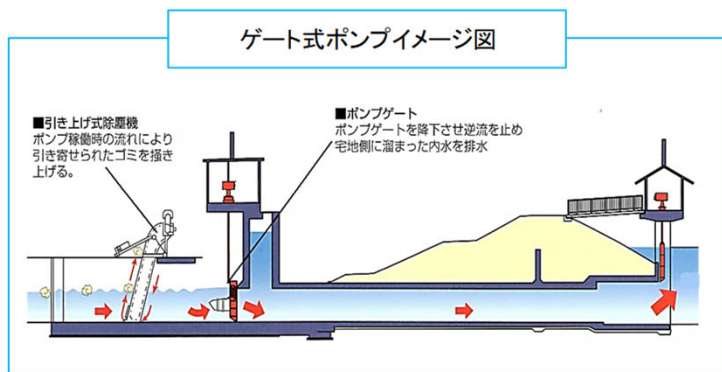
概略スケジュール



雨水排水ポンプ場流域



ゲート式ポンプイメージ図



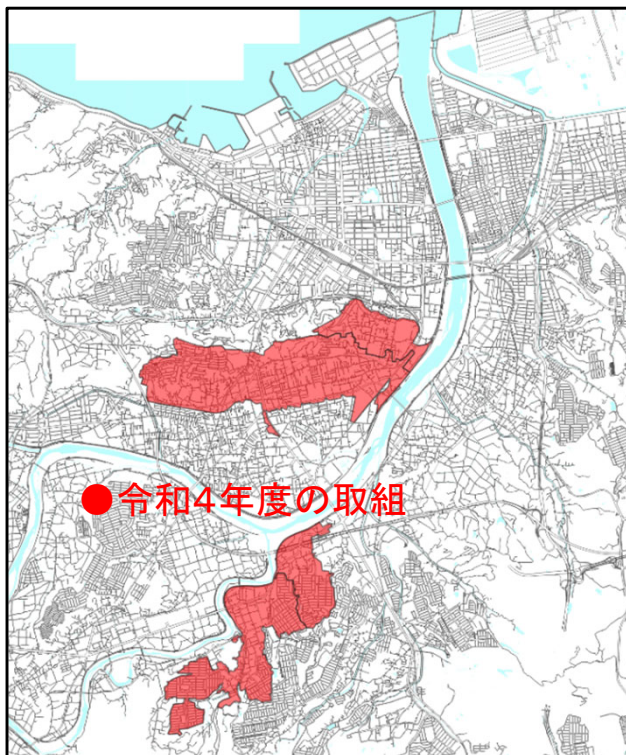
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下水道対策事業	大分市		下水道等の排水施設の整備	

【大分市】 大分川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

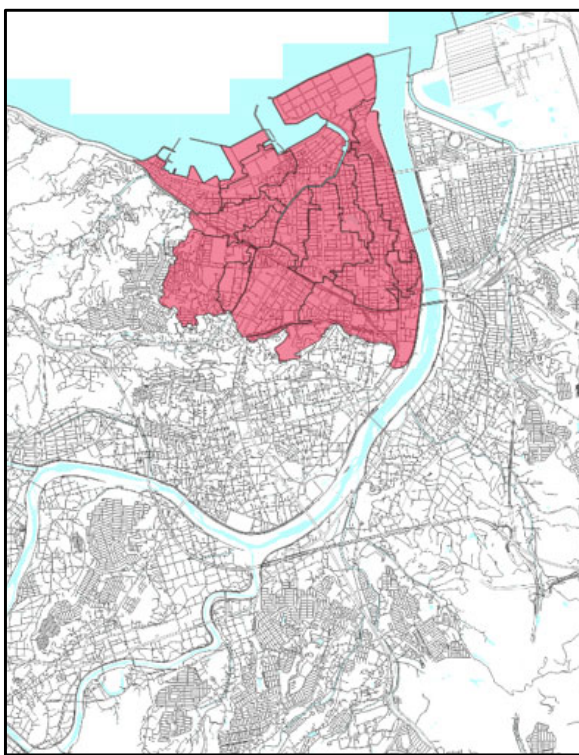
流出解析(浸水想定、流出抑制等の検討)

対象エリア

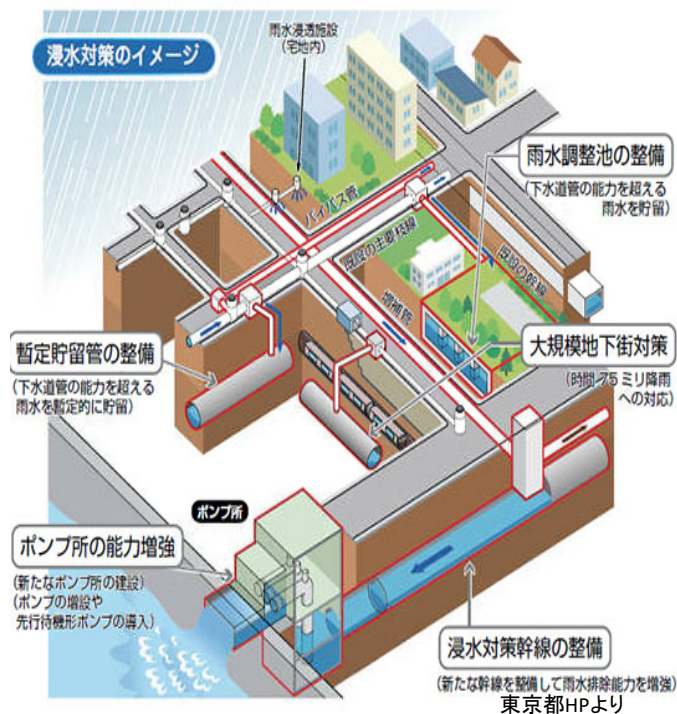
令和4年度の実施



令和5年度の実施



浸水シミュレーションによる流出解析を行い、浸水発生を抑制する最も効率的・効果的な手法を検討する。

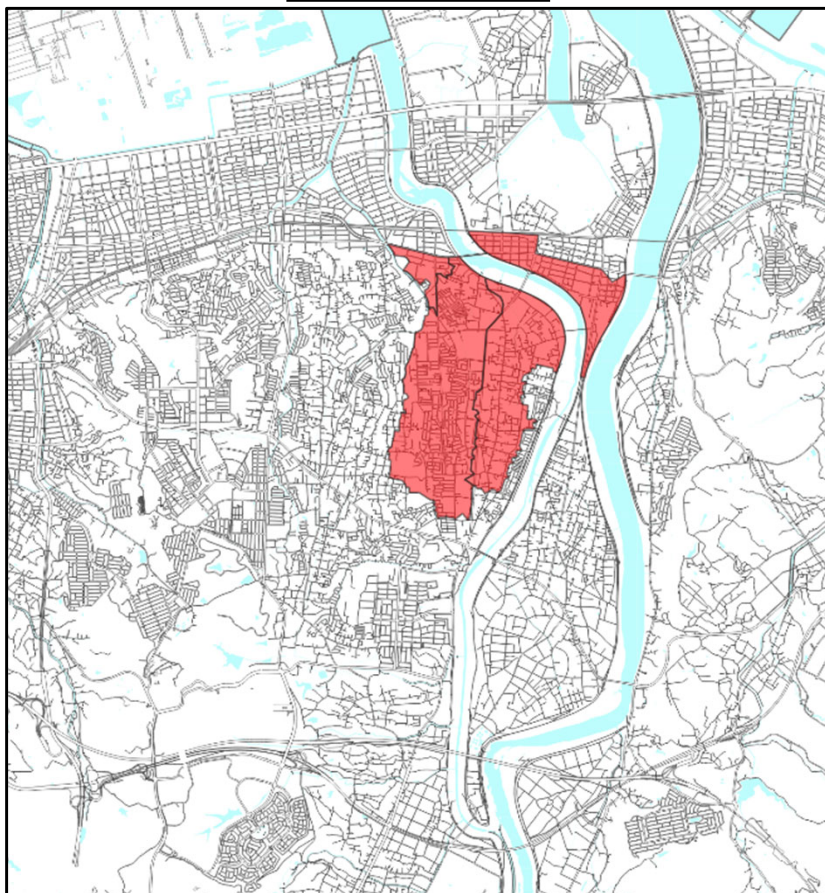


区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下水道対策事業	大分市	下水道事業における雨水流出抑制施設の検討		

【大分市】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

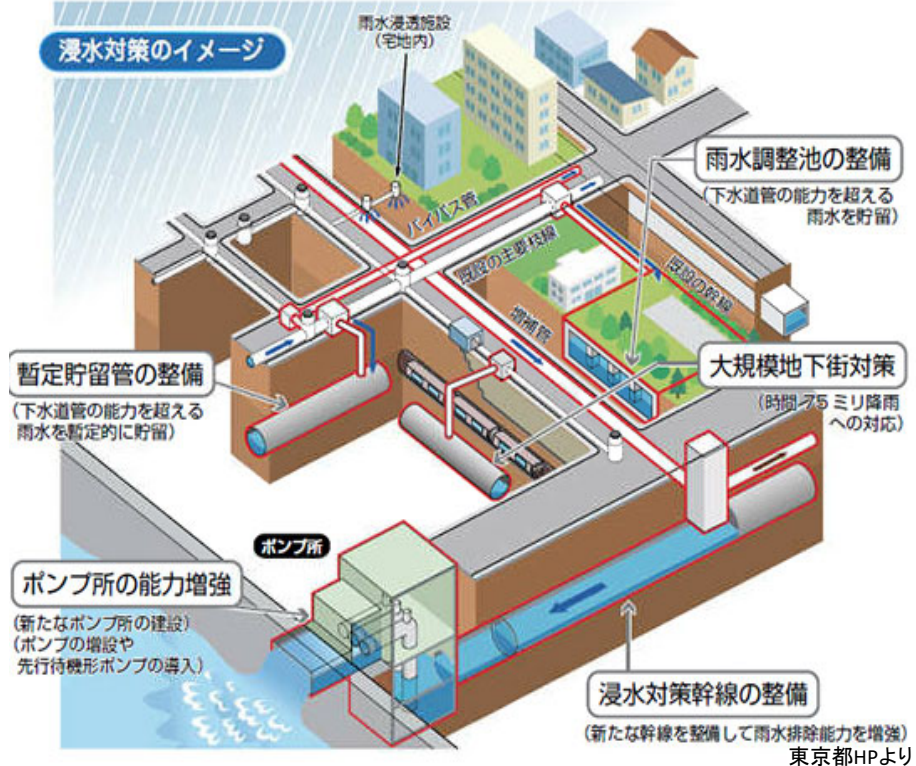
令和4年度の取組

対象エリア



浸水シミュレーションによる流出解析を行い、
浸水発生を抑制する最も効率的・効果的な
手法を検討する。

浸水対策のイメージ



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下水道対策事業	大分市	下水道事業による雨水流出抑制施設の検討		

【熊本県】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

○令和2年7月豪雨により被災した山鹿川において、災害関連事業を活用し、築堤、引堤、橋梁架替等を行うことにより、流下能力を向上させ、再度被害防止を図る。



【事業内容】
 事業主体：熊本県
 河川名：一級河川大野川水系 山鹿川
 事業箇所：熊本県阿蘇郡産山村地内
 事業延長：L=1,245.1m
 事業期間：令和2年度～令和6年度(予定)
 事業費：約5.9億円(うち改良費2.9億円)
 事業概要：築堤、引堤、橋梁架替 等

目的	対策内容	実施主体	短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	引堤、築堤	熊本県			

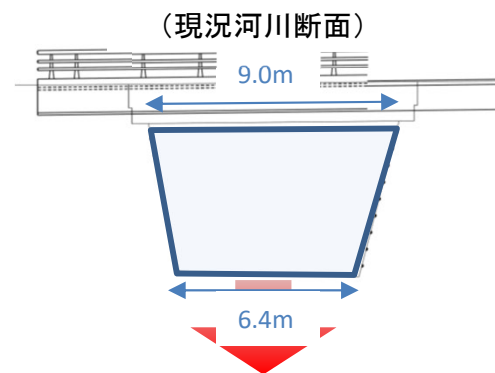
【熊本県】 大野川水系流域治水プロジェクト（氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

○令和2年7月豪雨により被災した山鹿川において、災害関連事業を活用し、築堤、引堤、橋梁架替等を行うことにより、流下能力を向上させ、再度被害防止を図る。

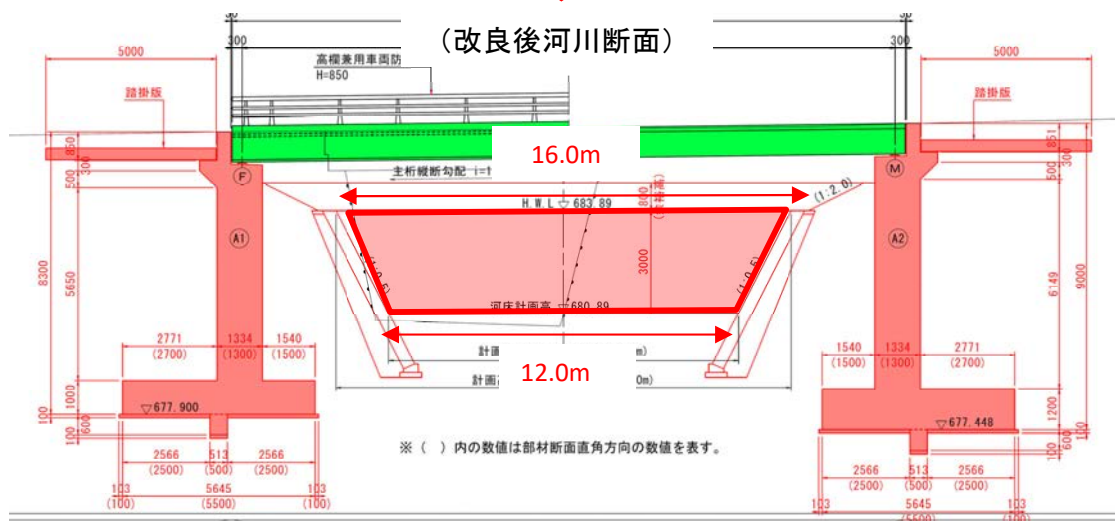
被災状況写真



事業イメージ



(改良後河川断面)



【事業内容】

事業主体：熊本県
 河川名：一級河川大野川水系 山鹿川
 事業箇所：熊本県阿蘇郡産山村地内
 事業延長：L=1,245.1m
 事業期間：令和2年度～令和6年度(予定)
 事業費：約5.9億円(うち改良費2.9億円)
 事業概要：築堤、引堤、橋梁架替等

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	橋梁架替	熊本県			

被害対象を減少させるための対策内容

【大分市】 大分川水系流域治水プロジェクト（被害対象を減少させるための対策）

耐水化検討施設箇所図

大分市公共下水道事業耐水化計画（R3策定済）

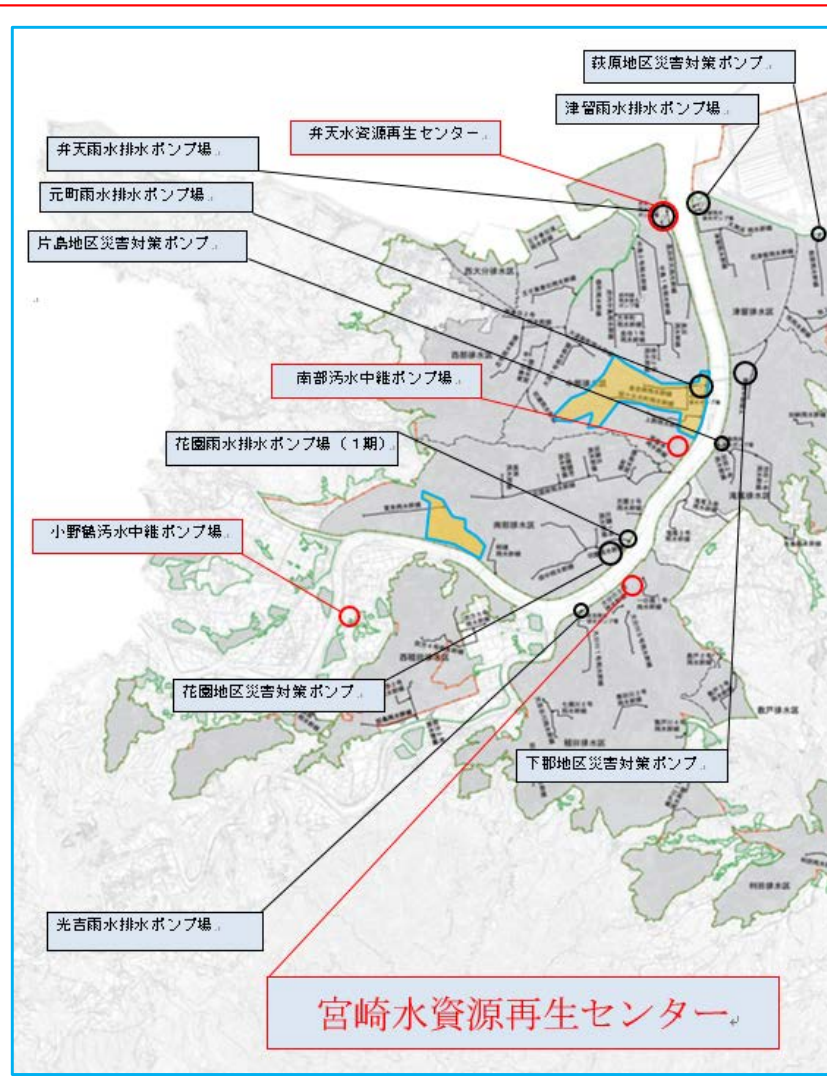
- 下水道施設12箇所を対象
- 想定外力を洪水、内水、津波、高潮とし
最も大きい浸水深を設定
- 短期に確保すべき機能、中期に確保すべき
機能において、各施設の揚水、消毒機能を
最優先

● 短期的に整備する施設

- ☆ 宮崎水資源再生センター
- ☆ 南部汚水中継ポンプ場
- ☆ 元町雨水排水ポンプ場
- ☆ 津留雨水排水ポンプ場
- ☆ 花園雨水排水ポンプ場（1期）

● 令和5年度の取組

- ☆ 宮崎水資源再生センター基本設計
- 対策浸水深 GL+0.0~0.4m
- 対策工法検討
- 概算事業費算定



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	施設の機能確保	大分市	水資源再生センター等の耐水化等による機能確保		

【大分市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害対象を減少させるための対策）

大分市公共下水道事業耐水化計画（R3策定済）

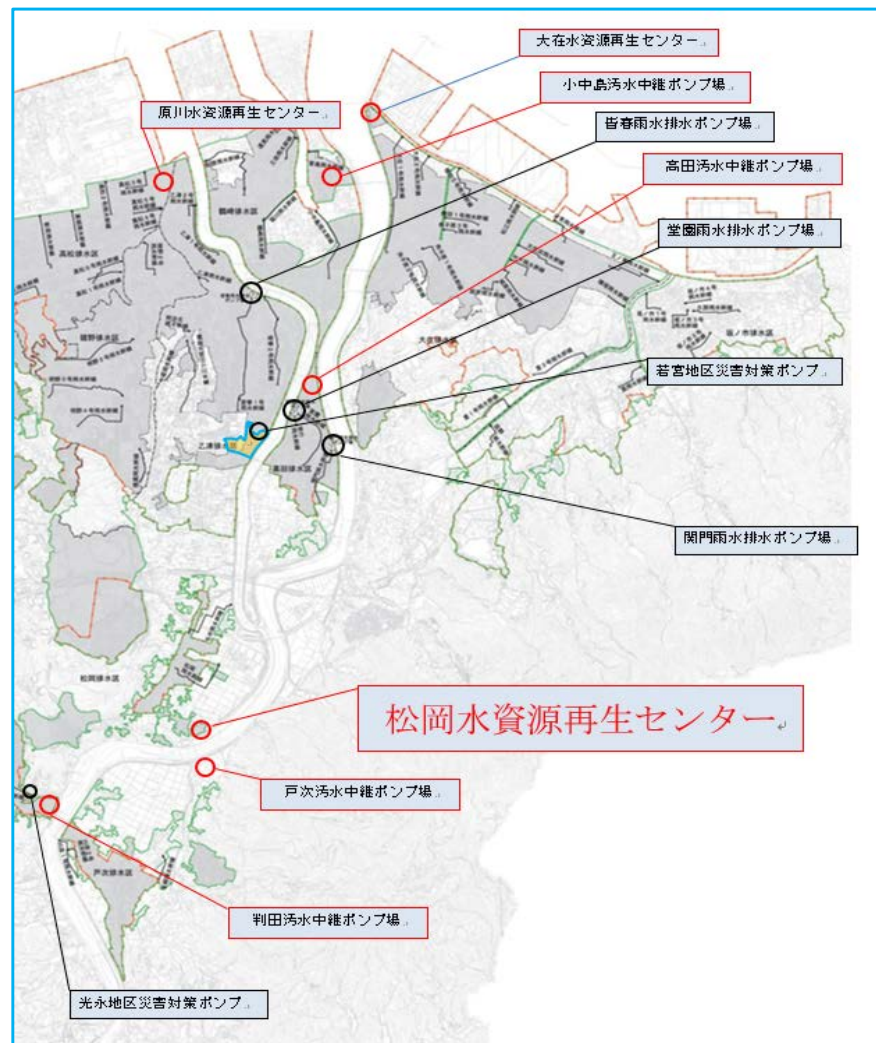
- 下水道施設12箇所を対象
- 想定外力を洪水、内水、津波、高潮とし最も大きい浸水深を設定
- 短期に確保すべき機能、中期に確保すべき機能において、各施設の揚水、消毒機能を最優先
- 短期的に整備する施設
 - ☆ 松岡水資源再生センター
 - ☆ 判田汚水中継ポンプ場
 - ☆ 戸次汚水中継ポンプ場
 - ☆ 堂園雨水排水ポンプ場
 - ☆ 関門雨水排水ポンプ場



● 令和4年度の取組

- ☆ 松岡水資源再生センター基本設計
- 対策浸水深 GL+0.9~1.6m
- 開口部閉塞or防水壁検討
- 概算事業費算定

耐水化検討施設箇所図

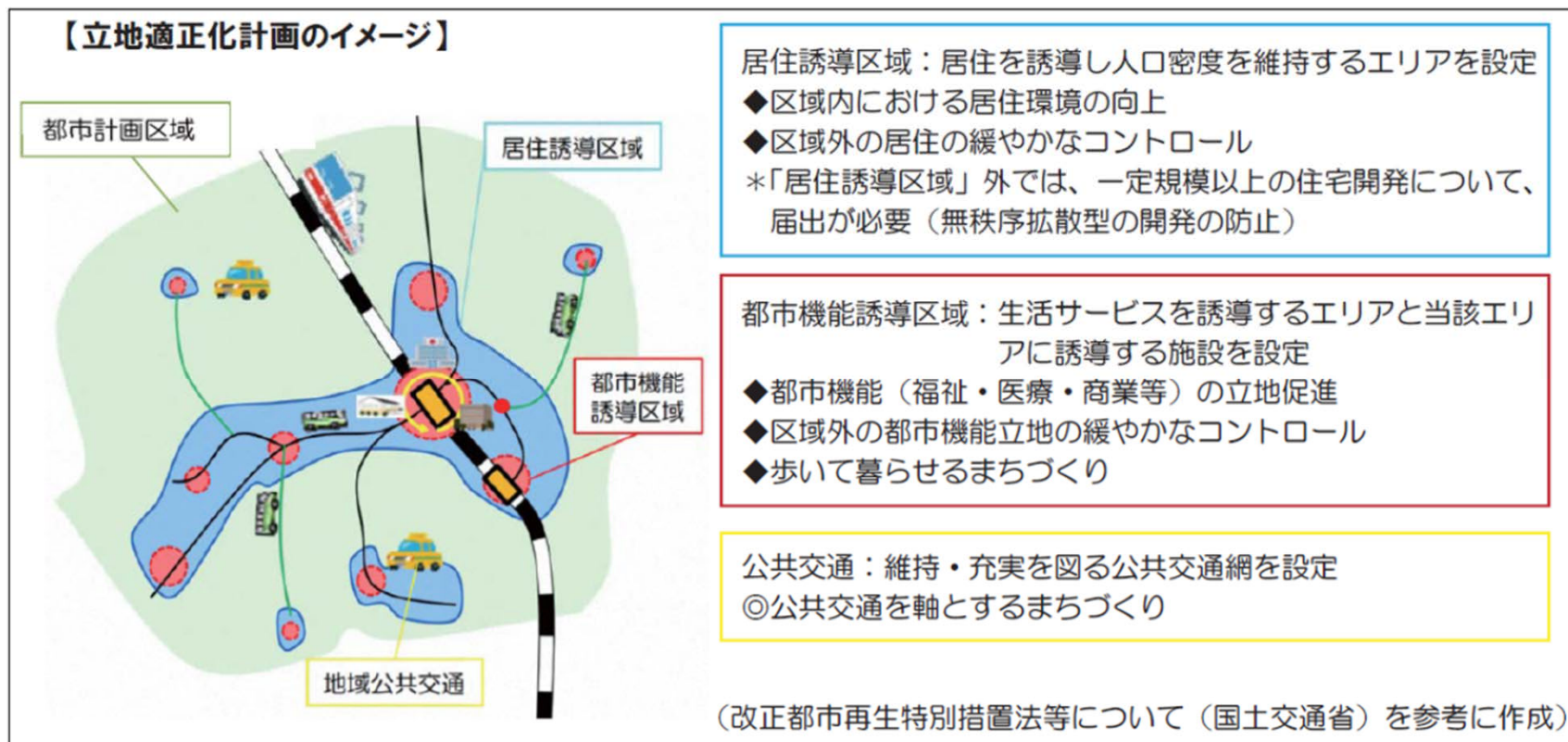


区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	施設の機能確保	大分市	水資源再生センター等の耐水化等による機能確保		

【大分市】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害対象を減少させるための対策）

- 立地適正化計画の作成・見直し（R5年度末の改訂を予定）
- 災害リスクの分析による防災指針の検討

○H31年に都市再生特別措置法第81条に基づき策定した「大分市立地適正化計画」の見直し。
 居住誘導区域（本市では、居住推奨区域）内では、「防災指針」に基づく防災対策・安全確保策の追加を予定。
 ○洪水、津波、高潮、浸水実績、土砂災害、大規模盛土、地震のリスク分析による防災指針の検討。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	大分市	立地適正化計画の作成・見直し（防災指針の作成等）		

【由布市】 大分川水系流域治水プロジェクト（被害対象を減少させるための対策）

令和4年度の実施

- 立地適正化計画の策定
- 災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討
- ※令和5年度中に公表予定

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画の策定災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討	由布市	令和4年4月～令和5年度中		

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策内容

【国土交通省】大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度の取組

防災出前講座、防災教育、避難訓練等

内容：ハザードマップ、避難情報、防災情報の入手方法、避難所について、マイタイムラインについて等

【防災出前講座】
津留地区公民館

【防災教育】
大分大学・三佐小学校・大分市立東植田小学校・大分工業高校
鶴崎小学校・大分市立西の台小学校・別保小学校
大分市立賀来小中学校・松岡小学校
大分市立田尻小学校



令和5年度の取組

防災出前講座、防災教育、避難訓練等

の継続

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	国土交通省	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【国土交通省】大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■水害時の早期避難を促す体験ツールの作成


○水害発生メカニズムや浸水時の状況を分かりやすく伝えるデジタルツールを作成し、広く活用することにより、住民の防災意識向上を促す。

○浸水時に水圧でドアが開かなくなる現象を実体験を通して理解してもらうツール「水圧ドア」を製作。製作した「水圧ドア」は、水防災イベントや出前講座において使用。

●水害体験デジタルツールの概要

◇堤防決壊の状況がわかるツール（3～5分で視聴可能な動画）
⇒鬼怒川の堤防決壊を参考にVRにより作成

◇決壊後の堤内側の浸水状況がわかるツール
⇒その他のデジタルツールの組み合わせやGoogleEarthを用いた浸水深確認ツールを含めて検討。




●水圧ドアの製作イメージ

◇製作内容

- ・水圧ドア（軽トラックで運搬可能）
- ・使用マニュアル

◇活用場面

- ・防災イベント ※8/18シンポジウムで使用
- ・防災以外の各種イベント
- ・防災出前講座
- ・関係機関への貸出、等



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	国土交通省	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

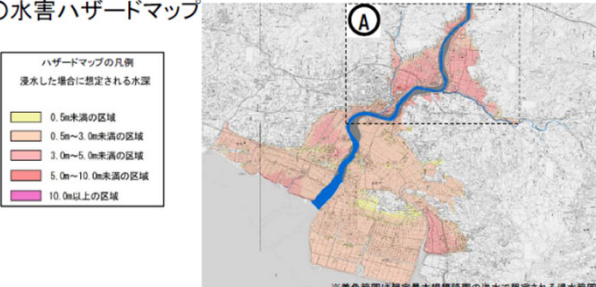
【国土交通省】大分川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■水害リスクマップの作成・公表

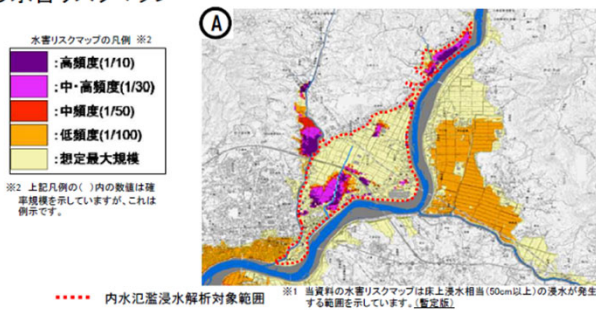
- 従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進。
- 今後は、これに加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ（浸水頻度図）」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進。

●水害リスク情報の充実

○水害ハザードマップ



○水害リスクマップ



※1 当資料の水害リスクマップは床上浸水相当(50cm以上)の浸水が発生する範囲を示しています。【暫定値】

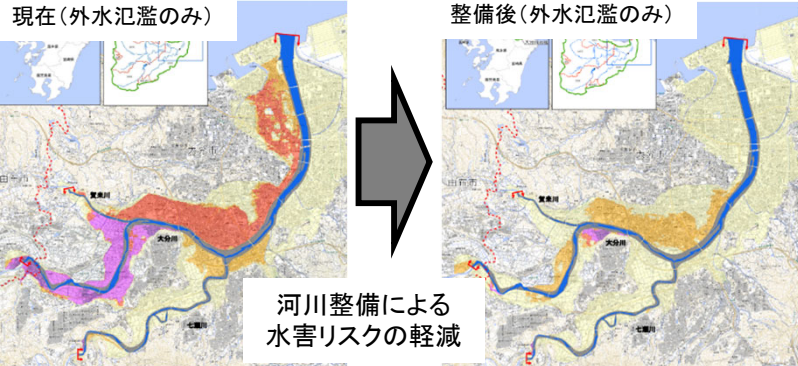
※2 上記凡例の()内の数値は確率規模を示していますが、これは例示です。

●水害リスクマップの活用イメージ

現在の水害リスクと今後実施する河川整備の効果を反映した将来の水害リスクを提示し、以下に取り組む

- 住居・企業の立地誘導・立地選択や水害保険への反映等に活用することで、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進
- 企業BCPへの反映を促進することで、洪水時の事業資産の損害を最小限にとどめることにより、事業の継続・早期復旧を図る

現在(外水氾濫のみ) → 整備後(外水氾濫のみ)



河川整備による水害リスクの軽減

大分河川国道事務所ホームページにて令和4年4月より公表

多段階の浸水想定図・水害リスクマップ

河道条件	浸水深		
	0cm以上	50cm以上	300cm以上
現況 (R3末)	●	●	●
短期整備後	●	●	●
中長期整備後	●	●	●

河道条件	浸水深		
	0cm以上	50cm以上	300cm以上
現況 (R3末)	●	●	●
短期整備後	●	●	●

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	国土交通省	水害リスクマップの作成		

【国土交通省】大野水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■水害リスクマップの作成・公表

○従来、想定最大規模降雨の洪水で想定される浸水深を表示した水害ハザードマップを提供し、洪水時の円滑かつ迅速な避難確保等を促進。

○今後は、これに加えて、浸水範囲と浸水頻度の関係をわかりやすく図示した「水害リスクマップ（浸水頻度図）」を新たに整備し、水害リスク情報の充実を図り、防災・減災のための土地利用等を促進。

●水害リスク情報の充実

○水害ハザードマップ

○水害リスクマップ※1

※1 当資料の水害リスクマップは床上浸水相当(50cm以上)の浸水が発生する範囲を示しています。【想定値】

※2 上記凡例の()内の数値は標準規模を示していますが、これは例示です。

●水害リスクマップの活用イメージ

現在の水害リスクと今後実施する河川整備の効果を反映した将来の水害リスクを提示し、以下に取り組む

- 住居・企業の立地誘導・立地選択や水害保険への反映等に活用することで、水害リスクを踏まえた土地利用・住まい方の工夫等を促進
- 企業BCPへの反映を促進することで、洪水時の事業資産の損害を最小限にとどめることにより、事業の継続・早期復旧を図る

河川整備による水害リスクの軽減

大分河川国道事務所ホームページにて令和4年4月より公表

多段階の浸水想定図・水害リスクマップ

<大分川水系 水害リスクマップ>

河道条件	浸水深		
	0cm以上	50cm以上	300cm以上
現況 (R3末)	●	●	●
短期整備後	●	●	●
中長期整備後	●	●	●

<大野川水系 水害リスクマップ>

河道条件	浸水深		
	0cm以上	50cm以上	300cm以上
現況 (R3末)	●	●	●
短期整備後	●	●	●

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	国土交通省	水害リスクマップの作成		

【防災対策企画課】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■避難体制等の強化（高齢者福祉施設等への避難訓練支援）

高齢者福祉施設等の避難訓練支援事業

令和2年7月豪雨における事象

- ・中津江村高齢者福祉施設では早期避難により被害なし
- ・熊本県の特別養護老人ホームでは、マンパワーの不足等による逃げ遅れから、多数の人的被害発生

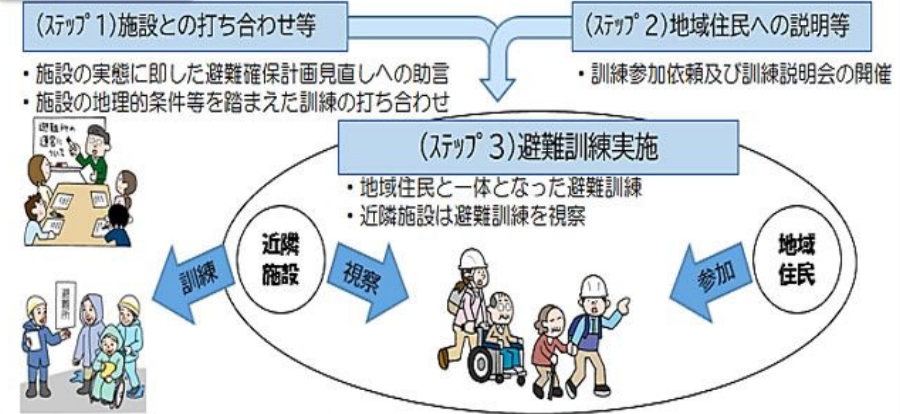


中津江村の好事例や、施設・地域が一体となった早期避難の必要性を県内の施設へ浸透させることが重要

令和4年度の取組

- 福祉団体や住民と連携した高齢者施設の訓練への支援
 - ・地域の福祉団体との協働による避難訓練の実施
 - ・警戒レベルに沿った避難のタイミングを検討
 - ・避難訓練の実践、避難確保計画の見直し等を支援
- 対象施設(年間10施設で実施予定)【継続】
洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波浸水想定区域のいずれかに所在する高齢者福祉施設(介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、認知症グループホーム)
- 【実績】
 - 6/17 特養 日田園（浸水想定区域・日田市）
 - 6/22 老健 センテナリアン（土砂災害警戒区域・日田市）
 - 10/22 老健 はね（土砂災害警戒区域、浸水想定区域・玖珠町）

事業スキーム



施設の感想・意見(抜粋)

- 事業の良かった点
ハザードマップや避難確保計画を踏まえ、避難訓練で不十分な箇所の助言があり、職員の役割を再認識することができた。
- 県への要望
本事業の参加施設における課題や改善策、有効的な取組等を共有してほしい。

令和5年度の取組

- 福祉団体や住民と連携した高齢者施設の訓練への支援【継続】
- 対象施設(年間10施設で実施予定)【継続】
洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、津波浸水想定区域のいずれかに所在する高齢者福祉施設(介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、認知症グループホーム)
- 施設の避難訓練報告会【継続】
要配慮者利用施設を対象に、訓練実施施設の取組を発表、意見交換

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	大分県	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【防災対策企画課】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■ 避難体制等の強化（マイ・タイムライン、地区タイムラインの作成支援等）

◆ 令和4年度までの取組

①防災アプリにマイタイムライン作成機能追加

- ・スマホでの作成で効率や利便性を向上（ハザードマップの確認や印刷が不要）

警戒レベル2 大雨・洪水注意報	警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示
--------------------	------------------	----------------

↑避難スイッチに設定

「高齢者等避難」発生！
〇〇避難所に避難しましょう！

設定した状況になったら避難するよう異音でプッシュ通知

③要配慮者向けマイタイムラインの作成

＜要配慮者向けマイタイムラインとは＞
地域の「支援者」や避難先での配慮事項等を事前に設定したマイタイムライン

- ・防災士を対象とした研修の開催
- ・受講後、市町村職員や民生委員等と連携し、要配慮者を戸別訪問のうえ、マイタイムラインの作成を推進

◆ 令和5年度から新たに追加する取組

①おおいた防災アプリの登録促進

【おおいた防災アプリ登録に向けた広報】

- ・TVやSNSでのCM配信
- ・チラシ配布（高校、携帯会社、イベントなど）
- ・県広報媒体（HP、テレビ、ラジオ、広報誌）の活用

②防災アプリに家族グループ機能追加

- ・グループ登録した家族に警戒レベルを知らせ、遠方の家族からの声かけを通じた早期避難を促進

娘（花子）

父（太郎）

避難するかどうか迷っている

家族から避難を呼びかけ

④地区タイムラインの作成

- ・R4はモデル的に数箇所所で実施し、マニュアルを作成
- ・今後、防災士研修等を通じ、県内各地に展開

②地区タイムラインの活用促進

地区タイムラインの活用促進	地区タイムラインの活用促進	地区タイムラインの活用促進	地区タイムラインの活用促進	地区タイムラインの活用促進	地区タイムラインの活用促進	地区タイムラインの活用促進	地区タイムラインの活用促進	地区タイムラインの活用促進
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

【避難させ隊において地区タイムラインを作成】

- ・地元団体（防災士会等）、住民主体の訓練支援
- ・地区タイムラインを作成し、避難スイッチや避難行動を地区全体で共有
- ・実施予定 6地区

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	大分県	マイ・タイムラインの作成支援、自主防災組織単位毎のタイムライン作成支援		

【大分県河川課】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

◆防災士養成研修の講師派遣（主催：大分県防災局）

県内10箇所において、地域の防災力向上のため、自主防災組織活動の要となる防災士の養成研修へ河川課と砂防課から講師を派遣し「水害対策について」等について講演を行いました。

令和4年度 大分県防災士養成研修

開催会場	日程	対象市町村	場所	受講者数
1 県社協	9月13日（火）、10月18日（火）、11月1日（火）	県内福祉施設職員	大分県総合社会福祉会館	35
2 県教委	10月4日（火）、5日（水）	県立学校教職員	大分県教育会館	64
3 豊後大野市	10月29日（土）、30日（日）	竹田市、豊後大野市	大野公民館	23
4 日出町	11月5日（土）、6日（日）	国東市、杵築市、日出町、姫島村	日出町保健福祉センター	30
5 由布市	11月12日（土）、13日（日）	由布市、別府市	由布市役所庄内庁舎	13
6 大分市	11月19日（土）、20日（日）	大分市	大分市コンパルホール	124
7 佐伯市	12月3日（土）、4日（日）	佐伯市、臼杵市、津久見市	保健福祉総合センター和楽	45
8 豊後高田市	12月10日（土）、11日（日）	宇佐市、中津市、豊後高田市	豊後高田市役所コスモスホール	44
9 日田市	12月17日（土）、18日（日）	日田市	日田市役所	29
10 県庁	1月31日（火）、2月1日（水）	県職員等	県庁舎本館正庁ホール	47
合計				454



令和5年度も継続

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	大分県	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【大分県河川課】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト (被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

◆消防学校へ講師派遣

令和5年度も継続

- ・令和4年6月16日(木) 大分県消防学校
- 新たに採用された消防職員に対し河川課と砂防課から講師を派遣し防災について講演を行いました。



◆その他 研修等講師派遣

令和5年度も継続

＜土木未来教室＞

地域の小中学生に対して防災等の学習会を実施

【豊後大野土木事務所】

- ・令和4年11月16日(水) 豊後大野市立百枝小学校・菅尾小学校・新田小学校
- ・令和4年12月6日(火) 豊後大野市立三重東小学校

【竹田土木事務所】

- ・令和4年10月6日(木) 竹田市立直入小学校
- ・令和4年11月21日(月) 竹田市立竹田中学校、久住中学校、都野中学校

＜砂防土砂災害避難促進アクションプログラム＞

実行性のある避難行動を確保するため、県から土砂災害専門家(砂防ボランティア)を派遣して、地域単位の避難訓練等を支援

【大分土木事務所】

- ・令和4年10月30日(日) 由布市庄内町高岡 宇南水足自治区



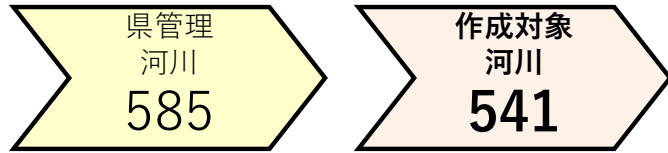
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	大分県	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【大分県河川課】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト (被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)

○災害の危険性の見える化により、洪水等からの逃げ遅れが無いよう、適切な避難行動を促進

①中小河川等洪水時ハザードマップ作成支援

☑頻発する豪雨災害に対応するため、令和5年度より作成対象を中小河川（県管理河川）の全河川に拡充し令和8年度までに作成



【令和4年度まで】

高優先河川:255河川

- 過去に浸水実績のある河川
- 河川背後地に資産(住居等)が集中(人家50戸以上目安)
- 要配慮者利用施設が河川近傍に存在

【令和5年度より】

対象河川:541河川

- 作成対象河川を全河川に拡充

＜効果＞ 中小河川等での住民の避難体制を構築

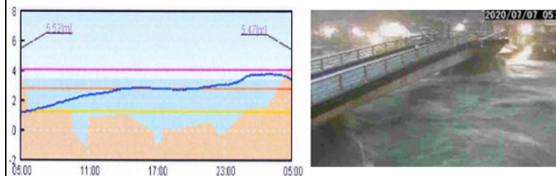
②中小河川等への水位計・河川カメラ増設

☑住民の避難行動を促すための視覚情報を充実するため、従前の大規模河川等に加え、中小河川等へも水位計・カメラを増設

考え方

- ☑過去に浸水実績のある河川
- ⇒浸水実績のある河川については、ハザードマップに加え、視覚情報を用いて、より緊迫感を持って避難行動を促す

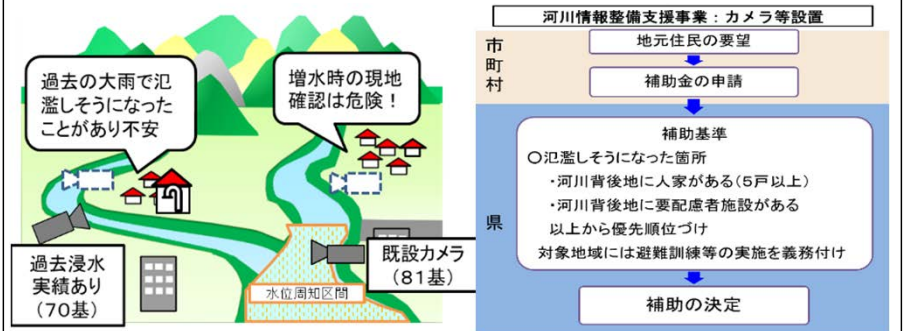
◆水位計：既設127基 + 増設24基 = 計各151基設置 (R3済)
 ◆カメラ：既設 82基 + 増設69基



(県HPや防災アプリ等で視覚情報を発信)

＜効果＞
 視覚情報等の提供により、適切な避難行動を促進

○市町村が県管理河川に新規に設置する河川監視カメラ等の設置費用について支援を実施。(R4～R6)



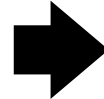
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク情報の提供・充実	大分県	水害監視カメラ・量水標の設置		

【大分県河川課】大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

水防警報発令システムについて

【1 現状と課題】

- ◆急激な豪雨に起因して同時多発的に河川の水位が上昇
- ◆関係機関への水防警報発令の伝達手段がアナログ



- 急激に変化する災害リスクに対し、スピーディーな情報伝達が必要
- 関係機関と迅速に河川情報を共有し、円滑な避難行動を促進

【2 今後の取組】

洪水時河川情報提供事業

○ 水防警報発令システム導入

- 内容
- ①水防警報発令処理をシステム化(半自動化)
 - ②メールで職員・水防管理者等へ通知

27都道府県でシステム運用中

- 効果
- ・水防警報処理時間短縮
 - ・早期伝達
 - ・ミス防止

一覧表示で「見える化」

事務所	河川名	観測所	水位(m)	水位超過		水防警報		
				種類	基準水位	時刻	準備	出動
〇〇土木	〇〇川	〇〇橋	3.32	氾濫危険	3.00	11:50	11:40	12:10
〇〇土木	〇〇川	〇〇橋	2.11	氾濫危険	2.00	12:00	11:50	12:10
〇〇土木	〇〇川	〇〇橋	2.22	避難判断	2.02	11:30	11:40	
〇〇土木	〇〇川	〇〇橋	1.55	水防団待機	1.50	10:00	10:10	
氾濫危険	2河川	2箇所	避難判断	1河川	1箇所	出動	2河川	2箇所
氾濫注意	1河川	2箇所	水防団待機	2河川	3箇所	準備	2河川	4箇所

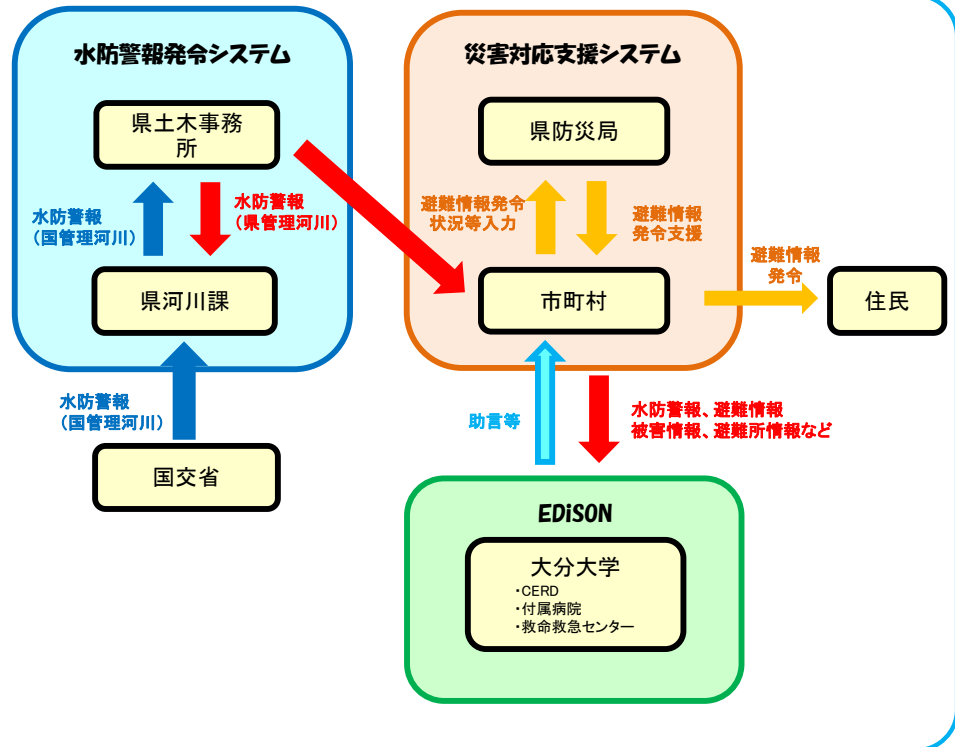
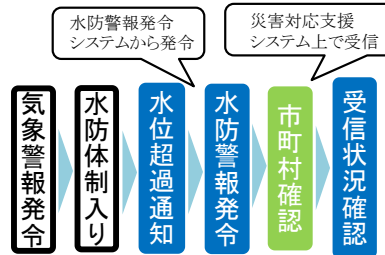
きめ細かな現場対応

○ 災害対応支援システムと連携

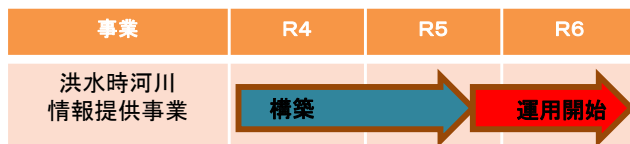
- 内容
- ①災害対応支援システムを通して水防警報発令状況を関係水防機関と共有
 - ②災害対応支援システム内で受信確認

- 効果
- ・県防災局、市町村と円滑な情報共有
 - ・避難情報早期発令
 - ・水防団へ早期伝達

早期避難



【3 スケジュール】



【4 目指す効果】

- システムの連携により避難情報の早期発信、県民の適切な避難行動を促進
- システム導入により業務効率化、出水時のきめ細かな現場対応が可能



県民の早期避難及び安全・安心に寄与

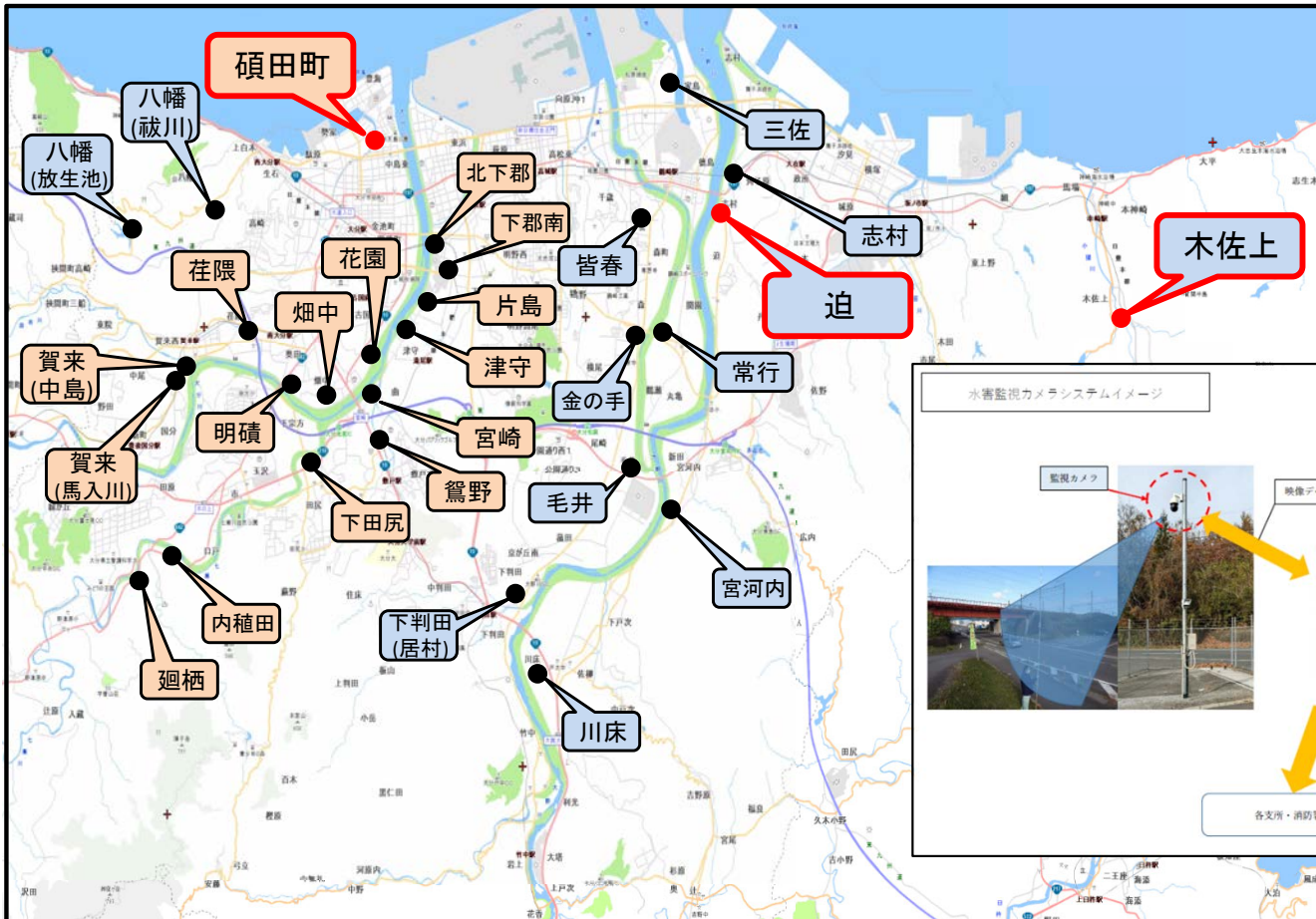
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分県	水防警報発令システムの導入		

【大分市】 大分川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 避難行動を支援する防災情報の提供
- 危機管理型水位計の設置や水位標、河川カメラ等の検討、整備

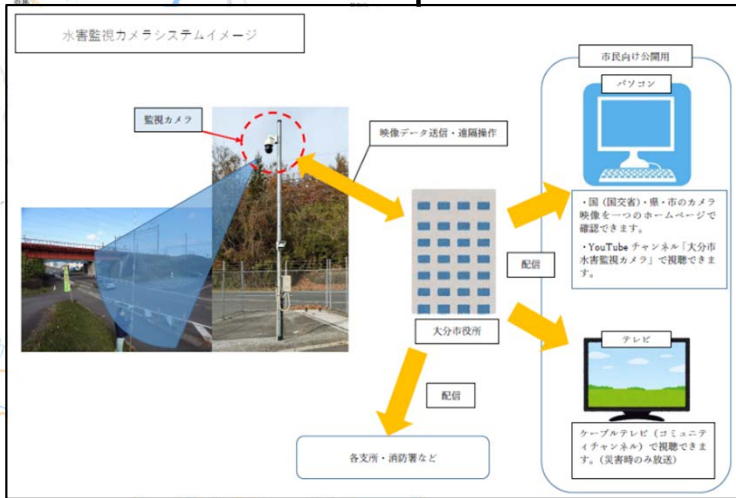
水害監視カメラの設置及び配信

水害監視カメラ設置箇所 位置図



令和4年度
 ・水害監視カメラ設置
 16箇所(既設15、**新規1**)

令和5年度
 ・水害監視カメラ追加設置
 3箇所(場所未定)



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供充実	大分市	水害監視カメラの設置		

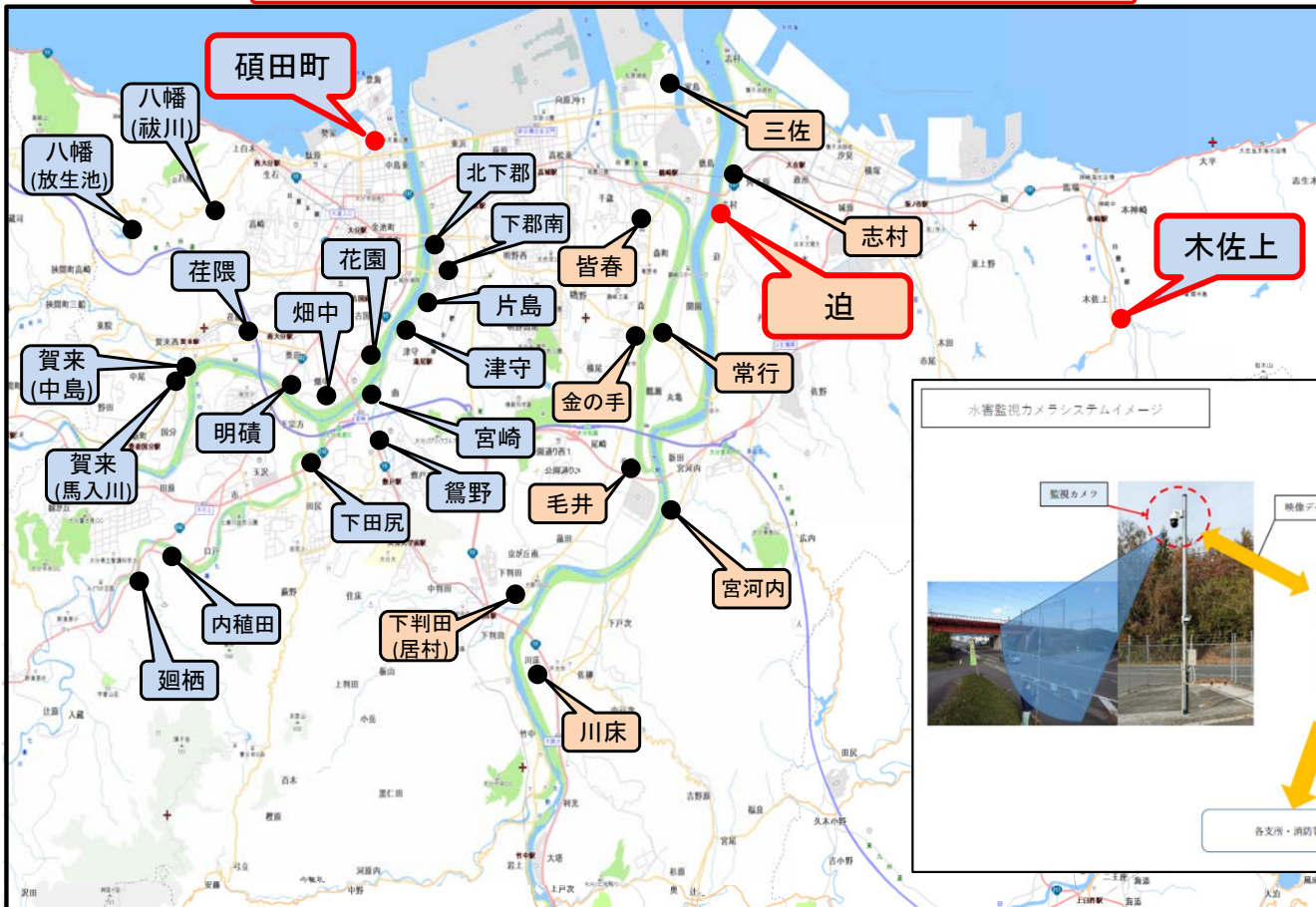
【大分市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■ 避難行動を支援する防災情報の提供

○ 危機管理型水位計の設置や水位標、河川カメラ等の検討、整備

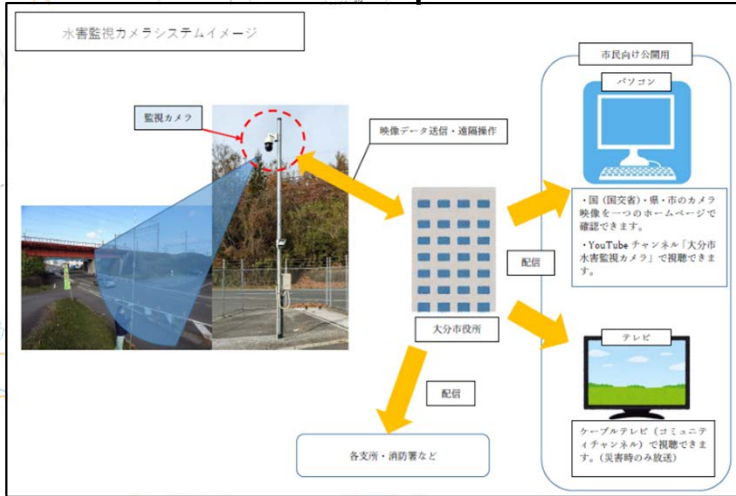
水害監視カメラの設置及び配信

水害監視カメラ設置箇所 位置図



令和4年度
 ・水害監視カメラ設置
 10箇所(既設9、新規1)

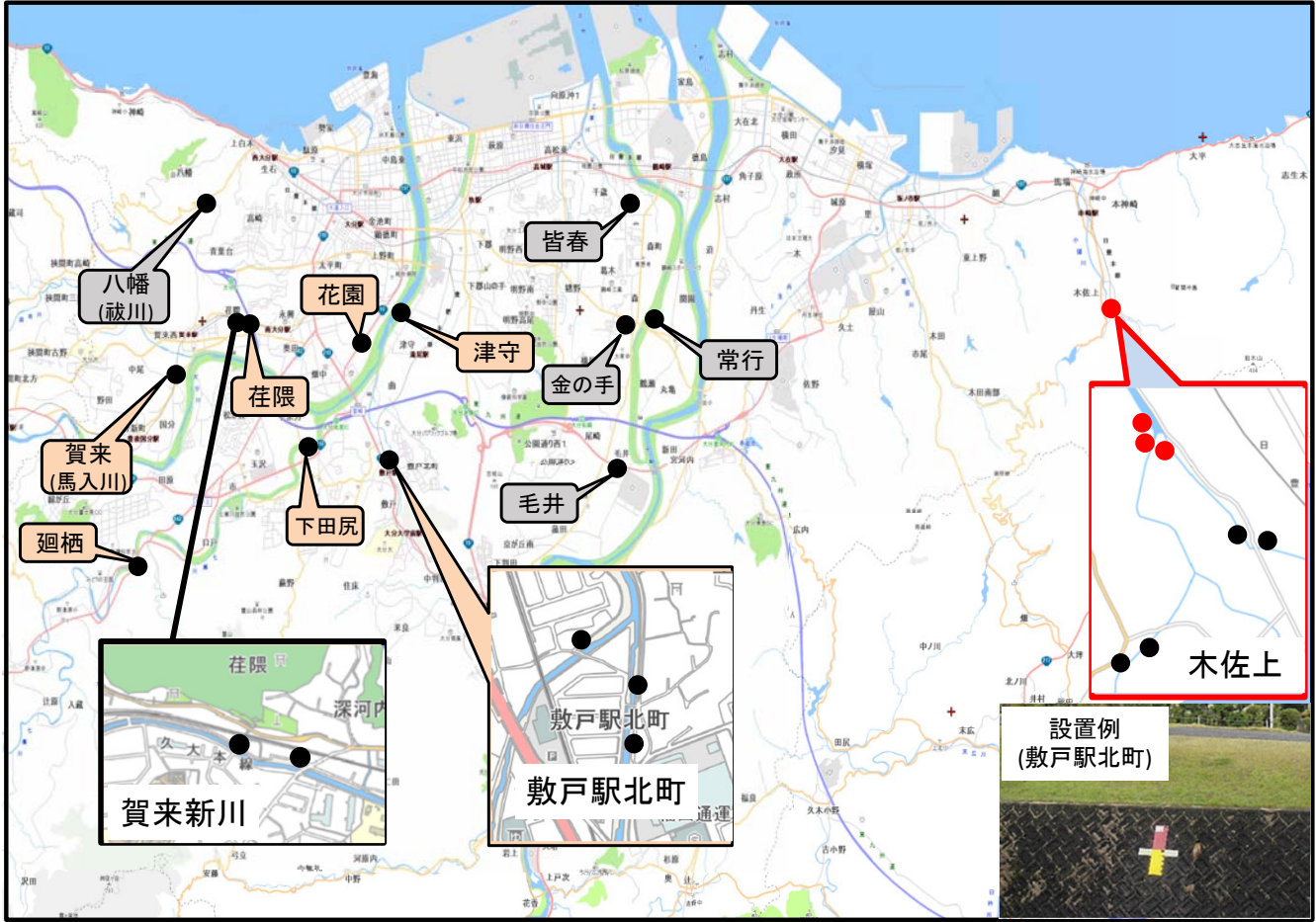
令和5年度
 ・水害監視カメラ追加設置
 3箇所(場所未定)



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供充実	大分市	水害監視カメラの設置		

【大分市】 大分川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

量水標等設置箇所 位置図



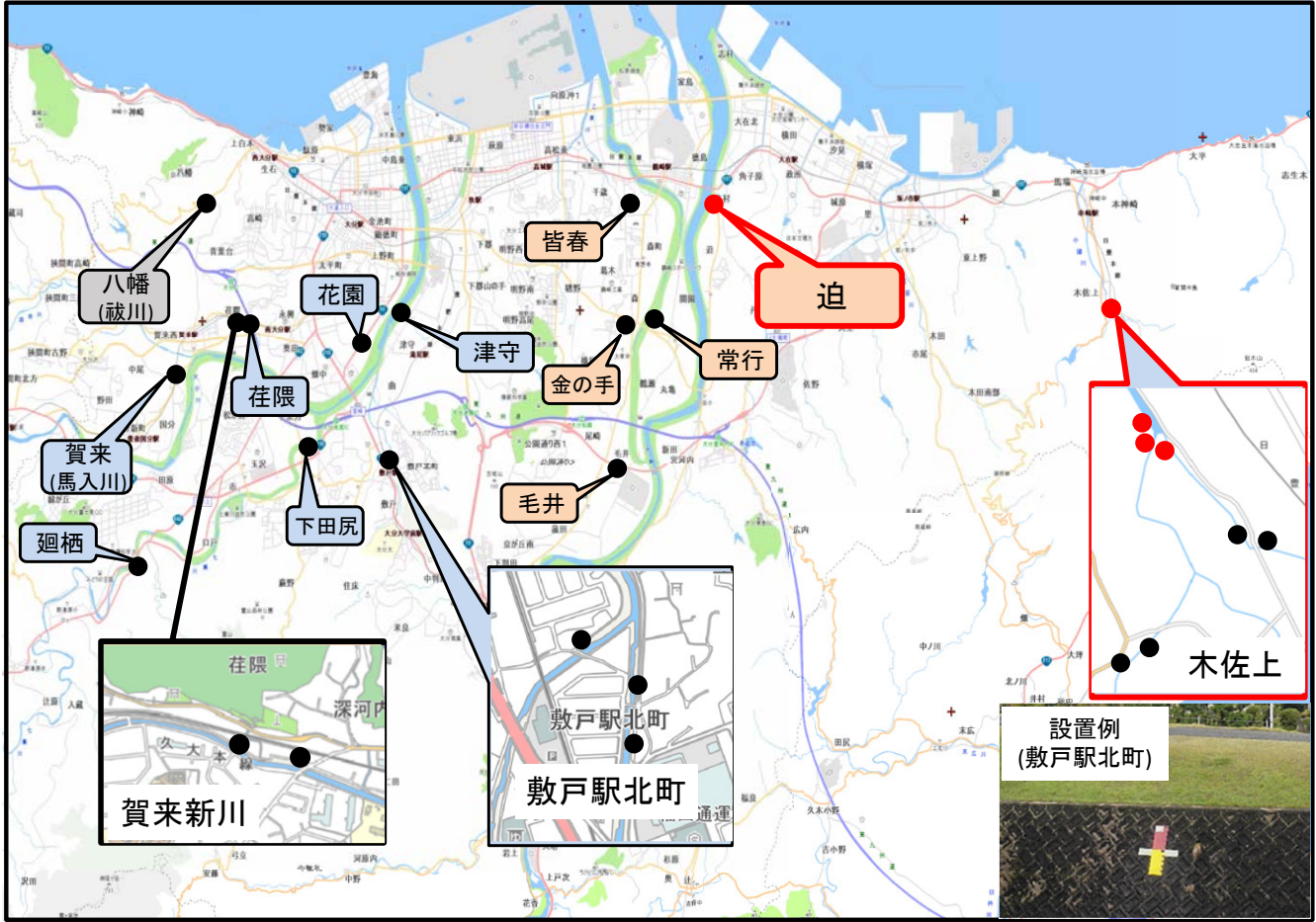
令和4年度(変更なし)
 ・水害監視カメラ用 6箇所
 ・地元要望 (2地区: 賀来新川、敷戸駅北町) 5箇所

令和5年度
 ・水害監視カメラ用 3箇所(場所未定)
 ・他 地元要望箇所

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分市	量水標等の設置		

【大分市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

量水標等設置箇所 位置図



令和4年度
 ・水害監視カメラ用
 5箇所(既設4、**新規1**)

令和5年度
 ・水害監視カメラ用
 3箇所(場所未定)
 ・他 地元要望箇所

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分市	量水標等の設置		

【由布市】 大分川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度の取組

令和4年度 由布市河川監視カメラ購入整備事業



【 県管理河川名 】

賀来川
花合野川
暮ヶ谷川

【 設置住所 】

由布市挾間町三船725番地2 市有地
由布市湯布院町湯平12番地6傍 市道
由布市湯布院町中川902番地傍 里道

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	河川監視	由布市	令和5年1月23日～令和5年2月28日		

【由布市】 大分川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度の取組

防災出前講座、防災教育、避難訓練等

内容：ハザードマップ、防災気象情報と警戒レベル、避難情報、防災情報の入手方法、避難所について、マイタイムラインについて等

【防災出前講座】

- 自治区 8回
- 自主防災会 5回（内：湯平地区3回）
- お茶の間サロン 6回
- 旅館組合 1回

【防災教育】

塚原小学校、由布支援学校、由布川小学校、石城小学校

【避難訓練】 湯平地区

【防災講演会】 挾間青少年健全育成市民会議

【県事業：土砂災害アクションプログラム】 宇南水足地区



令和5年度の取組

防災出前講座、防災教育、避難訓練等

の継続

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	地域防災力の向上	由布市	令和4年4月～令和5年4月		

【由布市】 大分川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和5年度 由布市中小河川洪水ハザードマップ作成業務

令和5年度 取組

中小河川の流域に要配慮者施設がある地域、人家や公共施設が集中している河川について、国・県において浸水想定区域図を作成し、市町村がその情報をハザードマップにして住民に周知することが義務づけられた。現在、国の調査結果を県において再度精査している状況。由布市において、対象河川は21河川である。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップの作成	由布市、大分県、国土交通省	令和5年9月頃(予定)～令和6年4月(予定)		

【豊後大野市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度の取組（継続）

洪水ハザードマップ、ため池ハザードマップの作成・公開



- 令和元年度に「洪水ハザードマップ」を作成し、全関係行政区に配布を行い、また、市ホームページに掲載し周知を図っている。
- 河川の越流、護岸の崩壊等により浸水した場合に想定される水深、避難方向、避難場所等を示している。



- 令和元年度より「ため池ハザードマップ」の作成を行っており、随時、市ホームページに掲載し周知を図っている。令和4年度に完成。
- 地震や大雨などによりため池が決壊した場合に想定される浸水の範囲や到達時間、避難の方向や避難場所等を示している。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	豊後大野市	小規模河川の氾濫推定図	ハザードマップの作成	

【豊後大野市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度の取組(継続)

防災情報伝達手段の多重化



■ 避難情報や避難所の開設等の情報を、防災行政無線、各戸設置の音声お知らせ端末、防災アプリ(スマートフォンやタブレット等)、市ホームページ、市ケーブルテレビのL字放送と同時連携で発信し、市民があらゆる媒体で瞬時に防災情報を得ることができる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	豊後大野市		防災情報多重化の検討	

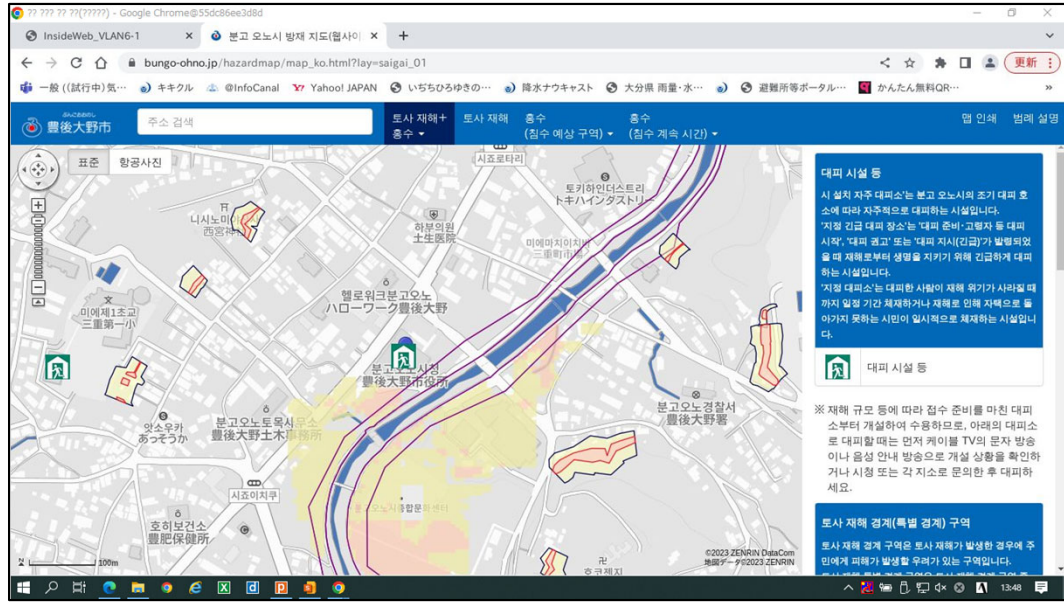
【豊後大野市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度の取組(継続)

防災ガイドブックの全戸配布、市ホームページに防災マップWEB版の公開



■洪水ハザードマップ及び土砂災害ハザードマップ、避難所情報や防災減災のための各種情報を記載した「防災ガイドブック」を全戸配布している(転入者へも随時配布)。



■防災マップWEB版を市ホームページで公開している。スマートフォンやタブレットでも閲覧できるようにし、多言語化(英語、中国語、韓国語)により外国人の活用も推進している。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水害リスク情報の充実	豊後大野市		防災情報多重化の検討	

【豊後大野市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度の実施（継続）

防災パトロールの実施

■コロナの関係で小規模にて開催していた防災パトロールを通常規模で開催し、浸水災害、土砂災害の危険箇所を確認し、対策や取り組みについての情報共有を行った。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	豊後大野市	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【豊後大野市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度の取組（継続）

水防意識を高める防災訓練・防災講習、防災リーダーの育成

■おおいた防災・減災対策推進事業費補助金を活用し、自主防災組織や防災士会の実施する防災訓練、研修、資機材の購入にかかる経費の一部を補助し、各種団体の活動を推進している。

■市内7町に組織した防災士会の情報交換、活動報告等のために、半期に一度代表者会議を開催し、防災意識の共有を図っている。

■防災に関する経験や知識が豊富な「防災アドバイザー」を市で単独雇用し、自主防災組織や防災士会、高齢者のサロン民生委員会、小中学校などで、防災講話や防災訓練のアドバイスを実施し、市民の防災意識の効用に努めている。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	豊後大野市	水防意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【豊後大野市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和5年度以降の取組（継続を含む）

■ 自主防災組織、防災士会活動の補助

○おおいた防災・減災対策推進事業費補助金を活用し、自主防災組織や防災士会の実施する防災訓練、研修、資機材の購入にかかる経費の一部を補助し、各種団体の活動を推進する。

■ 防災士養成研修、防災士スキルアップ研修の開催

○地域防災のリーダーとなる防災士の養成、市独自のスキルアップ研修（年3回）や防災講習会を行う。

■ 要配慮者利用施設避難訓練の実施の補助

○市内の全要配慮者利用施設の避難確保計画の作成が令和3年度に終了したので、その見直しや年1回の避難訓練について、指導、助言を行う。

■ 避難行動要支援者個別避難計画の作成

○自主防災組織や民生児童委員、事業所等と協力し、該当者に避難行動要支援者個別避難計画の必要性を理解してもらい、作成を勧め、逃げ遅れゼロに努める。

■ 市単独雇用防災アドバイザーによる研修等の開催

○防災アドバイザーに積極的に地域に出てもらい、マイタイムライン作成の研修や、ハザードマップを用いた防災訓練を行う。自主防災組織や防災士会だけでなく、高齢者サロンや民生委員会、各種団体に出向き、市民の防災意識の高揚を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	豊後大野市	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【臼杵市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度の取組

■自主防災組織に対するタイムライン作成支援



自主防災組織の地区タイムラインを作成支援。(目明区)



地域ごとの事情を考慮し、実効性のあるタイムラインを作成。

令和5年度の取組

■自主防災組織による水防訓練の実施

○出水期に備え、マイ・タイムラインや地区タイムラインの策定推進

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	大分市、竹田市、由布市、大分県、国土交通省		自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援	

【臼杵市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度の取組

■防災教育の推進

市内小学校等に対し、「川の防災」について授業を行う。



地元防災士会と連携し、地域の水害について放課後児童クラブで講話。

川が増水したらどうなるか、洪水発生のメカニズム等を動画で勉強。

■避難訓練の実施・支援

自主防災組織等が実施する水防訓練を支援。



土のう作成訓練(目明地区)

作成した土のうを常襲箇所へ配備

令和5年度の取組

■ジュニア防災リーダーの育成

○教育委員会と協働してジュニア防災リーダー養成講座を実施

■小中学生に対する防災教育

○防災教育の一環として、ハザードマップを活用した水防教育の実施

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	大分市、竹田市、由布市、大分県、国土交通省		自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援	

【竹田市】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和4年度の取組

防災士養成研修の実施

- ・地域の防災活動の核となる防災リーダー「防災士」の養成を行う。

実施日：令和4年10月29日（土）・30日（日）

令和4年度防災士養成者数：7名（これまでに288名を養成）

令和5年度の取組

防災士養成研修の実施

実施予定日：令和5年10月頃（2日間）

募集予定人数：20名

避難所運営訓練の実施（予定）

指定避難所において、防災士及び自主防災組織（自治会）を中心に避難所運営訓練を実施予定（時期未定）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	竹田市	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

【竹田市】 大分川・大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和5年度の取組

中小河川ハザードマップの作成(予定)

市内40河川の中小河川ハザードマップの作成・配布
 (※国より、浸水想定区域が示され次第、着手予定)

防災情報伝達体制整備事業 (R5～R7年度)

既存のIP告知放送システムが更新時期を迎えており、光ケーブルを活用したシステムの構築(更新)を予定(IP告知端末 約8,000台)

この更新にあわせて、スマートフォン向けアプリも同時に導入予定で、個人に確実に情報が伝達できる仕組みの構築を図る
 (当初目標:4,000アカウント)

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	竹田市	水防災意識を高める防災教育・防災訓練等の実施		

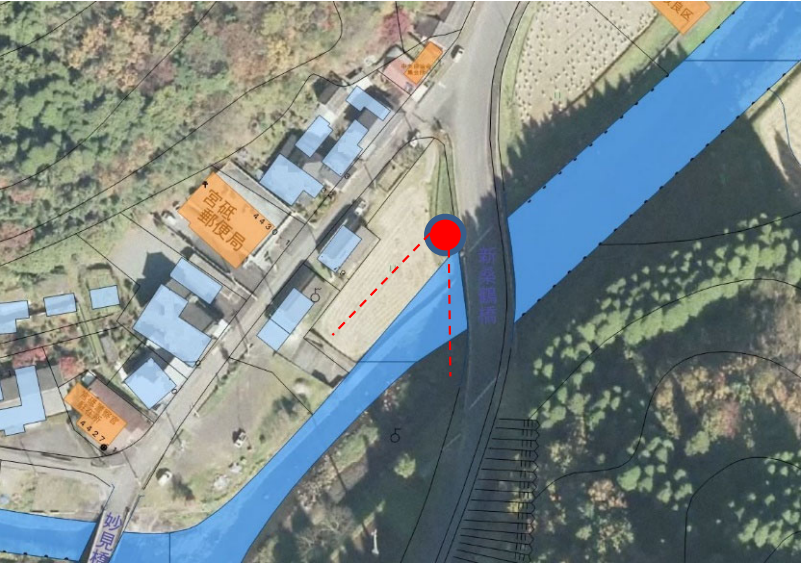
【竹田市】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

令和5年度の取組

河川監視カメラの増設

既存の7箇所の河川監視カメラに加え、2か所の増設予定。
 たけたケーブルテレビ（サブチャンネル）及び竹田市ホームページで公開予定

竹田市大字次倉（緒方川上流）



竹田市大字神原（神原川・波木合川合流地点）



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	竹田市	監視カメラの増設		

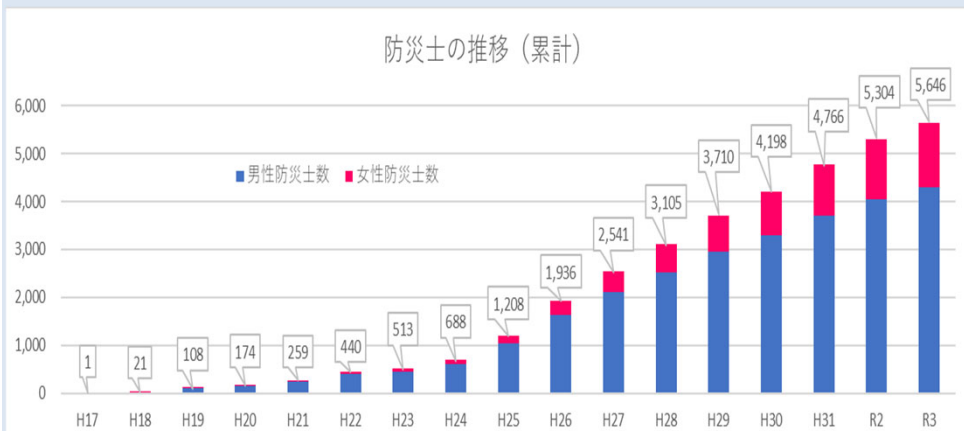
【宮崎県】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

- 防災士養成研修：災害時において最も重要な「自助・共助」を推進するため、地域防災の核となる防災士を養成している。
- 防災士出前講座：自主防災組織や自治会、学校や企業に防災士を講師として派遣する出前講座を実施し、地域の防災力を向上させている。

宮崎県防災士養成研修

・令和4年5月末現在の防災士数
 〈宮崎県〉 6,147名（人口10万人当たり579名）
 〈全国〉 231,842名（人口10万人当たり184名）

・防災士数の順位
 全国・・・14位 九州・・・3位（福岡、大分に次ぐ）
 ※人口10万人比では、**全国6位**



宮崎県防災士出前講座

・養成してきた防災士を活用し、自治会や自主防災組織等で実施する研修等に防災士を講師として派遣する。

令和4年度 宮崎県防災士出前講座

宮崎県内の各自治会・学校等に防災士を派遣し、災害時の対応を中心に防災・復興についての講座を開催いたします。

全県4市 全県5町
4月～3月
 ※毎週・毎週必ず

9時～17時
 ※要予約（希望者多数の場合は抽選）

無料
 ※講師・会場についての詳細は、各自治会・学校等に問い合わせてください。
 ※参加費は無料です。
 ※参加費は無料です。

申込先：お問い合せ 0985-65-0000～1000
 NPO法人 宮崎県防災士ネットワーク
 〒880-0001 宮崎県宮崎市東本町1-1-1
 TEL: 0985-65-0447 FAX: 0985-65-0447
 MAIL: info@miyazaki-net.or.jp



- 出前講座の主な内容
- 地震・津波についての基礎講座
 - 気象・火山についての基礎講座
 - 家具固定に関する講座・実習
 - 地域の地図を用いたワークショップ
 - 避難所運営ゲーム等を用いた防災学習

（出前講座ポスター）

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	宮崎県	防災の日・防災週間における防災啓発		

【宮崎県】 大野川水系流域治水プロジェクト（被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

○防災の日や防災週間において、防災啓発を実施、継続していく。

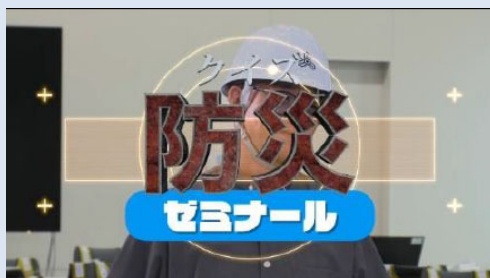
- ▶ 防災の日（5月第4日曜日）：普及・啓発事業
- ▶ 防災週間（8月30日～9月5日）：普及・啓発事業

令和4年度宮崎県防災の日(令和4年度は5/22)における啓発事業

- ・自助・共助への意識向上のため、テレビ、ラジオCM、ポスター、チラシ等により風水害への備えの啓発について実施した。
- ・小中学生向けオンラインセミナーを開催した。
- ・啓発動画(クイズ防災ゼミナール)を作成し、YouTubeに掲載した。



(防災の日オンラインセミナー)



(クイズ防災ゼミナール)

令和4年度防災週間における啓発事業

- ・台風シーズン前に「非常持出品の確認」「避難の際の声かけ」「避難情報の理解」についてテレビ・ラジオCM、啓発ショートムービー等で啓発を行った。

ショートムービー(安天奈家の防災)
【風水害時の非常持出品と避難】

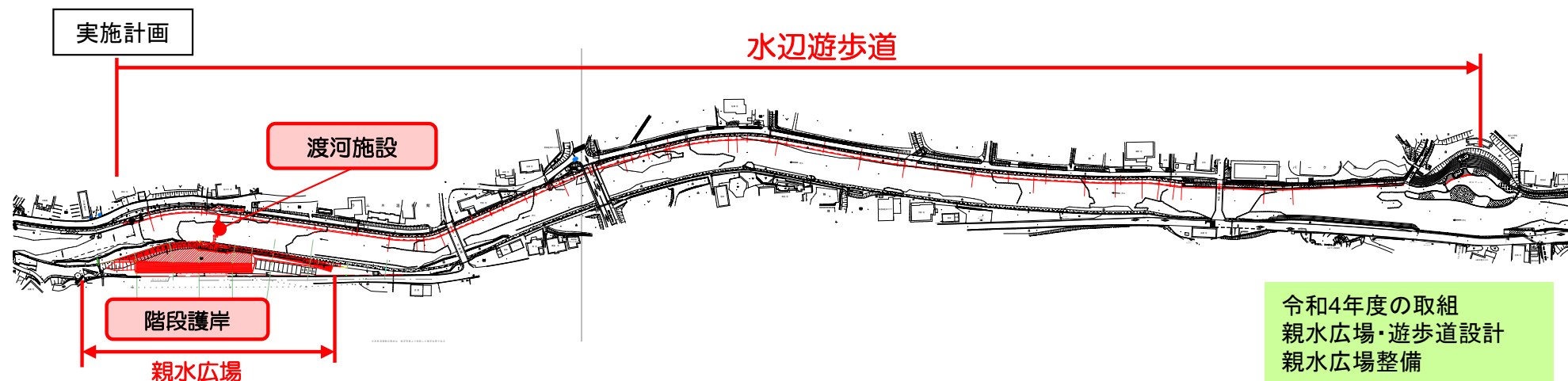


区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難体制等の強化	宮崎県		防災の日・防災週間における防災啓発	

グリーンインフラの取組

【竹田土木】 大分川水系流域治水プロジェクト（グリーンインフラの取組）

芹川において、遊歩道（管理用通路）や親水広場等を整備することで、水辺と温泉街が一体となるような賑わい空間の創出をはかる。



令和4年度の取組
親水広場・遊歩道設計
親水広場整備

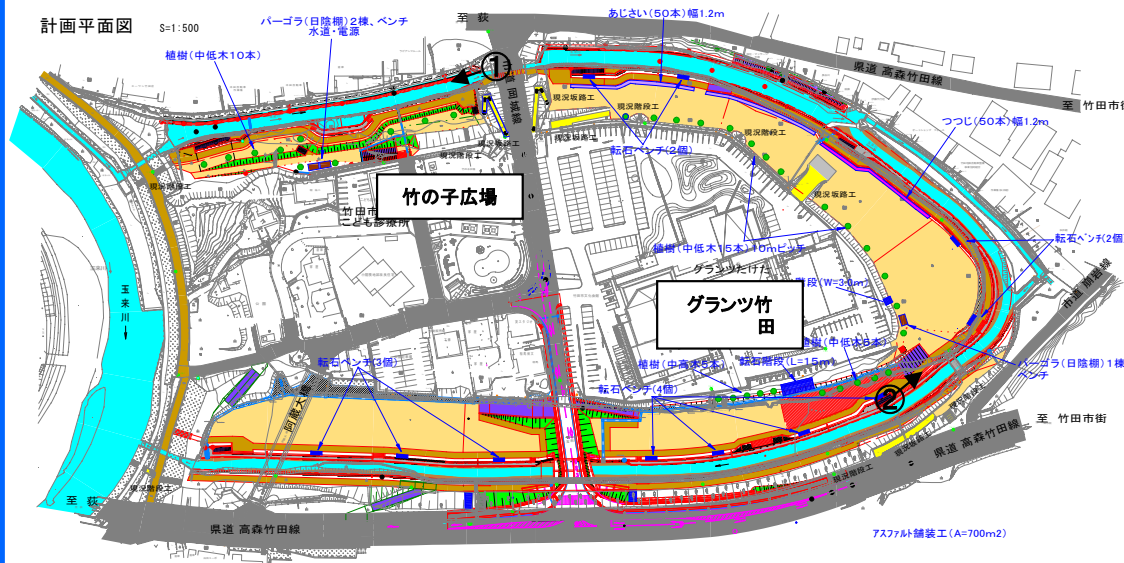


令和5年度の取組
親水広場・遊歩道整備

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
グリーンインフラの取組	芹川かわまちづくり	大分県	親水広場の整備		

【竹田土木】 大野川水系流域治水プロジェクト（グリーンインフラの取組）

玉来川において、公園・文化会館などの施設と旧河川敷を一体的に整備することで市民の憩いの場を提供し、地域の賑わいの場の創出を図る。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
グリーンインフラの取組	玉来川かわまちづくり	大分県	親水護岸の整備		

大分川・大野川水系(2級水系版) 流域治水プロジェクト

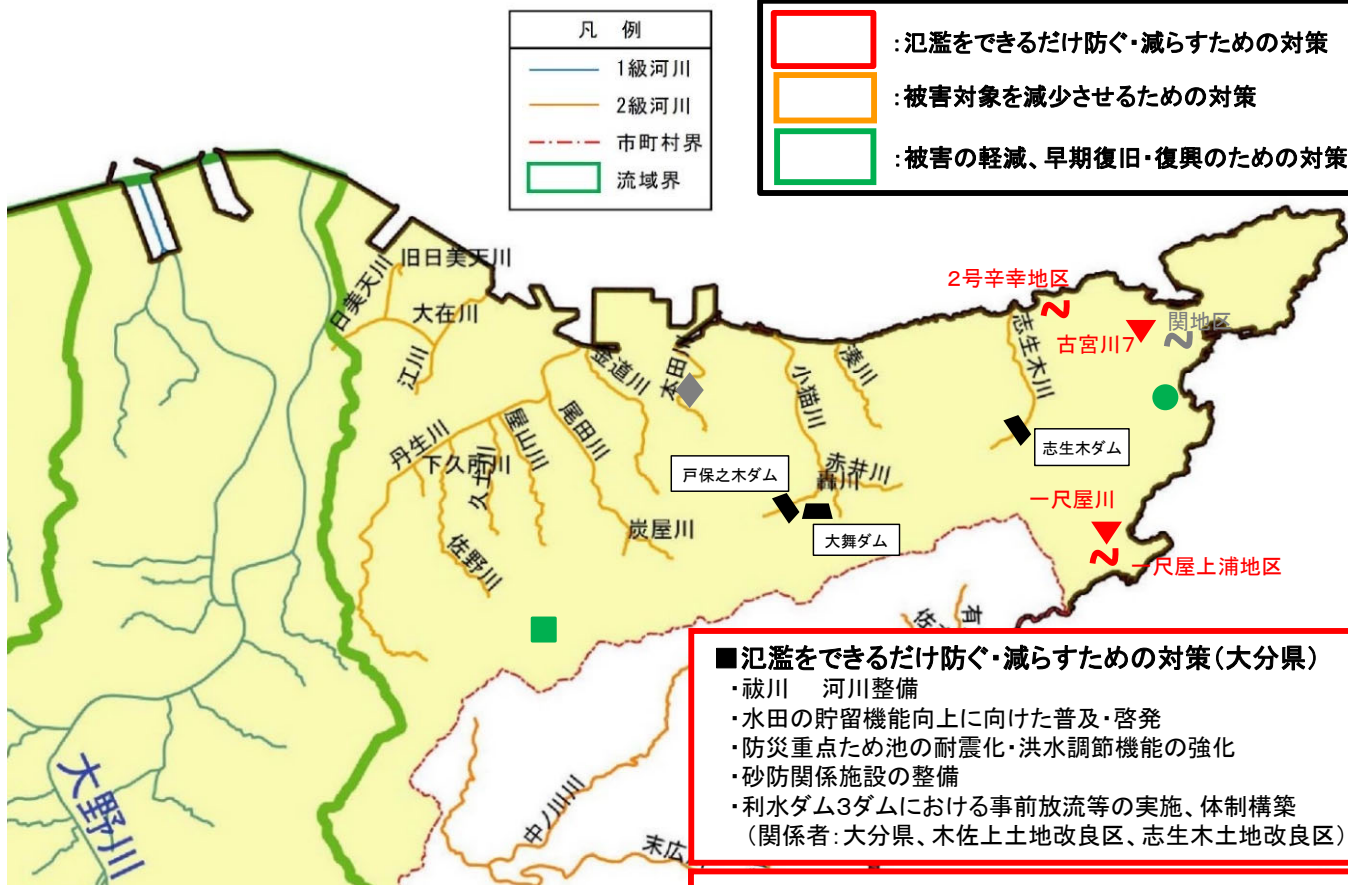
令和5年5月26日

大分川・大野川水系流域治水協議会

大分川・大野川水系（2級水系版）流域治水プロジェクト【位置図】

～近年の気候変動による水害から県都大分市を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生するなど全国的に近年激甚な水害が頻発している。大分市内の2級水系においても、市街地に人口・資産が集中し、ひとたび災害が発生すると甚大な被害が想定される特性を踏まえ、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取組を実施していくことで、流域における浸水被害軽減を図る。



凡 例	
— (blue line)	1級河川
— (orange line)	2級河川
- - - (red line)	市町村界
□ (green outline)	流域界

□ (red outline)	: 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
□ (orange outline)	: 被害対象を減少させるための対策
□ (green outline)	: 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（大分県・大分市）**
- ・量水標・水位計・監視カメラの設置
 - ・防災情報伝達の多重化の検討
 - ・小規模河川の氾濫推定図、ハザードマップの作成
 - ・マイ・タイムラインの作成支援
 - ・自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援
 - ・水防災意識を高める防災教育、防災訓練 等

- 被害対象を減少させるための対策（大分市）**
- ・災害危険区域の検討
 - ・浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保
 - ・立地適正化計画の見直し(防災指針の作成等)
 - ・災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討

<凡例>

◆ (blue diamond)	河川整備・河道掘削
▼ (red triangle)	砂防堰堤等の整備
~ (red wavy line)	急傾斜地崩壊対策施設の整備
■ (green square)	森林整備（除間伐等）
● (green circle)	治山対策（溪間工・山腹工）
▲ (black triangle)	利水ダム

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（大分県）**
- ・祓川 河川整備
 - ・水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発
 - ・防災重点ため池の耐震化・洪水調節機能の強化
 - ・砂防関係施設の整備
 - ・利水ダム3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：大分県、木佐上土地改良区、志生木土地改良区）

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（大分市）**
- ・校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討
 - ・住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助継続
 - ・ため池事前放流の可能性検討
 - ・下水道事業における雨水流出抑制施設の検討

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（森林整備センター・大分県）**
- ・森林整備・治山対策

大分川・大野川水系（2級水系版） 各機関のR4取組状況・R5取組内容

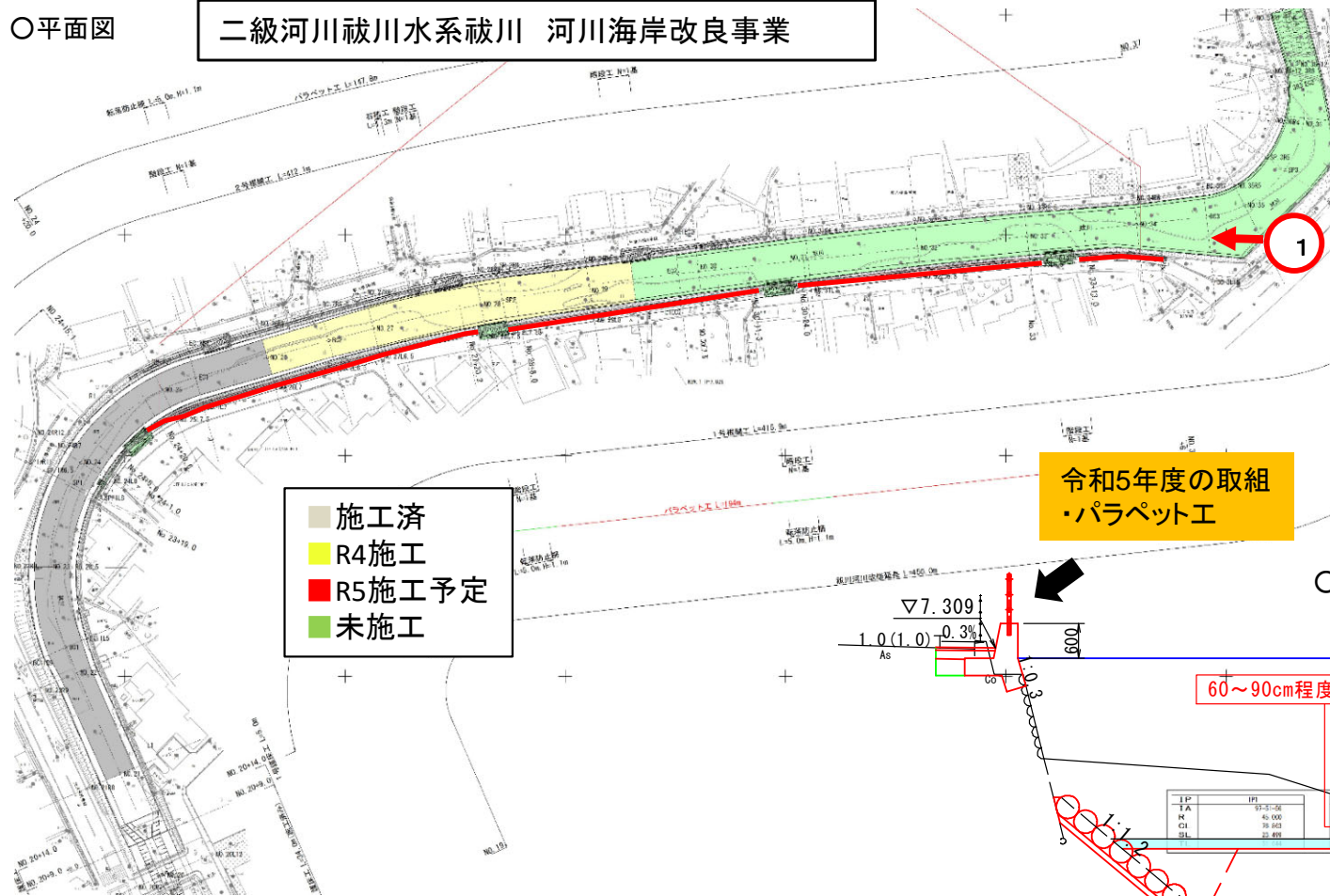
※1級水系と共通する取組およびロードマップは1級水系の資料参照

【大分土木】 大分川・大野川水系(2級水系版)流域治水プロジェクト
(氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策)

祓川において、堤防整備及び河道掘削による流下能力向上を図り、浸水被害の軽減を図る。

○平面図

二級河川祓川水系祓川 河川海岸改良事業

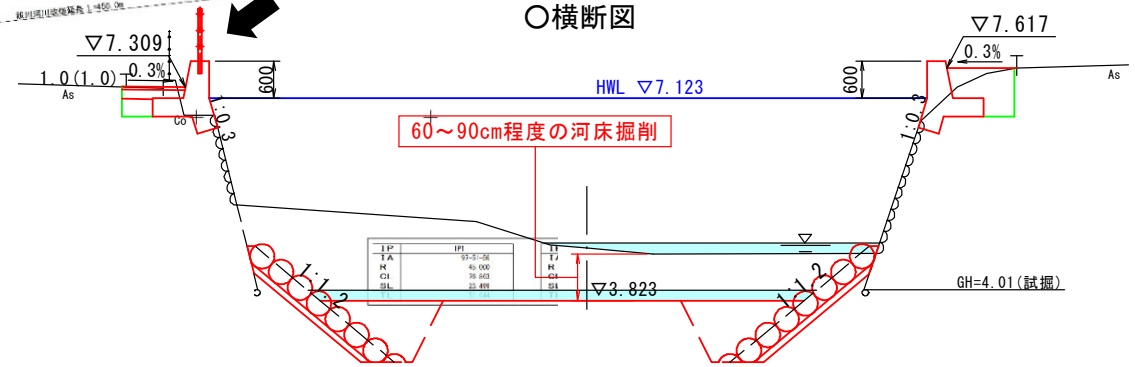


- 施工済
- R4施工
- R5施工予定
- 未施工

令和4年度の実組・築堤



○横断面図



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備・護岸整備	大分県	河道掘削、堤防整備等		

【大分県砂防課】大分川・大野川水系（2級水系版）流域治水プロジェクト （氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

■砂防関係施設の整備

流域内における土砂流出や流木を抑制する砂防施設の整備、避難の実効性・安全性を高めるための避難所・避難路を土砂災害から保全する砂防設備を整備する。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	大分県		砂防関係施設の整備	

【森林整備センター】 大分川・大野川水系（2級水系版）流域治水プロジェクト （氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

令和5年度の取組

- ・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
 - ・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- 大分川水系（2級水系）の流域における水源林造成事業地は、1箇所（森林面積約11ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

大分川水系（2級）流域における水源林造成事業地



水源林の整備



針交混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前



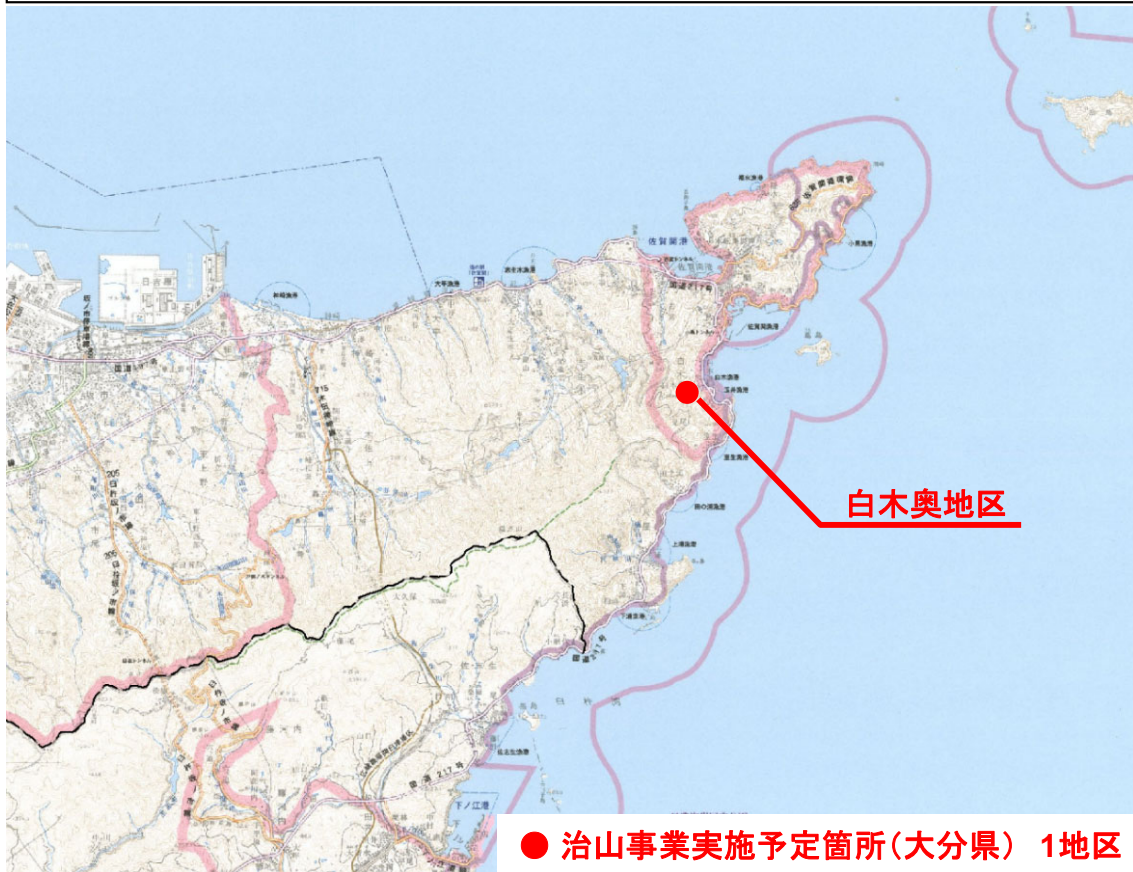
間伐実施後

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	森林整備センター		森林整備	

【大分県森林保全課、森林整備室】 大分川・大野川水系（2級水系版）流域治水プロジェクト
 （氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

■ 森林整備、治山対策【氾濫河川上流域における森林整備、治山対策の実施】

森林は水源涵養機能や山地災害防止機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け森林整備、治山対策を推進。



森林整備による浸透能の向上効果



治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果



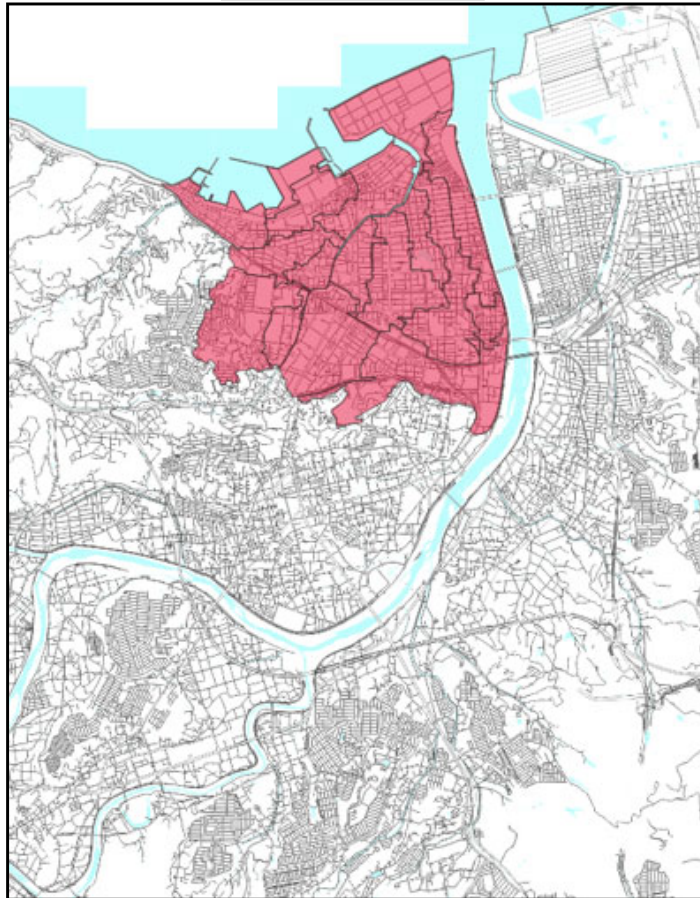
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	大分県、大分森林管理署、森林整備センター	森林整備・治山対策		

【大分市】 大分川・大野川水系（2級水系版）流域治水プロジェクト
 （氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策）

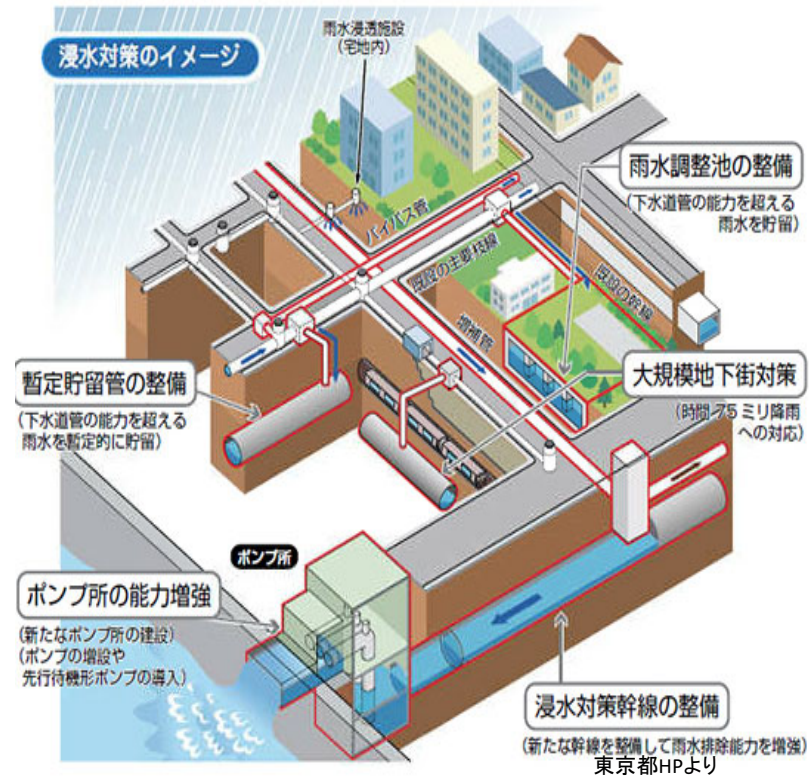
流出解析(浸水想定、流出抑制等の検討)

令和5年度の実施

対象エリア



浸水シミュレーションによる流出解析を行い、
 浸水発生を抑制する最も効率的・効果的な
 手法を検討する。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	下水道対策事業	大分市		下水道事業における雨水流出抑制施設の検討	

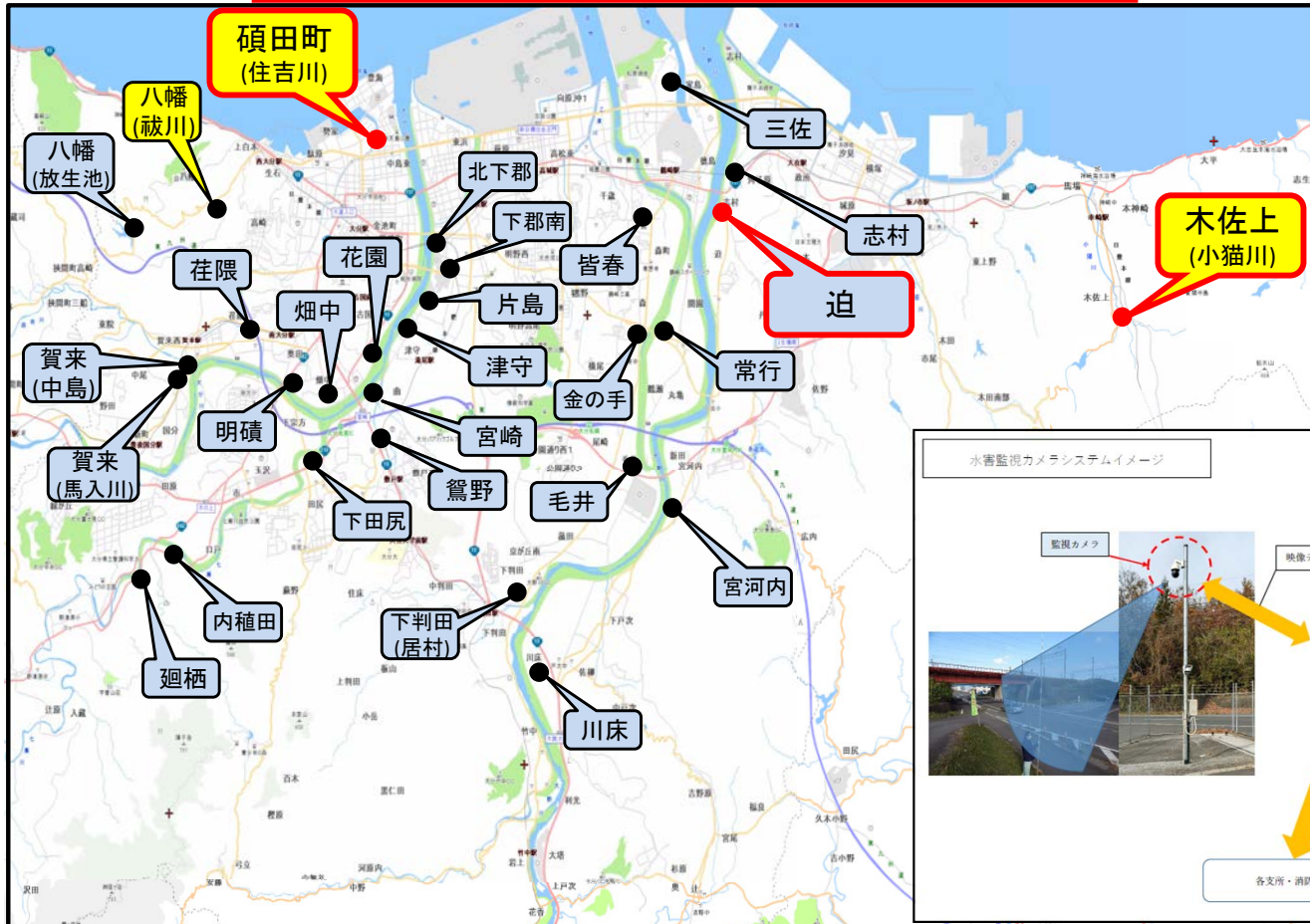
【大分市】 大分川・大野川水系（2級水系版）流域治水プロジェクト （被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

■避難行動を支援する防災情報の提供

○危機管理型水位計の設置や水位標、河川カメラ等の検討、整備

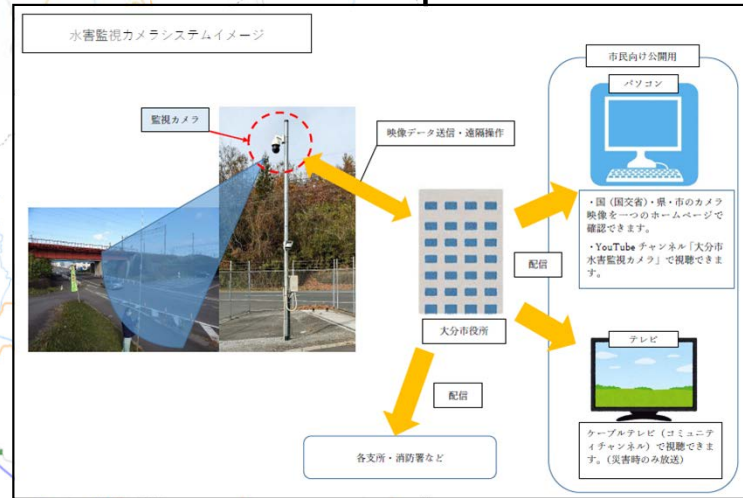
水害監視カメラの設置及び配信

水害監視カメラ設置箇所 位置図



令和4年度
・水害監視カメラ設置
2箇所(既設1、**新規2**)

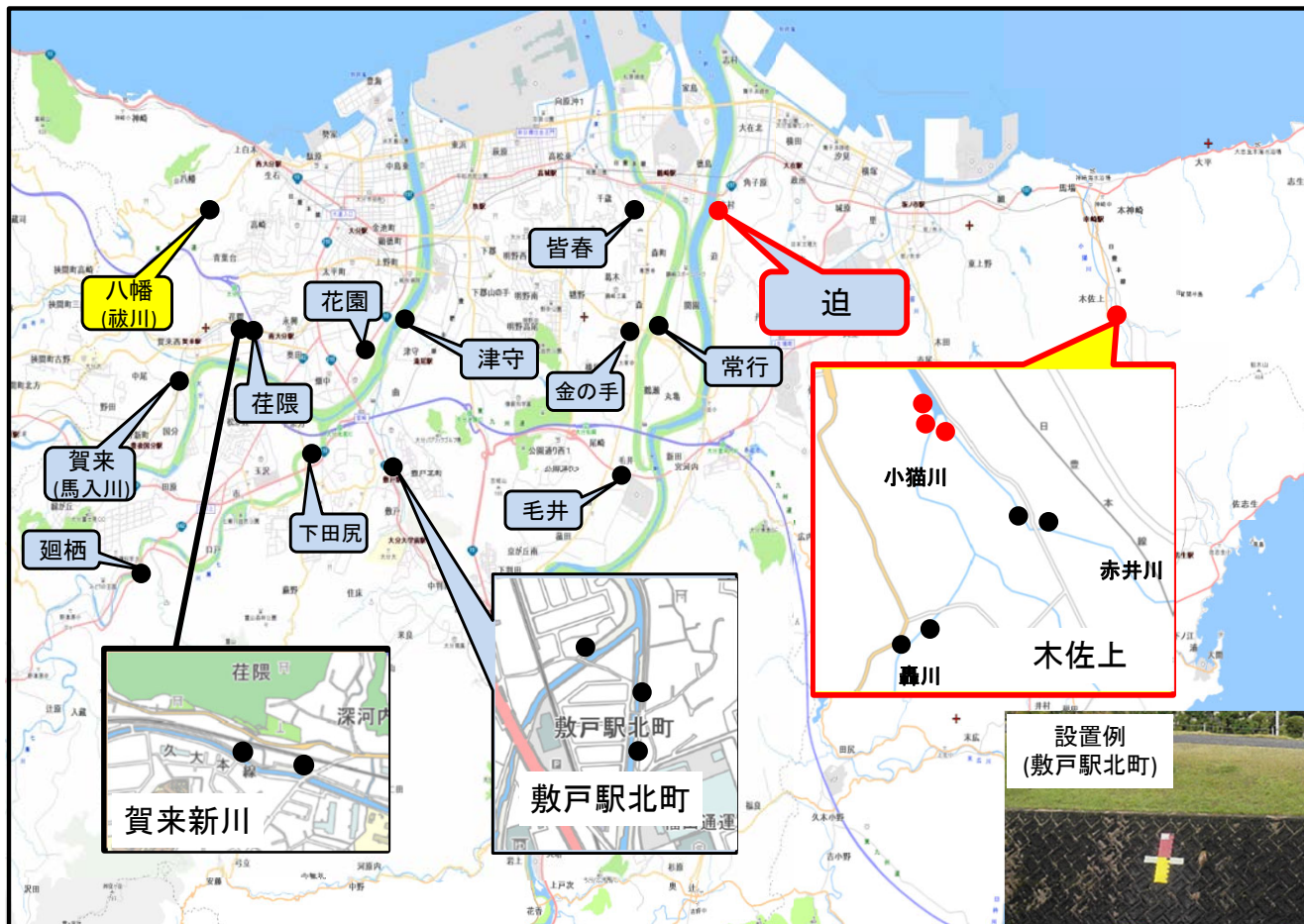
令和5年度
・水害監視カメラ追加設置
3箇所(場所未定)



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供充実	大分市	水害監視カメラの設置		

【大分市】 大分川・大野川水系（2級水系版）流域治水プロジェクト
 （被害の軽減、早期復旧・復興のための対策）

量水標等設置箇所 位置図



- 令和4年度**
- ・水害監視カメラ用
4箇所（既設1、**新規3**）
既設（祓川1）
新規（**小猫川2、赤井川1**）
 - ・地元要望箇所（木佐上）
4箇所（既設4）
既設（轟川2、赤井川2）

- 令和5年度**
- ・水害監視カメラ用
2箇所（場所未定）
 - ・他 地元要望箇所

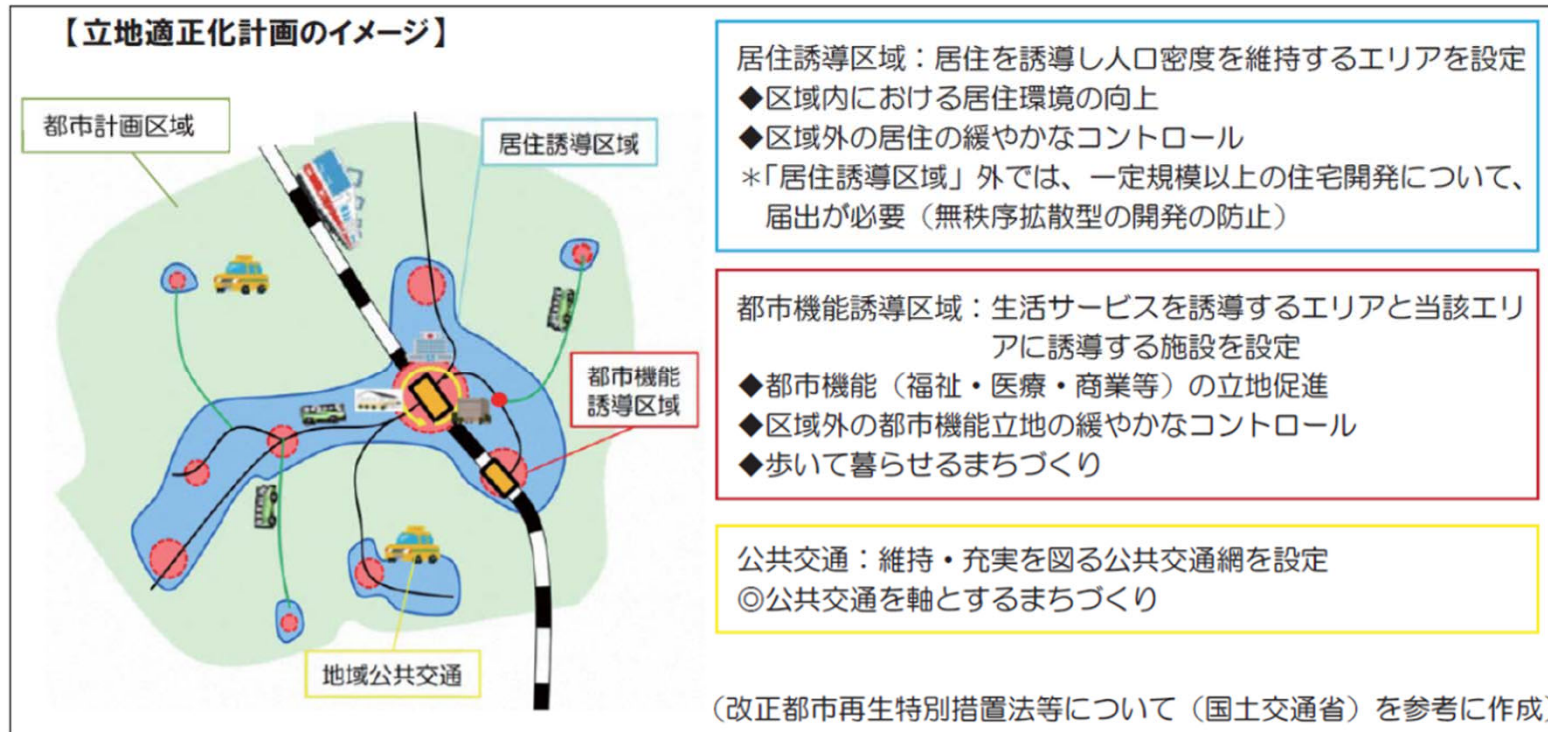
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報の提供・充実	大分市	量水標等の設置		

【大分市】 大分川・大野川水系（2級水系版）流域治水プロジェクト （被害対象を減少させるための対策）

- 立地適正化計画の作成・見直し（R5年度末の改訂を予定）
- 災害リスクの分析による防災指針の検討

○H31年に都市再生特別措置法第81条に基づき策定した「大分市立地適正化計画」の見直し。
居住誘導区域（本市では、居住推奨区域）内では、「防災指針」に基づく防災対策・安全確保策の追加を予定。

○洪水、津波、高潮、浸水実績、土砂災害、大規模盛土、地震のリスク分析による防災指針の検討。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まい方の工夫	大分市	立地適正化計画の作成・見直し（防災指針の作成等）		

※2級水系の浸水想定区域、多段階浸水想定区域が公表された場合は、次回の立地適正計画の改訂時にリスク分析を行ったうえで、防災指針の検討を行う。

大分川・大野川圏域における 大規模氾濫に関する減災のための取組

令和5年5月26日

大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会

大分川・大野川圏域における 大規模氾濫に関する減災のための取組 (下流部)

【 令和4年度の取組状況 】

【 令和5年度の取組内容(案) 】

水防災意識社会 再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「**水防災意識社会 再構築ビジョン**」として、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

<ソフト対策> ・ 住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「**住民目線のソフト対策**」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

<ハード対策> ・ 「**洪水氾濫を未然に防ぐ対策**」に加え、**氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」**を導入し、平成32年度を目途に実施。

主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

<危機管理型ハード対策>

- 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう**堤防構造を工夫する対策の推進**

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>



<洪水氾濫を未然に防ぐ対策>

- 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

<住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
 - ・ 立ち退き避難が必要な家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表
 - ・ 住民のとりべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 - ・ 不動産関連事業者への説明会の開催
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
 - ・ タイムラインの策定
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
 - ・ 水位計やライブカメラの設置
 - ・ スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供

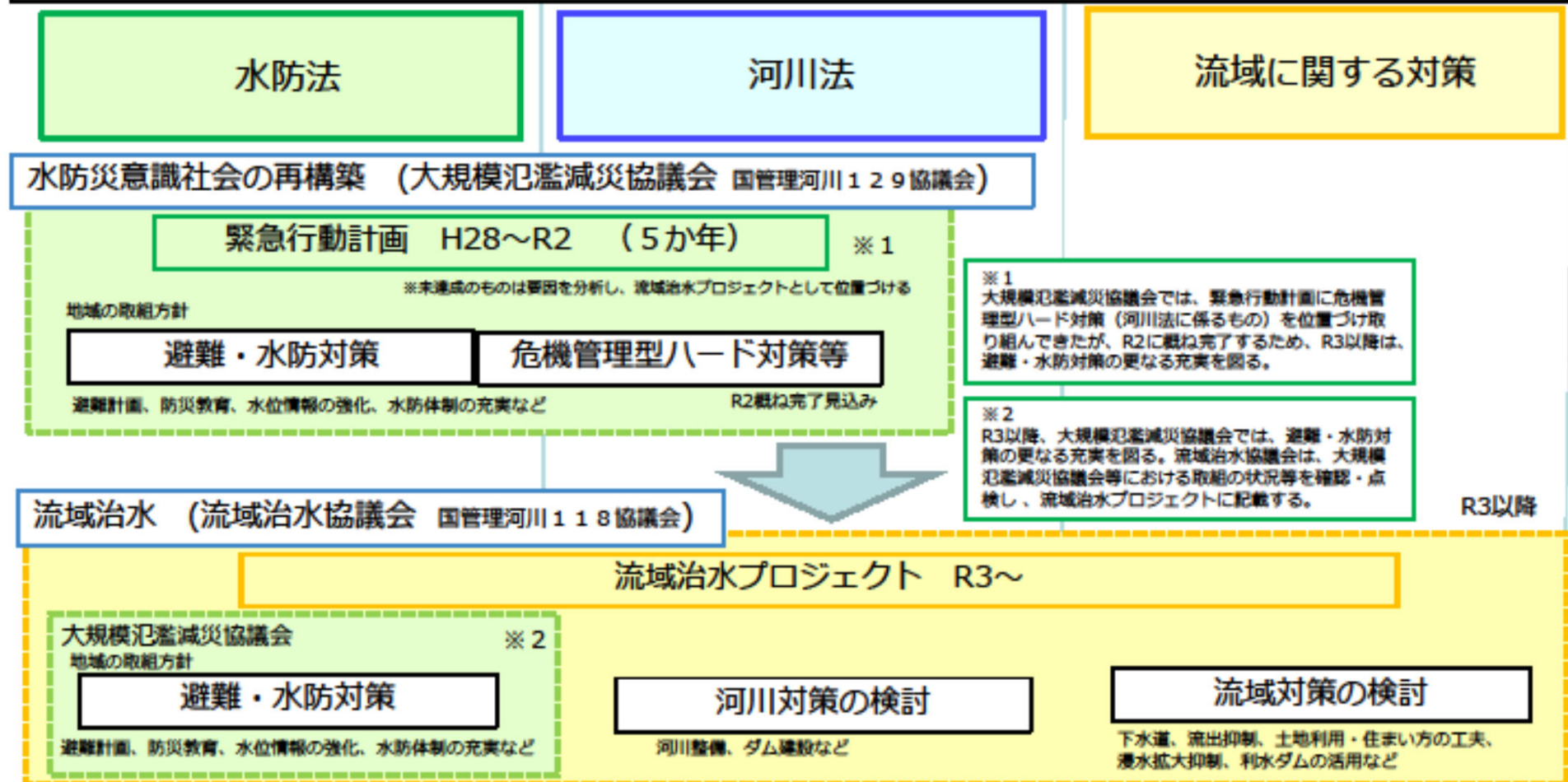


家屋倒壊等氾濫想定区域※

※ 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域

「緊急行動計画」の今後の展開について

- 水防災意識社会の実現に向け、令和2年度を目標として、円滑かつ迅速な避難・被害軽減のための取り組み等について「緊急行動計画」として取りまとめ着実に推進してきた。このうち、危機管理型ハード対策については、令和2年度までにおおむね完了の見込みとなったところ。
- 緊急行動計画に含まれていた避難や水防対策については、引き続き、大規模氾濫減災協議会において「地域の取組方針」を作成するとともに、これを各河川で進められている「流域治水プロジェクト」に位置付けることで、あらゆる関係者との密接な連携体制のもと、防災・減災の取組を継続的に推進していく。



■5年間で達成すべき目標

産業・経済・人口の集積エリアを大規模水害から守るため、
「地域における総合的な防災力の向上」を目指す。

※大規模水害とは、「想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害」

※防災力の向上とは、「水害に強い街づくりと防災意識の高い自主防災組織の構築」

■上記目標達成に向けた3本柱の取組

大分川・大野川下流部では、近年大きな浸水被害が発生していないことから、住民の防災意識の低下が懸念される。関東・東北豪雨や九州北部豪雨を超える水害が市街地等集積エリアを襲うことを想定し、「地域における総合的な防災力の向上」を目指して、以下の取組を実施する。

1. 浸水被害を想定した、地域単位での防災教育・避難訓練・水防活動の取組
2. 自治体の早期判断を助け、住民や企業等が避難行動や防災活動を自ら行えるような、きめ細やかな情報の提供
3. 洪水に対する社会経済活動の安定性を高め、一刻も早い回復を可能とする機能の整備と排水対策の取組

目標達成のために今後概ね5年間(R3~R7)で実施する取組

(1) 地域単位での防災教育・避難訓練・水防活動

■ 水防災意識を高める防災教育、避難訓練

- ① 河川協力団体等と連携した広報活動
- ② 学校教育における水防災教育の促進
- ③ 学校における保護者、教員、子供が一体となった出前講座
- ④ 地域単位の防災訓練等への講師の派遣
- ⑤ 地域単位の避難訓練等でのハザードマップの活用
- ⑥ 各地域における避難所等の表示の推進
- ⑦ 研究機関と連携した防災・減災対策の強化

■ 円滑な水防活動の支援

- ① 自治会単位での堤防共同点検
- ② 各機関の連携強化のための既存水防災会議の再編
- ③ 関係者の堤防点検結果の情報共有
- ④ 関係機関が連携した水防技術向上のための訓練
- ⑤ 情報共有のための樋門操作報告の訓練や省力化の検討
- ⑥ 緊急時の樋門の運用方法や必要な整備の検討、整備
- ⑦ 水防備蓄資材の配置、輸送計画の検討

相互に連携
(相乗効果)

(2) 自治体、住民、企業等へのきめ細やかな情報の提供

■ 避難行動を支援する防災情報の提供

- ① 想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域の公表
- ② 上記を踏まえたハザードマップの改良
- ③ 大分市「わが家の防災マニュアル」を全戸配布
- ④ 企業等との浸水リスク等の共有
- ⑤ 危機管理型水位計や量水標、河川カメラ等の検討、整備
- ⑥ 光ファイバ接続等による情報共有の仕組みの検討、整備
- ⑦ 防災情報伝達の多重化の検討
- ⑧ 洪水予報河川への洪水情報をプッシュ型配信
- ⑨ 河川情報モニター等による避難情報等の検証、改善
- ⑩ 区間毎の避難勧告の発令基準やタイムラインの検証、改善
- ⑪ 県管理河川に係るタイムラインの策定
- ⑫ 自治体の避難勧告発令のための洪水対応訓練の強化
- ⑬ 大規模氾濫を想定した内水地区における住民避難及び情報伝達方法の検証と改善

(3) 洪水に対する社会経済活動の安定性を高め、一刻も早い回復を可能とする機能の整備と排水対策

■ 洪水を河川内で安全に流す対策

- ① 流下能力対策、② 浸透、パイピング対策、③ 侵食・洗堀対策
- ④ 大分川ダム建設

■ 危機管理型ハード対策

- ① 堤防天端の保護、裏法尻の補強等

■ 防災拠点機能の維持

- ① 防災拠点庁舎等の浸水対策の検討、整備

■ 洪水氾濫から一刻も早い回復を可能とする排水対策

- ① 緊急排水計画の検討、作成
釜場等の排水施設の検討、整備(内水浸水対策含む)

■ 発展する市街地における総合減災対策

- ① 堤防決壊による水害リスク低減のための街づくりと一体となった堤防強化等の検討、整備
- ② 堤防強化と一体となった、水防活動や一時避難も可能な防災拠点の検討、整備
- ③ 防災拠点等を連結する堤防天端の緊急輸送路、避難路等の活用検討、整備

「大分川、大野川圏域における大規模氾濫に関する減災のための取組方針」

「5カ年の取組状況」(R3～R7)

概ね5年間で達成すべき目標 『 産業・経済・人口の集積エリアを大規模水害から守るため、「地域における総合的な防災力の向上」を目指す。 』										
3 本 柱	区分	連 番	概ね5年間で実施する取組内容	取組機関	R3	R4	R5	R6	R7	主な取組内容
1. 浸水被害を想定した、地域単位での防災教育・避難訓練・水防活動の取組										
1) 水防災意識を高める防災教育、避難訓練										
	①	1	河川協力団体等と、連携した広報活動（出前講座等に参加していない住民や参加が少ない若年層等に対する河川協力団体等と連携した「住民目線」の広報活動による啓発強化。）	協議会全体	○	○				水防災学習の広報活動
	②	2	学校教育における水防災教育の促進（学校の防災教育について指導計画の作成支援等、水防災教育の促進。）	協議会全体	○	○				防災教育
	③	3	学校における保護者、教員、子供が一体となった出前講座（子供の避難を先導する保護者、教員と子供が一体となった出前講座等の実施。）	協議会全体						
	④	4	地域単位の防災訓練等への講師の派遣（気象情報も含めた地域単位の防災訓練や避難訓練等での習熟度向上のための講師の派遣。）	協議会全体	○	○				土砂災害アクションプログラム 大分県防災アドバイザー派遣 等
	⑤	5	地域単位の避難訓練等での「ハザードマップ」の活用（浸水範囲や避難場所を認識するための地域単位の出前講座や避難訓練等でのハザードマップの活用。）	大分市、由布市	○	○				防災講習・防災出前講座 等
	⑥	6	各地域における避難所等の表示の推進（円滑な避難行動を支援するための各地域における避難所等の表示の推進。）	大分市、由布市		○				小中学校の避難所表示
	⑦	7	研究機関と連携した防災・減災対策の強化 ※令和元年5月31日の減災対策協議会で追加になった取組	協議会全体						
2) 円滑な水防活動の支援										
	①	8	避難行動の主体となる住民も含めた自治会単位での堤防共同点検等の実施。	協議会全体	○	○				防災パトロール
	②	9	関係機関の更なる連携強化と調整の効率化を図るための既存水防災会議の再編検討。	協議会全体						
	③	10	河川巡視で得られた情報を水防団等と河川管理者で共有するための堤防点検結果の共有。	九地整、大分市、 由布市	○	○				水閘門一斉点検
	④	11	関係機関が連携した水防技術向上のための訓練の実施。	協議会全体		○				大分川・大野川総合水防演習
	⑤	12	樋門等の操作情報を共有するための操作報告の訓練や省力化の検討。	九地整、大分県、 大分市、由布市	○	○				水閘門操作説明会
	⑥	13	緊急時の樋門の運用方法や必要な設備の検討、整備。	九地整、大分県、 大分市、由布市						
	⑦	14	迅速な水防活動を行うための水防備蓄資材の配置計画、輸送計画の検討。	協議会全体	○	○				緊急対策シュミレーション訓練

2. 自治体の早期判断を助け、住民や企業等が避難行動や防災活動を自ら行えるような、きめ細やかな情報の提供							
1) 避難行動を支援する防災情報の提供							
①	15	想定し得る最大規模の降雨による浸水想定区域、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表。	九地整、大分県				
②	16	想定し得る最大規模の降雨による広範囲かつ長時間の浸水を想定したハザードマップの改良。	大分市、由布市	○	○		土砂災害ハザードマップ改良
③	17	「わが家の防災マニュアル」の改訂に合わせ、H29台風18号により浸水した区域を掲載し、全戸配布を実施。	大分市		○		わが家の防災マニュアルの改定
④	18	浸水による社会的影響が大きい企業等の事業継続のための想定し得る最大規模の降雨による浸水リスク等の共有。	協議会全体	○			企業向け出前講座の実施
⑤	19	自治体の避難判断や住民自らの避難行動、企業等の防災活動を支援する危機管理型水位計や量水標、河川カメラ等の検討、整備。	九地整、大分県、大分市	○	○		量水標・水害監視カメラ設置 クラウド型河川カメラ監視システムの設置 水防警報発令システムの構築
⑥	20	光ファイバー接続等による各機関の更なる情報共有の仕組みの検討、整備。	協議会全体				
⑦	21	情報の入手しやすさの向上や利用者の拡大を目的とした防災情報伝達の多重化等の検討。	協議会全体	○	○		防災気象講演会 新・由布市防災行政情報告知システム事業 防災啓発動画のCM等放映 気象庁HPの水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示提供 等
⑧	22	洪水予報河川となっている大分川と大野川で洪水情報のプッシュ型配信を運用開始。	九地整				
⑨	23	情報発信機関と河川情報モニター等の意見交換による住民目線での洪水予報や避難情報等の検証と改善。	協議会全体	○	○		河川情報モニター会議
⑩	24	迅速で的確な避難勧告発令のための区間毎の発令基準の設定や近年出水対応を踏まえたタイムラインの検証と改善。	大分市、由布市				
⑪	25	県管理河川に係る避難勧告の発令に着目したタイムラインの策定。	大分県、大分市、由布市		○		要配慮者の個別避難計画の作成
⑫	26	自治体の的確な避難勧告等の発令のための洪水対応訓練の強化。	大分市、由布市	○	○		市対策本部設置訓練
⑬	27	大規模氾濫を想定した内水地区における住民避難及び情報伝達方法の検証と改善。	大分市	○			ポンプの運転調整の周知 排水ポンプ運転調整時の大分市防災メールによる住民周知

3. 洪水に対する社会経済活動の安定性を高め、一刻も早い回復を可能とする機能の整備と排水対策の取組							
1) 洪水を河川内で安全に流す対策							
①	28	流下能力対策（堤防整備・河道掘削等）	九地整、大分県	○	○		堤防整備・河道掘削
②	29	浸透・パイピング対策（堤防の質的強化）	九地整				
③	30	侵食・洗掘対策（河床低下対策）	九地整	○	○		浸食・洗掘対策（大津留地区）
④	31	大分川ダム建設	九地整	○	○		ダム建設（ななせダム）
2) 危機管理型ハート対策							
①	32	堤防天端の保護、裏法尻の補強等	九地整				
3) 防災拠点機能の維持							
①	33	防災拠点機能を維持するための庁舎等の浸水対策の検討、整備。（発電設備の移設や設備の耐水化等）	協議会全体				
4) 洪水氾濫から一刻も早い回復を可能とする排水対策							
①	34	施設管理者が連携した緊急排水計画の検討・作成と釜場等の排水施設の検討、整備（内水による浸水対策含む）。	協議会全体	○	○		松岡水資源再生センター耐水化基本計画 宮崎水資源再生センター等耐水化基本計画
5) 発展する市街地における総合減災対策							
①	35	影響が他地域にも及ぶ堤防決壊による水害リスクを低減する、街づくりと一体となった堤防強化等の検討、整備。	協議会全体	○	○		かわまちづくり
②	36	水防活動や資機材備蓄、一時避難所等にもなり得る、堤防強化と一体となった防災拠点の検討、整備。	協議会全体				
③	37	防災拠点等を連結し、物資輸送や住民避難、大規模災害による早期の堤防復旧などを可能にする堤防天端の活用検討、整備。	協議会全体				

大分川・大野川圏域（上流部）における 大規模氾濫に関する減災のための取組

【5カ年（R4～R8）の取組状況】

令和5年5月26日

水防災意識社会 再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」として、全ての直轄河川とその沿河市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

<ソフト対策> ・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

<ハード対策> ・「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

<危機管理型ハード対策>

- 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>



<洪水氾濫を未然に防ぐ対策>

- 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

<住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
 - ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表
 - ・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 - ・不動産関連事業者への説明会の開催
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
 - ・タイムラインの策定
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
 - ・水位計やライブカメラの設置
 - ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供



「減災対策協議会」の今後の展開について

- 水防災意識社会の実現に向け、中小河川の大規模水害に対し、「迅速な避難行動」、「地域経済への影響最小化」を目指し、各取り組みを推進してきた。
- 今期5ヵ年（R4~R8）の取り組みでは、「今期で完了した取り組み」や「ハード対策」を除き水防体制の充実などの避難・水防対策を、引き続き取り組む。
- 「ハード対策」については令和4年度以降「流域治水プロジェクト」において引き続き取り組む。
- 「流域治水プロジェクト」のあらゆる関係者と情報共有するなど、密接に連携し防災・減災の取組を継続的に推進していく。

水 防 法

流域に関する対策

前期5ヵ年（H29~R3）水防災意識社会の再構築
大規模氾濫減災協議会（県3協議会）

避難・水防対策

避難計画、防災教育、水位情報の強化、水防体制の充実など

ハード対策

災害時の被害最小化に向けた施設整備の取り組み

R4以降 減災対策協議会

流域治水プロジェクト(流域治水協議会 県3協議会) R3~

今期5ヵ年（R4~R8）水防災意識社会の再構築
大規模氾濫減災協議会（県3協議会）

避難・水防対策

避難計画、防災教育、水位情報の強化、水防体制の充実など

河川対策の検討

河川整備、ダム建設など

流域対策の検討

下水道、流出抑制、土地利用・住まい方の工夫、浸水拡大抑制、利水ダムの活用など

■5年間で達成すべき目標

臼杵市内、竹田市内、豊後大野市内における中小河川の大規模水害に対し、**「防災力の向上」**を目指す

※大規模水害とは、「想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害」

※防災力の向上とは、「水害に強い街づくりと防災意識の高い自主防災組織の構築」

■上記目標達成に向けた取組

- (1) 確実な避難行動につなげる**水防災意識醸成**のための取組（防災教育・避難訓練・水防活動）
- (2) 急激な水位上昇に対する迅速な避難行動のための**正確でわかりやすい情報提供**に関する取組

目標達成のために今期5年間（R4～R8）で実施する取組

(1) 確実な避難行動につなげる水防災意識醸成のための取組

■ 水防災啓発、防災教育等に関する取組

- ① HPや市報等を活用したわかりやすい防災情報の提供や関係機関と連携した出前講座やワークショップなど普及啓発活動の実施
- ② 建設業協会との災害時の応援協定等、関係機関との連携強化
- ③ 教育庁（県教委・市町村教委）と連携した防災教育の推進
- ④ 災害関連情報の充実による啓発強化、及び短時間番組のランダム放映等、情報発信方法の工夫

■ 避難訓練、水防活動に関する取組

- ⑤ 水防活動時における連絡体制の再確認と伝達訓練の実施
- ⑥ 水害リスク箇所を踏まえた堤防点検等の実施と情報共有
- ⑦ 地域単位での実践的な防災訓練や避難訓練の実施
- ⑧ 自主防災組織による活動の推進及び地域防災リーダーの育成を支援
- ⑨ 要配慮者利用施設における避難態勢構築への支援
- ⑩ 水害リスク箇所を踏まえた防災パトロールの実施

(2) 急激な水位上昇に対する迅速な避難行動のための正確でわかりやすい情報提供に関する取組

■ 洪水時における河川管理者等から自治体等への情報提供に関する取組

- ① 水位情報周知河川以外の中小河川に対し、水位の変化を把握するために、危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラ設置に関する検討
- ② 水防警報発令にかかわる処理を効率化・迅速化させる取組の検討
- ③ 氾濫危険水位等、基準水位の見直しによる、避難情報の発令判断及び確実な住民避難に資する運用
- ④ 避難情報発令判断支援班の体制強化、改善についての検討（市への情報提供・助言の的確さ、わかりやすさ）

■ 洪水時における自治体や河川管理者等から住民への情報提供に関する取組

- ⑤ 危機管理型水位計等を用いた情報提供について検討
- ⑥ 危機管理型水位計及び監視カメラの追加設置と、ケーブルテレビでの公開を検討
- ⑦ 各種イベントや講習会を通じた、県ホームページや県民安全・安心メール、SNS、防災アプリ等、防災情報入手方法に関する普及活動の推進
- ⑧ 水位情報等の防災情報の意味や水害リスクに関する広報資料の作成
- ⑨ 氾濫危険水位等、基準水位の見直しによる、避難情報の発令判断及び確実な住民避難に資する運用【再掲】

■ 平常時からの災害リスク情報や避難場所・避難経路等の情報提供に関する取組

- ⑩ 中小河川において想定しうる最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表
- ⑪ 中小河川において想定しうる最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図をもとにした洪水ハザードマップの作成・配布
- ⑫ ハザードマップを活用した防災情報に関する研修や自主防災組織との意見交換及び避難訓練の実施
- ⑬ 浸水実績を利用した情報提供方法について検討

■ 避難指示等の的確な発令に関する取組

- ⑭ 避難情報発令判断支援班の体制強化、改善についての検討（市への情報提供・助言の的確さ、わかりやすさ）【再掲】
- ⑮ 県管理河川に係る避難指示等の発令に着目したタイムライン（防災行動計画）の実災害、訓練等における検証
- ⑯ 水防警報発令にかかわる処理を効率化・迅速化させる取組の検討【再掲】
- ⑰ 地域防災計画に避難指示等の発令時期や対象範囲等の記載

大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会（上流部）
「5カ年の取組内容」に対する取り組み状況（R4～R5）

★：実施済	取り組みが完了したもの（毎年の継続実施含む）
●：実施中	実現に向けて取り組み中のもの（当該年度に取り組み予定のもの含む）
○：検討中	実現に向けて検討中のもの（未始動のもの） 必要に応じて対応するもの

概ね5年で実施する取組	目標時期	取組機関			取組年度										主な取組内容
		市	県	気	R4					R5					
					臼杵市	竹田市	豊後大野市	大分県	気象台	臼杵市	竹田市	豊後大野市	大分県	気象台	
(1) 確実な避難行動につなげる水防災意識醸成のための取組（防災教育・避難訓練・水防活動）															
水防災啓発、防災教育等に関する取組															
①ホームページや市報等を活用したわかりやすい防災情報の提供や関係機関と連携した出前講座やワークショップなど普及啓発活動の実施	引き続き実施 H30より順次検討	○	○	○	★	★	★	★	★	★	★	★	★	●	HP・市報での防災特集【臼杵市】、防災ガイドブック、防災マップの全戸配布【豊後大野市、竹田市】、水防災フェスin大分【県河川、気象台】
②建設業協会との災害時の応援協定等、関係機関との連携強化	引き続き実施		○		-	-	-	★	-	-	-	★	-		建設業協会各支部と災害協定を締結【県土木】
③教育庁（県教委・市町村教委）と連携した防災教育の推進	H30より順次検討	○	○	○	★	○	★	★	★	★	○	★	★	★	教委・小中学校と連携した防災講話・教育の実施【臼杵市、豊後大野市】、土木未来教室の実施【県土木】、講座等への講師派遣【気象台】
④災害関連情報の充実による啓発強化、及び短時間番組のランダム放映等、情報発信方法の工夫	引き続き実施	○			★	★	★	-	-	★	★	★	-	-	CATVでの防災カメラ映像配信【各市】、防災情報伝達手段の多重化【豊後大野市】
避難訓練、水防活動に関する取組															
⑤水防活動時における連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	引き続き実施	○	○		★	★	★	★	-	★	★	★	★	-	出水期前に水防対応演習を実施
⑥水害リスク箇所を踏まえた堤防点検等の実施と情報共有	引き続き実施		○		-	-	-	★	-	-	-	★	-		出水期前に堤防点検を実施
⑦地域単位での実践的な防災訓練や避難訓練の実施	引き続き実施	○			★	○	★	-	-	★	○	★	-	-	自主防災組織等で訓練実施【臼杵市、豊後大野市】
⑧自主防災組織による活動の推進及び地域防災リーダーの育成を支援	引き続き実施	○			★	★	★	-	-	★	★	★	-	-	防災士養成研修・スキルアップ研修を実施、訓練経費等の補助による活動の支援【臼杵市、豊後大野市】
⑨要配慮者利用施設における避難体制構築への支援	引き続き実施	○	○	○	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	高齢者施設訓練支援を実施【県防災】、避難訓練実施の指導・助言等【各市】、おおいたNPO博参加（ブース出展等）【気象台】
⑩水害リスク箇所を踏まえた防災パトロールの実施	引き続き実施	○	○		★	★	★	★	-	★	★	★	★	-	防災パトロールの実施【県、各市】

大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会（上流部）

「5カ年の取組内容」に対する取り組み状況（R4～R5）

★：実施済	取り組みが完了したもの（毎年の継続実施含む）
●：実施中	実現に向けて取り組み中のもの（当該年度に取り組み予定のもの含む）
○：検討中	実現に向けて検討中のもの（未始動のもの） 必要に応じて対応するもの

概ね5年で実施する取組	目標時期	取組機関			取組年度										主な取組内容
		市	県	気	R4					R5					
					臼杵市	竹田市	豊後大野市	大分県	気象台	臼杵市	竹田市	豊後大野市	大分県	気象台	
(2) 急激な水位上昇に対する迅速な避難行動のための正確でわかりやすい情報提供に関する取組															
洪水時における河川管理者等から自治体等への情報提供に関する取組															
①水位情報周知河川以外の中小河川に対し、水位の変化を把握するために、危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラの設置に関する検討	H30より順次検討		○		-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	市に対して危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラの設置に関する支援を実施【県河川】
②水防警報発令にかかわる処理を効率化・迅速化させる取組の検討	R4より順次検討		○		-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	水防警報発令システムをR5より運用開始予定【県河川】
③氾濫危険水位等、基準水位の見直しによる、避難情報の発令判断及び確実な住民避難に資する運用	引き続き実施		○		-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	
④避難情報発令判断支援班の体制強化、改善についての検討（市への情報提供・助言の的確さ、わかりやすさ）	H30より順次検討		○		-	-	-	★	-	-	-	-	★	-	高齢者等避難などが適切なタイミングで発令されていない際に市へ助言【県防災局】
洪水時における自治体や河川管理者等から住民への情報提供に関する取組															
⑤危機管理型水位計等を用いた情報提供について検討	H30より順次検討		○		-	-	-	★	-	-	-	-	★	-	危機管理型水位計等により情報提供を実施【県河川】
⑥危機管理型水位計及び監視カメラの追加設置と、ケーブルテレビでの公開を検討	H30より順次検討		○		○	●	★	-	-	○	●	★	-	-	河川監視カメラを2箇所増設【竹田市】、河川監視カメラ映像をCATVで公開【竹田市、豊後大野市】
⑦各種イベントや講習会を通じた、県ホームページや県民安全・安心メール、SNS、防災アプリ等、防災情報入手方法に関する普及活動の推進	引き続き実施	○	○	○	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	講習会等の際に普及啓発活動を実施【県防災、各市、気象台】
⑧水位情報等の防災情報の意味や水害リスクに関する広報資料の作成	H30より順次検討	○	○	○	○	★	★	★	★	○	★	★	★	★	県民安全・安心メールで水位情報を配信【県防災】、防災ガイドブック、防災マップを全戸配布【豊後大野市、竹田市】、気象庁HPの水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示提供【気象台】
⑨氾濫危険水位等、基準水位の見直しによる、避難情報の発令判断及び確実な住民避難に資する運用【再掲】	引き続き実施		○		-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	

大分川・大野川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会（上流部）
「5カ年の取組内容」に対する取組み状況（R4～R5）

★：実施済	取組みが完了したもの（毎年の継続実施含む）
●：実施中	実現に向けて取組み中のもの（当該年度に取組み予定のもの含む）
○：検討中	実現に向けて検討中のもの（未始動のもの） 必要に応じて対応するもの

概ね5年で実施する取組	目標時期	取組機関			取組年度										主な取組内容
		市	県	気	R4					R5					
					白杵市	竹田市	豊後大野市	大分県	気象台	白杵市	竹田市	豊後大野市	大分県	気象台	
(2) 急激な水位上昇に対する迅速な避難行動のための正確でわかりやすい情報提供に関する取組															
平常時からの災害リスク情報や避難場所・避難経路等の情報提供に関する取組															
⑩中小河川において想定しうる最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表	引き続き実施		○		-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	中小河川において洪水浸水想定区域図作成中【県河川】
⑪中小河川において想定しうる最大規模の降雨による洪水浸水想定区域図をもとにした洪水ハザードマップの作成・配布	H31より順次検討	○			○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	水位周知河川については作成済み。洪水浸水想定区域図が作成され次第、順次作成を行う予定【各市】
⑫ハザードマップを活用した防災情報に関する研修や自主防災組織との意見交換及び避難訓練の実施	H30より順次検討	○	○		★	○	★	★	-	★	○	★	★	-	防災アドバイザー等による講習、訓練においてハザードマップを活用【白杵市、豊後大野市、県防災】
⑬浸水実績を利用した情報提供方法について検討	H30より順次検討	○	○		○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	
避難勧告等の的確な発令に関する取組															
⑭避難情報発令判断支援班の体制強化、改善についての検討（市への情報提供・助言の的確さ、わかりやすさ）【再掲】	H30より順次検討		○		-	-	-	★	-	-	-	-	★	-	高齢者等避難などが適切なタイミングで発令されていない際に市へ助言【県防災】
⑮県管理河川に係る避難指示等の発令に着目したタイムライン（防災行動計画）の実災害、訓練等における検証	引き続き検証	○	○		○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	タイムライン作成済み。適宜、検証見直しを行う。
⑯水防警報発令にかかわる処理を効率化・迅速化させる取組の検討【再掲】	R4より順次検討		○		-	-	-	●	-	-	-	-	●	-	水防警報発令システムをR5より運用開始予定【県河川】
⑰地域防災計画に避難指示等の発令時期や対象範囲等の記載	引き続き実施	○			★	○	★	-	-	★	○	★	-	-	風水害編等に記載済み【白杵市、豊後大野市】